

岡山朝日 研究紀要

*The Asahi
Bulletin (43)*

第43号
2022.3

目 次

岡山朝日高校と地方公立進学高校制度 竹 田 義 宣 (1)

超難関大学への数学指導の道 山 川 宏 史 (7)

生徒の解答用紙から学ぶ化学の授業づくり

— 実力テストの解答分析と科学的思考の育成 —

..... 守 屋 昌 樹 (21)

日本の外国語教育改善に関する研究

— 他国との比較を通して — 堀 江 将一朗 (31)

~~~~~  
永正六年九月九日起日後柏原天皇主催着到和歌 秋・冬の部

..... 辰 田 芳 雄 (1)

賀茂別雷神社の氏人の官名と実名

— 「永正七年・天文六年御籍写」

(國學院大学圖書館収蔵座田家旧蔵書五七一) の考察 —

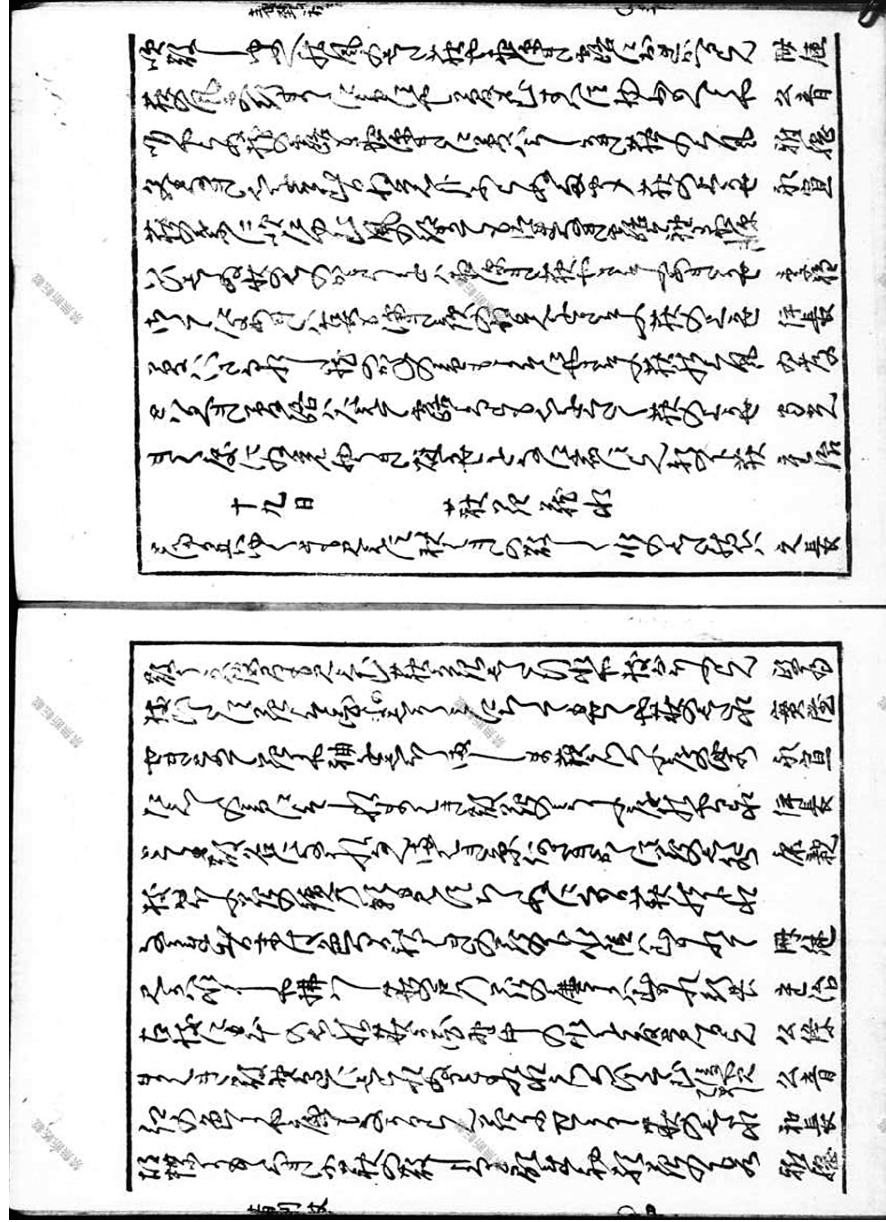
..... 辰 田 芳 雄 (23)

岡山県立岡山朝日高等学校

*Okayama Asahi Senior High School*







永正六年九月九日起日後柏原天皇主催  
着到和歌 秋・冬の部

辰 田 芳 雄

はじめに

昨年の紀要四二号に続き、国立公文書館内閣文庫「著到和歌」のうち、永正六年九月九日起日後柏原天皇主催着到和歌の秋（二〇日）・冬（一五日）を翻刻する。

今回の翻刻・対校作業の中で特に気づいたことを二点、列举する。

まず、対校本とした一九〇七年出版『続々群書類従』所収の「後柏原院御日次結題」は、正徳三年（一七一三）の板本を活字化したものであるが、板本の誤転写がある。以下の秋・冬の部の翻刻でも注記しているが、以下に一括して紹介する。例えば、次の秋の2では、板本で「御船」とあるところを「筏」と誤っている。

秋の2 十六日 二星適逢

1 七夕のまれのあふ瀬にこゝろせよ 紅葉の筏かき、きのはし 公條 御船↓筏

秋の5 十九日 萩花蔵水（グラビア写真参照）

8 ながれ出るすゑは色なる秋はきの 花の下水かけはうもれて 済継 む↓う

9 みかは水よしや拂はし萩の戸の花の ちりにはうもれ行とも 重治 む↓う

10 ふる枝にもとのこゝろのはきか花 野中の水を夏と見るらん 公條 友↓夏

秋の8 廿二日 鹿聲何方

8 この頃の野分川風いつれなほ 身にしむ鹿のこゑに吹らん 御製 山↓川

秋の14 廿八日 雲間稲妻

15 空にしもうつると見しや程もなく かへる雲井の稲妻のかけ 雅綱 こ↓空

秋の16 卅日 霧中求泊

6 霧くらきみつの泊は見つとしても なくそまよふ秋のふな人 政為

としも↓としても

秋の17 十一月一日 伴菊延齡

15 うつらふと見るも盛の秋の来て 老せぬ花に身をや忘れむ 御製 ろら

冬の1 五日 初冬落葉

9 冬きぬとちるを色なる紅葉に 露のたえなくさゆる名もうし 為孝  
柎葉（もみじば）↓紅葉。 は↓た

冬の2 六日 遠郷時雨

9 遠かたの里と見るとも曇り来る しくれは神に猶やなからん 康親  
袖に程↓神に猶

冬の4 八日 濱邊寒蘆

12 蘆の葉に浦風さむく濱ゆふの 幾重の霜をむすひそふらん 御製  
寒て（さえて）↓さむく

次に、対校本である国立歴史民俗博物館高松宮家伝来禁裏本「禁裏御著到和歌」の秋の20・四日山路焔過のうち四番目の和歌の詠者「孝」（為孝）に対して、注釈が記されているので紹介する。「統撰吟二ハ政為トアリ、右ノ哥ト作者入違□、但、統撰吟非之、□（此

カ）是非を以類本、可勘知也」（□は、画像28の下が切れていて読めない部分）とある。「統撰吟」が寛政十二年に刊行された尾崎雅嘉『統撰吟和歌集類題』であれば、高松宮家伝来禁裏本「禁裏御著到和歌」が写されたのは、寛政十二年（一八〇〇）以降であることがわかる。

## 永正六年九月九日起日後柏原天皇主催着到和歌（秋・冬の部）

### — 国立公文書館内閣文庫「著到和歌」（二〇一—一四六） 当該部分の翻刻 —

国立公文書館内閣文庫「著到和歌」の一番目（画像3コマ目から64コマ目）が永正六年九月九日起日後柏原天皇主催着到和歌である。春（二〇日）・夏（二五日）・秋（二〇日）・冬（二五日）・恋（二五日）・雉（二五日）、九月九日歳中立春から十二月二十日竹契還年までの百日分である。これを底本とした。詠者は後柏原天皇・三条西実隆・下冷泉政為・小倉季種・甘露寺元長・田向重治・東坊城和長・冷泉永宣・広橋守光・姉小路濟繼・三条西公條・下冷泉為孝・四辻公音・中山康親・甘露寺伊長・飛鳥井雅綱の一人である。

この着到和歌は『続々群書類従』に①「後柏原院御日次結題」としてすでに一九〇七年に活字化されている。この活字化は岡山の藩士野村尚房により翻刻され宝永二年（一七〇五）六月に江戸の本屋で出版され、正徳三年（一七一三）に江戸と京都で再版された②板本を底本としている。一人の和歌が確認できる公文書館所蔵「著到和歌」以外の写本は、③宮内庁書陵部「後柏原院御着到百首」（伏五四）④国立歴史民俗博物館高松宮家伝来禁裏本「禁裏御著到和歌」、宮城県図書館伊達文庫「近代著到和歌」などが知られているが、①・②・③・④を参照した。翻刻における注（※）での略称は、①：日、②：版、③：伏、④：高とする。

詠者一人のうちの一部の詠者のみ収めている写本がある。後柏原天皇・三条西実隆・下冷泉政為・姉小路濟繼の四人の和歌で構成された写本に⑤東京大学史料編纂所「禁裏御著到百首和歌」（阿波国文庫）がある。また、後柏原天皇の百首は⑥『列聖全集・御製集六』に、三条西実隆と三条西公條のそれは⑦「雪玉集」（『国歌大観』『私家集大成・中世V』）、下冷泉政為のそれは⑧「権大納言政為卿着到和歌」（井上宗雄氏所蔵、古典文庫第四二八冊『中世百首歌一』）にそれぞれ収められている。翻刻における注（※）での略称は、⑤：阿、⑥：列、⑦：雪、⑧：古とする。今回は、前回分で掲載が漏れた春の部16と秋の部（二〇日分）・冬の部（二五日分）を翻刻した。

#### （凡例）

- （1）月日（或いは日付）・歌題の下に、秋の部の順番、起日九月九日からの日数の順番を記した。例えば、十一月「三日 紅葉出墙 秋の19 54」は、秋の部では19番目で、全体では54日目という意味である。
- （2）各日（各歌題）に十六人・十六首あるはずである。和歌の頭に先頭から順に算用数字でその順番を記した。底本では、例えば十月十六日二星適逢（秋の2）の場合、本来十六首あるべきであるが、十三首しかなく、「欠3：雅綱・和長・為孝」とあるように、欠落している詠者を欠としてその名を記した。十月十七日織女惜別（秋の3）の場合は、八首のみで、「八首のみ（実隆・政為・公條・濟繼・為孝・和長・康親・御製）」とした。
- （3）秋の3以後は、底本の国立公文書館内閣文庫「著到和歌」には欠落している和歌が多い。欠落している和歌は、③宮内庁書陵部「後柏原院御着到百首」（伏五四）により補った。そこで、底本の順の後に、③をその順に配置した。そして、『続々群書類従』所収の①「後白河院御日次結題」での順や③宮内庁書陵部「後柏原院御着到百首」（伏五四）の順を和歌の上部に記した。例えば、十七日 織女惜別 秋の3 38 の「日4 6 心よハき別もさそな小車の うしひきわたす鵲のはし 長」という東坊城和長の歌は、底本では六番目であるが、日（①「後白河院御日次結題」では四番目・伏（③宮内庁書陵部「後柏原院御着到百首」では七番目であることを示している。なお ①と③が同じ順であれば、①で代表させ「日4 6」のように表記にした。
- （4）上の句と下の句の間を一文字分空けて一行に記し、最後に詠者を記した。詠者は底本の記載通りにした。また、平仮名の字母は、右側に小さくそれを記した。
- （5）網掛けを施した部分は、※の後に注記した。※のあとに略称がないものは、底本である公文書館所蔵「著到和歌」についての注である。例えば、「※か（のイ）」の場合は、網掛けの字の「か」の右側に記されている注書きである。「※日：」は、①「続々群書類従」「後白河院御日次結題」の異なった記載である。「版：」は①が②版本と異なる場合（恐らく転写誤り）である。他の写本の異同も略称で示した。一つの歌に複数の注がある場合は、「※2」などとした。

十五日 幽栖秋来 秋の1 36

|    |                                                                                                                                                          |    |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1  | すむ身 <sup>多</sup> たにたへしと思蓬生 <sup>尔</sup> に 露 <sup>多</sup> うちみたれ <sup>个</sup> <sup>尔</sup> 灰 <sup>可</sup> はきにけり                                            | 永宣 |
| 2  | 秋 <sup>可</sup> かせのたよりはかりやなへて世 <sup>可</sup> の 灰 <sup>尔</sup> かすにはもれぬ蓬生 <sup>可</sup> のかけ                                                                   | 為孝 |
| 3  | とち <sup>飛</sup> はて、思ひし道 <sup>乃</sup> の草葉 <sup>尔</sup> にも さ <sup>可</sup> はらぬ物 <sup>可</sup> か秋 <sup>尔</sup> はきにけり                                          | 済繼 |
| 4  | とち <sup>者</sup> はつる <sup>毛</sup> 律 <sup>尔</sup> の内もそのまゝに 灰 <sup>乃</sup> いつくを <sup>乃</sup> 灰 <sup>乃</sup> の道 <sup>乃</sup> 芝 <sup>乃</sup> のつゆ              | 和長 |
| 5  | 思ふとも花 <sup>尔</sup> にはさかし草 <sup>能</sup> の戸 <sup>能</sup> の 色 <sup>毛</sup> をも <sup>多</sup> たぬ秋 <sup>尔</sup> はきにけり                                           | 政為 |
| 6  | わひてすむよもきか門 <sup>尔</sup> の夕暮 <sup>尔</sup> に 待 <sup>毛</sup> としもなき秋 <sup>者</sup> のはつかせ                                                                      | 元長 |
| 7  | いつとなく心 <sup>奈</sup> より置露 <sup>奈</sup> をこそ なへての <sup>毛</sup> 灰 <sup>毛</sup> もやと、きつらむ                                                                      | 実隆 |
| 8  | くむ人もみえぬいたる <sup>多</sup> の水 <sup>乃</sup> の上に 桐 <sup>尔</sup> の葉 <sup>尔</sup> おつる秋 <sup>个</sup> はきにけり                                                       | 公條 |
| 9  | 山陰 <sup>乃</sup> の松 <sup>乃</sup> の戸 <sup>飛</sup> はそをとひきても さ <sup>悲</sup> ひし物 <sup>志</sup> や秋 <sup>者</sup> のはつ風                                            | 重治 |
| 10 | さ <sup>飛</sup> ひしさを <sup>可</sup> ものなる蓬生 <sup>能</sup> の 宿 <sup>尔</sup> にや <sup>可</sup> かて <sup>志</sup> 灰 <sup>尔</sup> をしるらん                               | 公音 |
| 11 | 初風 <sup>尔</sup> に露 <sup>尔</sup> うちちりて蓬生 <sup>能</sup> の かけ <sup>可</sup> にもけ <sup>尔</sup> さや秋 <sup>尔</sup> のきぬらん                                           | 雅綱 |
| 12 | つゆむす <sup>希</sup> ふけさよりしるし <sup>李</sup> 跡 <sup>累</sup> ミえぬ 庭 <sup>能</sup> の蓬 <sup>李</sup> や秋 <sup>志</sup> の通風 <sup>个</sup>                               | 季種 |
| 13 | 松 <sup>盤</sup> の戸 <sup>奈</sup> は色 <sup>起</sup> なき秋 <sup>可</sup> を吹 <sup>可</sup> か <sup>累</sup> はる 風 <sup>李</sup> のた <sup>志</sup> よりに先 <sup>个</sup> しらせけり | 伊長 |
| 14 | いかならむ <sup>可</sup> かねても露 <sup>可</sup> の八重 <sup>累</sup> 律 <sup>能</sup> しける <sup>志</sup> 宿 <sup>能</sup> の秋 <sup>能</sup> のはつ風 <sup>者</sup>                  |    |
| 15 | しられ <sup>志</sup> しの浅茅 <sup>可</sup> かおく <sup>可</sup> の音 <sup>毛</sup> も 人 <sup>奈</sup> ならまし <sup>満</sup> の秋 <sup>能</sup> のはつ風 <sup>者</sup>                 |    |
| 16 | さしこも <sup>毛</sup> る律 <sup>毛</sup> の門 <sup>志</sup> も今 <sup>志</sup> そしる 秋 <sup>乃</sup> くる <sup>阿</sup> 風 <sup>乃</sup> のた <sup>阿</sup> よりありとハ               | 康親 |

十六日 二星適逢 秋の2 37 欠：雅綱・和長・為孝

|    |                                                                                                                                              |    |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1  | 七夕 <sup>乃</sup> の稀 <sup>世</sup> のあふせに心 <sup>毛</sup> せよ も <sup>乃</sup> みちの <sup>可</sup> ミ舟 <sup>可</sup> かさ、きの <sup>者</sup> はし                 | 公條 |
| 2  | 一年 <sup>多</sup> の空 <sup>毛</sup> をへたての雲霧 <sup>毛</sup> も け <sup>个</sup> ふや晴間 <sup>乃</sup> のほし合 <sup>可</sup> のかけ                                | 繼  |
| 3  | 七夕 <sup>能</sup> のけふ <sup>希</sup> の契 <sup>乃</sup> のうれしさハ た <sup>可</sup> かかす袖 <sup>耳</sup> にな <sup>阿</sup> を <sup>満</sup> あまるらん                | 親  |
| 4  | あ <sup>阿</sup> はぬ夜 <sup>尔</sup> も契 <sup>尔</sup> りになして七夕 <sup>乃</sup> の 年 <sup>尔</sup> に稀 <sup>奈</sup> なる独寝 <sup>毛</sup> もかな                  | 長  |
| 5  | 一年 <sup>尔</sup> のうら <sup>ミ</sup> はよ、にふりぬとも さ <sup>佐</sup> らにや夢 <sup>尔</sup> の星 <sup>盤</sup> 合 <sup>盤</sup> はうき                               | 為  |
| 6  | 織女 <sup>盤</sup> はさらにこよひ <sup>尔</sup> そ新枕 <sup>奈</sup> のこと <sup>尔</sup> の契 <sup>尔</sup> りともせん                                                 | 光  |
| 7  | 恨 <sup>毛</sup> をハ書 <sup>毛</sup> もつくさぬ行 <sup>衛</sup> ゑとや 猶 <sup>本</sup> 又 <sup>乃</sup> 月のほし合 <sup>乃</sup> のそら                                 | 宣  |
| 8  | 星 <sup>乃</sup> 合 <sup>乃</sup> の秋 <sup>乃</sup> の日数 <sup>乃</sup> の七くるま つ <sup>徒</sup> むともつきしつくす心 <sup>徒</sup> ハ                                | 宣  |
| 9  | 橋柱 <sup>堂</sup> 竝 <sup>毛</sup> きたえまもゆきあひの こ <sup>古</sup> よひ名 <sup>尔</sup> におふ天 <sup>奈</sup> の川 <sup>奈</sup> なミ                               | 種  |
| 10 | 待程 <sup>奈</sup> やたのミならまし邂逅 <sup>奈</sup> の 契 <sup>奈</sup> りあやなき星 <sup>奈</sup> 合 <sup>奈</sup> のそら                                              | 長  |
| 11 | たまさ <sup>可</sup> かにあふ夜 <sup>可</sup> うれしと七夕 <sup>乃</sup> の 天 <sup>毛</sup> の羽衣 <sup>毛</sup> うらミもやなき                                            | 音  |
| 12 | 一年 <sup>尔</sup> に一夜 <sup>可</sup> かハすハ七夕 <sup>尔</sup> に た <sup>可</sup> かかしめし <sup>奈</sup> まくらなるらん                                             | 治  |
| 13 | 待 <sup>毛</sup> みるも <sup>奈</sup> なきさをきよミひろふてふ た <sup>个</sup> ま／＼ <sup>奈</sup> けふ <sup>奈</sup> の天 <sup>奈</sup> の川 <sup>奈</sup> なミ <sup>隆</sup> | 隆  |
| 14 | ひと、せ <sup>悲</sup> をかたる言 <sup>越</sup> はの露 <sup>者</sup> の間 <sup>乃</sup> を 思 <sup>可</sup> ふもわかぬ <sup>可</sup> ほしあひ <sup>能</sup> の空 <sup>能</sup>  | 雅綱 |
| 15 | まれに逢恨 <sup>連</sup> のミして七夕 <sup>ハ</sup> い <sup>留</sup> ひよる中 <sup>能</sup> のハしめともなし                                                             | 和長 |
| 16 | うらみと <sup>可</sup> かいふもはかなし七夕 <sup>者</sup> の 夢 <sup>可</sup> もまれなる契 <sup>可</sup> ハかりに                                                          | 為孝 |

十七日 織女惜別 秋の3 38

8首のみ(御製・実隆・政為・和長・濟維・公條・為孝・康親)

|            |                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 伏日<br>1511 | 1 織女 <small>奈可</small> のななき契 <small>奈可</small> はなにならて 別 <small>累</small> る、たひに身 <small>多</small> をくたくらん 隆 <small>※日：雪・七夕</small>                                                                                                        |
| 伏日<br>216  | 2 そのま <small>満</small> 、にか <small>尔可</small> はる契 <small>累</small> を人 <small>尔</small> にみよ 別 <small>累</small> る、星 <small>多</small> のうけ <small>飛</small> ハ <small>多</small> う <small>可</small> き <small>可</small> は 為 <small>※日：物</small> |
| 伏日<br>31   | 3 待 <small>多</small> く <small>多</small> てこ、ろやすめ <small>多</small> ん程 <small>多</small> たにも ま <small>満</small> たみ <small>多</small> しか夜 <small>可</small> の星 <small>可</small> 合 <small>可</small> のそら 條                                       |
| 伏日<br>412  | 4 七夕 <small>本</small> の涙 <small>毛</small> の袂 <small>毛</small> はしもあへす このわ <small>古</small> かれにや又 <small>志</small> し <small>本</small> はるらん 繼                                                                                              |
| 伏日<br>52   | 5 別 <small>乃</small> ちのつらさ <small>越</small> をしら <small>者</small> は七夕 <small>阿</small> の あ <small>毛</small> ハぬ月 <small>毛</small> 日もなくさ <small>奈</small> ミやせん 孝                                                                           |
| 伏日<br>74   | 6 心 <small>毛</small> よハき別 <small>奈</small> もさそな小車 <small>飛</small> の う <small>多</small> し <small>多</small> ひきわ <small>者</small> たす <small>可</small> 鵲 <small>可</small> のはし 長                                                            |
| 伏日<br>85   | 7 天 <small>親</small> の川今朝 <small>親</small> の別 <small>親</small> のうき世より たつ年浪 <small>親</small> をやかて待つらん 親                                                                                                                                  |
| 伏日<br>1014 | 8 今ハとてよそなる嶺 <small>長</small> のよこ雲 <small>長</small> に 思 <small>長</small> ふもかなし今朝 <small>長</small> の別 <small>長</small> ち <small>※日：星合の空 ※2日：御製</small>                                                                                    |
| 伏日<br>63   | 七夕 <small>能</small> の幾世 <small>能</small> の焔 <small>可</small> のわかれ <small>可</small> ちを 心 <small>奈</small> なかくもした <small>志</small> ひ <small>多</small> きぬら <small>舞</small> む 重治                                                           |
| 伏日<br>96   | たな <small>多</small> ハたに人 <small>多</small> のかし <small>可</small> つる袖 <small>可</small> かけて ぬ <small>春</small> らすにあかぬ今朝 <small>可</small> の別 <small>能</small> 路 元長                                                                           |
| 伏日<br>117  | 七夕 <small>能</small> の別 <small>奈</small> のなみに今朝 <small>尔</small> よりや もみち <small>能</small> の橋 <small>尔</small> に時雨 <small>能</small> そむらん 守光                                                                                               |
| 伏日<br>128  | あふ <small>保</small> ほともなミ <small>奈</small> たを <small>可</small> かけて織女 <small>能</small> の 手引 <small>能</small> の糸 <small>奈</small> の立 <small>可</small> やわかれ <small>可</small> む 永宣                                                          |
| 伏日<br>139  | 彦星 <small>能</small> のあ <small>者</small> はぬ日 <small>尔</small> 数 <small>者</small> にくらやみは 一 <small>能</small> 夜 <small>奈</small> の別 <small>越</small> なを <small>可</small> う <small>留</small> かるらん 季種                                         |
| 伏日<br>1410 | かき <small>可</small> り <small>利</small> なき秋 <small>奈</small> ハち <small>起</small> き <small>禮</small> れと七夕 <small>可</small> の あ <small>可</small> かぬ別 <small>怒</small> やした <small>志</small> ひ <small>多</small> わ <small>王</small> ふらん 伊長    |
| 伏日<br>1511 | たな <small>堂</small> はたの今朝 <small>者</small> のわかれ <small>多</small> にか <small>可</small> へやせむ い <small>登</small> くとし <small>能</small> の契 <small>能</small> 成 <small>能</small> とも 雅綱                                                          |
| 伏日<br>1612 | さそ <small>佐</small> なけに天河原 <small>奈</small> のあま雲 <small>尔</small> の わ <small>可</small> かれとやら <small>屋</small> む曙 <small>可</small> の空 公音                                                                                                 |

十八日 夜深聞萩 秋の4 39

8首のみ(御製・実隆・政為・濟維・公條・為孝・康親・雅綱)

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日2  | 1 おとろ <small>可</small> かす夢 <small>毛</small> もこそあれ <small>柁</small> ね覚 <small>尔</small> にハ い <small>者</small> とはてき <small>可</small> かん萩 <small>可</small> の上風 親                                                                                                       |
| 日4  | 2 とは <small>者</small> はやな枕 <small>奈</small> 露 <small>希</small> けき萩 <small>起</small> のをとに 人 <small>満</small> まちふくる袖 <small>可</small> ハ <small>可</small> いかにと 為                                                                                                       |
| 日5  | 3 さ夜 <small>希</small> ふけて露 <small>毛</small> も落らん秋風 <small>尔</small> に つ <small>徒</small> れ <small>連</small> なくか <small>可</small> はる萩 <small>累</small> の声哉 條                                                                                                         |
| 日6  | 4 さ <small>佐</small> すかなる夢 <small>可</small> もこそあれ <small>奈</small> さ夜枕 <small>毛</small> あ <small>飛</small> まりひま <small>奈</small> なき萩 <small>起</small> の音哉 隆                                                                                                         |
| 日7  | 5 吹 <small>志</small> し <small>可</small> き <small>可</small> し夕 <small>乃</small> の風 <small>下</small> 萩 <small>夜</small> や 夜 <small>布</small> ふ <small>可</small> き露 <small>尔</small> におれ <small>連</small> か <small>可</small> へるらん <small>※日：ちらし。版：散し。伏：高しきし。</small> 繼 |
| 日9  | 6 明 <small>徒</small> やらぬ枕 <small>徒</small> のつゆは深 <small>盤</small> き夜 <small>尔</small> に 夢 <small>盤</small> はみ <small>可</small> しか萩 <small>起</small> の上風 <small>※日：夜深き。伏：高しき。夜</small> 綱                                                                             |
| 日11 | 7 萩 <small>尔</small> の葉 <small>可</small> に吹たゆむかせの跡 <small>世</small> までも つ <small>徒</small> れ <small>奈</small> なき露 <small>文</small> そ袖 <small>尔</small> に夜深 <small>可</small> き 孝                                                                                     |
| 日14 | 8 夢 <small>盤</small> はいさなれし秋 <small>奈</small> の鐘 <small>乃</small> の音 <small>毛</small> も よ <small>尔</small> そにやさそふ萩 <small>上</small> 風 孝                                                                                                                             |
| 日1  | ともし火 <small>能</small> のまた、く影 <small>具</small> をし <small>志</small> るへ <small>留</small> にて 窓 <small>尔</small> より萩 <small>柁</small> もね <small>能</small> やの秋 <small>可</small> かせ 和長                                                                                     |
| 日3  | 見 <small>能</small> し夢のおとろく <small>可</small> のミ <small>可</small> かさ夜深 <small>可</small> て 又 <small>柁</small> もねられぬ萩 <small>能</small> のうは風 元長                                                                                                                          |
| 日8  | 萩 <small>能</small> の風 <small>起</small> ふけ行 <small>尔</small> ま <small>奈</small> に音 <small>春</small> すなり 夢 <small>春</small> もむすハ <small>春</small> す物思 <small>奈</small> へとや 公音 <small>※日：、</small>                                                                     |
| 日10 | 色 <small>奈</small> もなき心 <small>起</small> をそむるね覚 <small>留</small> かな ふ <small>柁</small> らぬ雨聞萩 <small>怒</small> のうは風 永宣                                                                                                                                               |
| 日12 | い <small>志</small> ひしらぬ秋 <small>能</small> の心 <small>利</small> のかき <small>者</small> りをは 夜 <small>可</small> ふ <small>起</small> か萩 <small>能</small> やさそふ秋 <small>可</small> かせ 季種                                                                                       |
| 日13 | さ <small>佐</small> らてたに秋 <small>堂</small> ハ哀 <small>可</small> もふかきよ <small>能</small> の ね覚 <small>柁</small> をさそふ萩 <small>能</small> の上風 伊長                                                                                                                            |
| 日15 | と <small>登</small> はるへき夢路 <small>留</small> ハたえて露 <small>利</small> よりも 心 <small>越</small> をくたく萩 <small>能</small> の上風 守光                                                                                                                                              |
| 日16 | 聞 <small>堂</small> たひに寢覚物 <small>尔</small> うき秋風 <small>起</small> を な <small>奈</small> にやとすら <small>屋</small> む軒 <small>春</small> の下萩 重治                                                                                                                             |

十九日 萩花蔵水 秋の5 40 9首のみ(御製・実隆・政為・和長・濟維・公條・為孝・康親・雅綱)

|        |   |                                                                                                                                                                                                                                              |    |
|--------|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 日1     | 1 | とまる <sup>満</sup> ともゆく <sup>毛</sup> とも見え <sup>毛</sup> す萩 <sup>志</sup> の ちり <sup>能</sup> しく水 <sup>能</sup> の下 <sup>能</sup> の心 <sup>能</sup> ハ                                                                                                    | 長  |
| 日2     | 2 | ちり <sup>可</sup> うかは絶 <sup>毛</sup> まも見え <sup>可</sup> ん萩 <sup>本</sup> か花 下行 <sup>本</sup> 水や枝 <sup>本</sup> おほ <sup>本</sup> ふらん                                                                                                                  | 為  |
| 日3     | 3 | 枝 <sup>飛</sup> ひた <sup>多</sup> す花 <sup>古</sup> こそ花 <sup>志</sup> のし <sup>可</sup> から <sup>尔</sup> みに ち <sup>リ</sup> りても <sup>可</sup> せ <sup>可</sup> く萩 <sup>隆</sup> の下水 <sup>※日…よ。版…よの。※2リ(ら)。※3阿…を</sup>                                      | 隆  |
| 日7     | 4 | 枝 <sup>本</sup> おほ <sup>本</sup> ふ花 <sup>本</sup> の鏡 <sup>可</sup> のかけ <sup>毛</sup> も見 <sup>尔</sup> す ちら <sup>尔</sup> ぬにく <sup>累</sup> も萩 <sup>能</sup> の下水 <sup>※日…よ。版…よの。※2リ(ら)。※3阿…を</sup>                                                     | 網  |
| 伏日98   | 5 | な <sup>奈</sup> かれい <sup>可</sup> つる末 <sup>累</sup> そ色 <sup>奈</sup> な萩 <sup>奈</sup> 萩 <sup>花</sup> の 花 <sup>花</sup> の下水 <sup>可</sup> かけ <sup>ハ</sup> む <sup>毛</sup> もれて <sup>※阿…き。※2阿…行。※3日…。版…む</sup>                                          | 継  |
| 伏日1110 | 6 | ふる枝 <sup>尔</sup> にも本 <sup>乃</sup> の心 <sup>可</sup> の萩 <sup>可</sup> か花 野 <sup>累</sup> 中の水 <sup>友</sup> と <sup>累</sup> みる <sup>累</sup> らん <sup>※日…夏。版…友。※2日…伏…公條</sup>                                                                          | ■  |
| 伏日1312 | 7 | 紅 <sup>乃</sup> の色 <sup>尔</sup> にやそ <sup>古</sup> もな <sup>毛</sup> かる <sup>可</sup> らん 花 <sup>耳</sup> にせ <sup>世</sup> かる <sup>可</sup> 、萩 <sup>留</sup> の下水 <sup>※日…和長 伏…高…雅綱</sup>                                                                | 網  |
| 伏日1413 | 8 | 小蝶 <sup>尔</sup> にもも <sup>毛</sup> ろき小萩 <sup>里</sup> のち <sup>李</sup> りし <sup>阿</sup> より あ <sup>阿</sup> ら <sup>阿</sup> はれ <sup>阿</sup> そむ <sup>阿</sup> る花 <sup>孝</sup> の下水 <sup>※日…雅綱 伏…高…和長</sup>                                              | 長  |
| 伏日1514 | 9 | 花 <sup>可</sup> さかり <sup>李</sup> 下葉 <sup>毛</sup> もし <sup>毛</sup> らぬ萩 <sup>可</sup> 萩 <sup>希</sup> のかけ <sup>可</sup> ゆく水 <sup>徒</sup> の色 <sup>孝</sup> ハ絶 <sup>孝</sup> つ、 <sup>※日…ら。※2日…ら</sup>                                                   | 孝  |
| 日4     |   | せ <sup>起</sup> きとめて <sup>天</sup> 花 <sup>丹</sup> にや袖 <sup>志</sup> をし <sup>保</sup> ほ <sup>留</sup> る <sup>留</sup> まし 真萩 <sup>能</sup> うつ <sup>能</sup> ろ <sup>能</sup> ふ庭 <sup>能</sup> の池 <sup>能</sup> 水 <sup>能</sup>                              | 永宣 |
| 日5     |   | たえ <sup>堂</sup> くの音 <sup>能</sup> にこそ <sup>尔</sup> しれ <sup>志</sup> 真萩 <sup>連</sup> 散 <sup>花</sup> のミ <sup>可</sup> うか <sup>可</sup> ふ庭 <sup>能</sup> の遣 <sup>能</sup> 水 <sup>能</sup>                                                              | 伊長 |
| 日6     |   | とても散 <sup>尔</sup> 名 <sup>可</sup> にな <sup>奈</sup> かれ <sup>可</sup> なむ <sup>万</sup> 萩 <sup>奈</sup> 原 <sup>尔</sup> に咲 <sup>可</sup> かく <sup>可</sup> す花 <sup>能</sup> の下水 <sup>能</sup>                                                              | 康親 |
| 伏日8欠   |   | 影 <sup>春</sup> うつす契 <sup>可</sup> やかれ <sup>可</sup> ぬ遣萩 <sup>布</sup> 秋 <sup>留</sup> を ふ <sup>能</sup> るえ <sup>能</sup> の萩 <sup>能</sup> の花 <sup>能</sup> のした <sup>多</sup> みつ <sup>川</sup>                                                          | 守光 |
| 伏日109  |   | み <sup>可</sup> かは水 <sup>可</sup> よしや <sup>可</sup> はら <sup>能</sup> ハし萩 <sup>能</sup> の戸 <sup>能</sup> の は <sup>者</sup> な <sup>奈</sup> の <sup>丹</sup> 莖 <sup>丹</sup> には <sup>連</sup> む <sup>連</sup> れ行 <sup>と</sup> も <sup>重治</sup>               | 重治 |
| 伏日1210 |   | 真萩 <sup>尔</sup> 咲 <sup>志</sup> 野 <sup>連</sup> へにし <sup>連</sup> られ <sup>連</sup> ぬ忘 <sup>怒</sup> 水 う <sup>者</sup> つろ <sup>者</sup> ひは <sup>者</sup> てむ <sup>者</sup> 後 <sup>者</sup> やみ <sup>者</sup> てまし <sup>公音</sup>                             | 公音 |
| 伏日1615 |   | うつめ <sup>宇</sup> なを <sup>川</sup> を <sup>見</sup> ち <sup>奈</sup> り <sup>越</sup> なむ <sup>奈</sup> 後 <sup>可</sup> も萩 <sup>可</sup> か花 よ <sup>能</sup> そに <sup>能</sup> さ <sup>能</sup> そハ <sup>能</sup> ぬ庭 <sup>能</sup> の遣 <sup>能</sup> 水 <sup>能</sup> | 季種 |

廿日 女郎花露 秋の6 41 9首のみ(御製・実隆・政為・季種・濟維・公條・為孝・康親・雅綱)

|     |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |    |
|-----|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 日1  | 1 | 夜 <sup>古</sup> をこめて <sup>連</sup> たれ <sup>起</sup> おき <sup>奈</sup> 出し露 <sup>奈</sup> ならん 今朝 <sup>可</sup> 色 <sup>可</sup> ふか <sup>可</sup> き女 <sup>可</sup> 郎 <sup>可</sup> 花 <sup>可</sup> 哉 <sup>可</sup>                                                                                                                                                | 條  |
| 日2  | 2 | を <sup>者</sup> けは <sup>古</sup> こそ <sup>奈</sup> なひ <sup>飛</sup> くを露 <sup>奈</sup> の女 <sup>奈</sup> 郎 <sup>奈</sup> 花 <sup>奈</sup> あ <sup>阿</sup> た <sup>多</sup> なる <sup>奈</sup> 名 <sup>奈</sup> をや <sup>可</sup> 花 <sup>可</sup> にかく <sup>可</sup> へ <sup>可</sup> き <sup>隆</sup>                                                                         | 隆  |
| 日4  | 3 | 心 <sup>梨</sup> ありて <sup>起</sup> を <sup>可</sup> きける <sup>可</sup> 露 <sup>阿</sup> か女 <sup>多</sup> 郎 <sup>奈</sup> 花 <sup>奈</sup> あ <sup>阿</sup> た <sup>多</sup> なる <sup>奈</sup> 名 <sup>奈</sup> をや <sup>尔</sup> 花 <sup>尔</sup> にかく <sup>可</sup> すと <sup>継</sup>                                                                                        | 継  |
| 日5  | 4 | 一時 <sup>盤</sup> はやとし <sup>毛</sup> もは <sup>者</sup> て <sup>毛</sup> 女 <sup>毛</sup> 郎 <sup>毛</sup> 花 <sup>毛</sup> 露 <sup>毛</sup> もあ <sup>阿</sup> た <sup>多</sup> なる <sup>奈</sup> 名 <sup>奈</sup> に <sup>尔</sup> ハ <sup>可</sup> た <sup>可</sup> つと <sup>可</sup> も <sup>網</sup>                                                                           | 網  |
| 日8  | 5 | 口 <sup>奈</sup> なし <sup>尔</sup> の色 <sup>起</sup> に <sup>起</sup> ぎ <sup>起</sup> きて <sup>徒</sup> ハ女 <sup>阿</sup> 郎 <sup>多</sup> 花 <sup>毛</sup> つ <sup>阿</sup> ゆ <sup>多</sup> のあ <sup>毛</sup> た <sup>可</sup> 名 <sup>可</sup> も <sup>可</sup> い <sup>可</sup> か <sup>可</sup> 、は <sup>可</sup> る <sup>可</sup> けん <sup>為</sup>                               | 為  |
| 日9  | 6 | を <sup>能</sup> く露 <sup>可</sup> を玉 <sup>尔</sup> のか <sup>可</sup> さ <sup>可</sup> しに <sup>毛</sup> み <sup>可</sup> か <sup>可</sup> き <sup>毛</sup> ても 猶 <sup>奈</sup> 光 <sup>奈</sup> そ <sup>奈</sup> ふを <sup>奈</sup> ミ <sup>可</sup> な <sup>可</sup> へ <sup>可</sup> し <sup>可</sup> かな <sup>種</sup>                                                           | 種  |
| 日12 | 7 | 立 <sup>類</sup> よるも我 <sup>盤</sup> 名 <sup>盤</sup> は <sup>奈</sup> た、し女 <sup>奈</sup> 郎 <sup>奈</sup> 花 <sup>奈</sup> 露 <sup>奈</sup> を契 <sup>奈</sup> りに <sup>奈</sup> な <sup>奈</sup> ひ <sup>奈</sup> き <sup>奈</sup> そめ <sup>奈</sup> ぬ <sup>孝</sup>                                                                                                        | 孝  |
| 日15 | 8 | を <sup>奈</sup> みな <sup>可</sup> へ <sup>可</sup> し <sup>可</sup> かさ <sup>能</sup> しの玉 <sup>能</sup> の露 <sup>奈</sup> なら <sup>者</sup> は ち <sup>累</sup> るを <sup>者</sup> あ <sup>者</sup> は <sup>者</sup> れと <sup>孝</sup> 猶 <sup>孝</sup> や <sup>孝</sup> ミ <sup>孝</sup> て <sup>孝</sup> まし <sup>孝</sup>                                                         | 孝  |
| 日16 | 9 | 露 <sup>能</sup> のま <sup>能</sup> の契 <sup>可</sup> りは <sup>可</sup> かり <sup>可</sup> に女 <sup>奈</sup> 郎 <sup>奈</sup> 花 <sup>奈</sup> 心 <sup>毛</sup> よ <sup>毛</sup> ハ <sup>毛</sup> くも <sup>奈</sup> は <sup>奈</sup> や <sup>奈</sup> な <sup>奈</sup> ひ <sup>奈</sup> くら <sup>親</sup> ん <sup>親</sup>                                                             | 親  |
| 日3  |   | を <sup>遠</sup> みな <sup>奈</sup> へ <sup>奈</sup> し <sup>奈</sup> な <sup>奈</sup> ひ <sup>奈</sup> き <sup>奈</sup> な <sup>奈</sup> ハ <sup>奈</sup> て <sup>奈</sup> そ <sup>奈</sup> 夕 <sup>奈</sup> 霧 <sup>奈</sup> の む <sup>春</sup> す <sup>多</sup> も <sup>多</sup> あ <sup>多</sup> た <sup>多</sup> の契 <sup>可</sup> ハ <sup>可</sup> かり <sup>可</sup> に <sup>重治</sup>  | 重治 |
| 日6  |   | 名 <sup>尔</sup> にめて <sup>能</sup> ハ露 <sup>奈</sup> のな <sup>奈</sup> さ <sup>奈</sup> き <sup>奈</sup> も女 <sup>者</sup> 郎 <sup>尔</sup> 花 <sup>尔</sup> は <sup>奈</sup> な <sup>奈</sup> に <sup>奈</sup> ハ <sup>奈</sup> あ <sup>奈</sup> さ <sup>奈</sup> き <sup>奈</sup> 色 <sup>奈</sup> や <sup>奈</sup> ミ <sup>奈</sup> ゆ <sup>奈</sup> ら <sup>永宣</sup> ん <sup>永宣</sup> | 永宣 |
| 日7  |   | し <sup>志</sup> ハし <sup>登</sup> な <sup>可</sup> と心 <sup>可</sup> も <sup>奈</sup> を <sup>奈</sup> か <sup>奈</sup> て <sup>奈</sup> を <sup>奈</sup> みな <sup>奈</sup> へ <sup>奈</sup> し あ <sup>尔</sup> た <sup>尔</sup> め <sup>尔</sup> く露 <sup>尔</sup> にな <sup>支</sup> ひ <sup>个</sup> き <sup>个</sup> そめ <sup>元長</sup> けん <sup>※日…お</sup>                         | 元長 |
| 日10 |   | 駒 <sup>奈</sup> な <sup>天</sup> へ <sup>能</sup> て野 <sup>能</sup> へ行 <sup>尔</sup> 人 <sup>能</sup> の袖 <sup>能</sup> の上 <sup>能</sup> に 露 <sup>盤</sup> はお <sup>氣</sup> ち <sup>留</sup> ける <sup>奈</sup> を <sup>奈</sup> も <sup>奈</sup> な <sup>奈</sup> へ <sup>可</sup> し <sup>可</sup> かな <sup>公音</sup>                                                          | 公音 |
| 日11 |   | 置 <sup>奈</sup> ま <sup>奈</sup> よ <sup>奈</sup> ふ露 <sup>奈</sup> もえ <sup>奈</sup> なら <sup>奈</sup> す <sup>奈</sup> さ <sup>奈</sup> く枝 <sup>尔</sup> に う <sup>連</sup> つ <sup>奈</sup> れ <sup>奈</sup> ハ <sup>奈</sup> お <sup>奈</sup> なし <sup>奈</sup> 女 <sup>伊長</sup> 郎 <sup>伊長</sup> 花 <sup>伊長</sup> 哉 <sup>伊長</sup>                                          | 伊長 |
| 日13 |   | を <sup>尔</sup> く露 <sup>奈</sup> にな <sup>起</sup> ひ <sup>奈</sup> ハ <sup>奈</sup> て、も <sup>奈</sup> を <sup>奈</sup> ミ <sup>奈</sup> な <sup>奈</sup> へ <sup>志</sup> しめ <sup>免</sup> ゆ <sup>能</sup> ふ野 <sup>奈</sup> へ <sup>奈</sup> のぬ <sup>奈</sup> し <sup>奈</sup> な <sup>奈</sup> 忘 <sup>守光</sup> そ <sup>守光</sup>                                            | 守光 |
| 日14 |   | な <sup>奈</sup> ひ <sup>奈</sup> くとも <sup>古</sup> 露 <sup>古</sup> こそ <sup>古</sup> か <sup>古</sup> こと女 <sup>尔</sup> 郎 <sup>尔</sup> 花 <sup>尔</sup> 人 <sup>尔</sup> にお <sup>尔</sup> ほ <sup>尔</sup> か <sup>尔</sup> る <sup>可</sup> 心 <sup>衣</sup> 見 <sup>須</sup> え <sup>和長</sup> す <sup>和長</sup> は <sup>和長</sup>                                            | 和長 |

廿一日 風動野花 秋の7 42 8首のみ(御製・実隆・政為・濟繼・公條・為孝・康親・雅綱)

|     |   |                                                                                                                |      |
|-----|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 日2  | 1 | 吹 <sup>可</sup> からに野への千種 <sup>乃</sup> のうなひき <sup>那飛支</sup> めに <sup>尔</sup> ミぬ風も色つきにけり                           | 條    |
| 日4  | 2 | 色 <sup>奈支</sup> もなき草の袂 <sup>乃</sup> の露 <sup>奈</sup> ならは <sup>者</sup> し <sup>志</sup> ゐ <sup>志本</sup> てもしほれ野への秋風 | 繼    |
| 日5  | 3 | 野を遠 <sup>盤</sup> み吹とは見えぬ秋風に <sup>尔</sup> ひとかたな <sup>飛可多奈飛</sup> ひく花薄哉                                          | 綱    |
| 日8  | 4 | 露 <sup>奈飛</sup> なひく花野をミれは秋風の <sup>者</sup> 心ひとつを千種 <sup>尔</sup> にそ <sup>を</sup> く                               | 為    |
| 日10 | 5 | 我 <sup>多尔毛</sup> たにもおしとて花にわけぬ野を <sup>尔希</sup> しらすや風の吹すて、行                                                      | 親    |
| 日11 | 6 | 花の色 <sup>乃能</sup> の千、に物こそとハかりに <sup>尔古</sup> わか身ひとつの野への秋風                                                      | ※阿…も |
| 日13 | 7 | 野へハ今千種 <sup>奈可</sup> なからに咲花の <sup>乃</sup> いつれを風のよきよといはまし <sup>者</sup>                                          | 孝    |
| 日16 | 8 | まささ <sup>満</sup> ちる山 <sup>里毛</sup> よりも猶花の上に <sup>尔能</sup> 心をしほる野への秋風                                           | 隆    |
| 日1  |   | 野邊ハいま真野 <sup>能</sup> の浦風あさ夕に <sup>尔</sup> 小花の波 <sup>乃</sup> そよせてかへらぬ <sup>怒</sup>                              | 和長   |
| 日3  |   | たれをうらみ誰 <sup>可志多</sup> をかししたふ暮野、 <sup>尔</sup> 風にみたる、尾花 <sup>多留</sup> くすはな <sup>春者奈</sup>                       | 重治   |
| 日6  |   | 吹ミ <sup>多春</sup> たす秋の野かせの糸 <sup>可春</sup> す、き <sup>能</sup> そへてもちらぬ花の色哉                                          | 永宣   |
| 日7  |   | 風わたるす野の草のかけしけ <sup>多留</sup> ミ <sup>能可志</sup> いかなる花 <sup>可那</sup> か咲て散らん                                        | 元長   |
| 日9  |   | 是もまた野もせの雪 <sup>能可保尔</sup> かほに出る <sup>留</sup> 尾花 <sup>可</sup> か袖 <sup>可春</sup> をかへすわき風                          | 季種   |
| 日12 |   | 風みえて尾花 <sup>衣奈</sup> ハなひく秋の野に <sup>具尔</sup> にはふ千種 <sup>丹能</sup> の色もわかれ <sup>可禮春</sup> す                        | 守光   |
| 日14 |   | 風さ <sup>衣</sup> はくす、の、はらの夕暮 <sup>能尔</sup> になひく千種 <sup>奈</sup> の花 <sup>留</sup> やちるらん                            | 伊長   |
| 日15 |   | 咲花や冬 <sup>速</sup> かれまたてしほれまし <sup>志保速</sup> 野原 <sup>能</sup> の風餘 <sup>者氣支</sup> はけしき                            | 公音   |

廿一日 鹿聲何方 秋の8 43 7首のみ(御製・実隆・政為・濟繼・公條・康親・雅綱)

|     |   |                                                                                                                                              |    |
|-----|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 日1  | 1 | 山 <sup>可勢乃</sup> かせの空 <sup>尔</sup> に聞ても鹿 <sup>毛</sup> のねの <sup>尔</sup> 秋のあはれや四方 <sup>阿者</sup> にミつらん                                          | 條  |
| 日3  | 2 | 男鹿 <sup>奈</sup> なく風の末 <sup>奈</sup> われならぬ <sup>を</sup> のかつまさへき、かまとはん                                                                          | 繼  |
| 日4  | 3 | 秋風のつてもほのかにさそひきて <sup>毛本可尔</sup> 猶 <sup>飛</sup> そこ <sup>古</sup> なきさをしかの <sup>奈起</sup> 声                                                       | 綱  |
| 日7  | 4 | 鹿の音 <sup>可</sup> ハいつれか先にさそひこし <sup>尔</sup> 峯 <sup>尔</sup> にも尾 <sup>尔</sup> にも秋のさよ風                                                           | 為  |
| 日8  | 5 | 此 <sup>阿者</sup> 比の野分山 <sup>古多</sup> 風 <sup>幾</sup> いつれ猶 <sup>尔</sup> 身にしむ鹿 <sup>耳</sup> の声 <sup>可</sup> にふくらぬ                                | 隆  |
| 日10 | 6 | あはれ <sup>阿者</sup> を <sup>者</sup> は我 <sup>古多</sup> そこたふる鳴鹿 <sup>可</sup> や <sup>可</sup> いつれ山 <sup>飛</sup> ひこをちこちの <sup>可</sup> 声               | 親  |
| 日13 | 7 | そこ <sup>古奈</sup> となく声 <sup>幾</sup> きく時 <sup>可</sup> やさをしかの <sup>可</sup> 妻 <sup>可</sup> とふ道 <sup>可</sup> も猶 <sup>可</sup> たとらん                 | 隆  |
| 日2  |   | た、へこし尾上 <sup>堂</sup> やいつく松風 <sup>津能</sup> の <sup>尔</sup> 枕 <sup>尔満</sup> にまよふ棹鹿 <sup>能</sup> のこゑ                                             | 重治 |
| 日5  |   | しる人 <sup>志留奈</sup> なく里 <sup>可年</sup> とひかねて暮 <sup>尔</sup> る野に <sup>堂満</sup> たま <sup>可</sup> く間 <sup>可</sup> も男鹿 <sup>可</sup> 啼 <sup>可</sup> 声 | 永宣 |
| 日6  |   | 遠近 <sup>佐多</sup> に所 <sup>怒能</sup> さためぬ鹿 <sup>加留</sup> の音 <sup>加</sup> ハ <sup>留</sup> かくる、妻 <sup>多</sup> やたつねあふらん                             | 元長 |
| 日9  |   | 明 <sup>流</sup> るまで妻 <sup>津連那</sup> もつれなく鳴鹿 <sup>可起</sup> ハ <sup>尔</sup> ふもとの野 <sup>能</sup> へか帰 <sup>可留</sup> る山路 <sup>可</sup> か              | 季種 |
| 日11 |   | 磯山 <sup>津</sup> もいつくかちかき秋風 <sup>可起</sup> の <sup>尔</sup> 舟 <sup>留</sup> にぬる夜 <sup>能</sup> のさをしかの <sup>可</sup> こゑ                              | 和長 |
| 日12 |   | その山 <sup>能</sup> とさためぬ鹿 <sup>怒能</sup> のうへなれや <sup>奈速</sup> いつくも秋 <sup>川</sup> の心 <sup>可速</sup> うかれて                                          | 公音 |
| 日14 |   | しきた <sup>志起多</sup> への枕 <sup>尔加</sup> にかはる棹鹿 <sup>留能</sup> の <sup>佐多</sup> こゑ <sup>奈起</sup> さためなき夢 <sup>可</sup> ハさめつ、                         | 為孝 |
| 日15 |   | そなた <sup>那多</sup> そと聞 <sup>多免怒</sup> もさためぬ妻戀 <sup>可</sup> に <sup>可速</sup> よろまてまよふ棹鹿 <sup>可</sup> の聲                                          | 守光 |
| 日16 |   | 松風 <sup>能</sup> のさ <sup>川</sup> はく夕 <sup>可速</sup> へハいつくそと <sup>可速</sup> き、もわかれぬ小男鹿 <sup>可速</sup> のこゑ                                         | 伊長 |

廿三日 秋夕傷心 秋の9 44 欠：永宣・重治・元長・守光 ※「実隆公記」同日条に記事あり

|     |    |                                                                                                                                                                   |
|-----|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日1  | 1  | 露 <small>志</small> やしるとし <small>可</small> ふか、らぬ秋 <small>多</small> たにも 夕ハ袖のぬれし <small>連</small> ならひを 隆                                                             |
| 日4  | 2  | 夕 <small>尔</small> にも <small>尔</small> もかき <small>可</small> るうさ <small>奈</small> ならぬ 身 <small>奈</small> をさへなと <small>可</small> か忍 <small>可</small> ひそふらん 継 ※阿：おもひ |
| 日5  | 3  | 夕 <small>本</small> くれハ一し <small>阿</small> はまさるあはれさの 心 <small>可</small> をいかて <small>尔</small> 焔 <small>可</small> にかこたむ 網                                           |
| 日7  | 4  | あ <small>阿</small> はれいかに <small>可</small> なひくあさちの 色 <small>毛</small> くも人の心の秋の夕暮 條                                                                                 |
| 日8  | 4  | 又もあ <small>毛</small> ハん秋 <small>毛</small> をもしらぬ我身には うきも名残の夕 <small>奈</small> ならずや 為                                                                               |
| 日9  | 5  | 焔 <small>毛</small> そとて物おもふこと <small>尔</small> の夕くれを 心 <small>多</small> にとふもこたへ <small>飛</small> わひつゝ、 音                                                           |
| 日10 | 6  | つきて物思ふ人 <small>可</small> ハいかならん 秋 <small>奈</small> の <small>飛</small> ならひもつらき夕 <small>徒</small> に 長 ※日：夕もつらきならひに                                                  |
| 日11 | 7  | いとハしよ夕の秋 <small>能</small> のそれ <small>奈</small> ならて 何 <small>能</small> をうき身 <small>多</small> のたくひ <small>尔</small> にかせん 孝                                          |
| 日12 | 8  | 雨の <small>多</small> 欄草 <small>乃</small> のちまたのおきふしに 猶 <small>飛</small> ワひまさる焔の夕風 長 ※根（ネ）マ、楓 <small>カ</small> 意力。日：楓 ※2日・伏：とす。 ※3日：くれ                               |
| 日13 | 9  | なかめつゝ、夕となれはたか世より うきにしたへぬ秋 <small>奈</small> をしりけん 種                                                                                                                |
| 日14 | 10 | 古 <small>者</small> ことはりのうき世 <small>起</small> なりけり心より 思へハ秋の夕 <small>奈</small> くれもなし                                                                                |
| 日15 | 11 | うきものといとひ <small>飛</small> へて、も秋 <small>毛</small> よいま なかめすつへき夕暮ハなし 親                                                                                               |
| 日2  |    | 春そとて世の人 <small>能</small> なみに花も見す 我 <small>尔</small> にしらるな秋の夕暮 永宣                                                                                                  |
| 日3  |    | いかに <small>可</small> してわれより老の心 <small>尔</small> にも たへける物 <small>氣</small> ぞ秋の夕 <small>留</small> くれ 重治                                                             |
| 日6  |    | うき <small>起</small> なからいくつ <small>奈</small> の焔 <small>能</small> をすくしきて この夕暮 <small>古</small> にたへしとすらん 元長                                                          |
| 日15 |    | 露 <small>能</small> のくれ草の袂 <small>連</small> ハいかならん 人の心 <small>能</small> ぞ秋 <small>尔</small> にしほるゝ、 守光                                                              |

廿四日 遠天旅鷹 秋の10 45 7首のみ（御製・実隆・政為・済継・公條・康親・雅綱）

|     |   |                                                                                                                                                                      |
|-----|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日1  | 1 | くるかた <small>多</small> のしられて聞もあまつ鷹 いくつかの雲 <small>能</small> ぞかすかなる <small>可</small> こゑ 継 ※寸可奈累古衛                                                                       |
| 日2  | 2 | いそくらん都 <small>本</small> の空ハほとなくて 出 <small>古</small> しこしちや遠き <small>可</small> かりか <small>能</small> ね 綱                                                                |
| 日5  | 3 | 中空 <small>尔</small> に思ひわふるや故郷も みやこもと <small>古</small> をきあまつ <small>阿</small> 厂 <small>可</small> かね 條                                                                 |
| 日6  | 4 | 天津 <small>奈</small> 厂 <small>尔</small> なを <small>志</small> しほりと雲水の 跡 <small>奈</small> なき道 <small>支</small> をわけてきつらん 隆 ※日：伏：を                                         |
| 日7  | 5 | 古 <small>可</small> しかたを天津 <small>多</small> そら <small>越</small> にや忍ふらん 雲のへたて <small>福</small> のかり <small>乃</small> のつら 為 ※阿：ハ。 ※2日・伏：阿：ハ                              |
| 日12 | 6 | 思ふ <small>尔</small> にもいく海山 <small>志</small> をし <small>幾</small> こし 心 <small>可</small> やかたる初 <small>可</small> かり <small>李</small> のこゑ 親 ※を（と）力。日：高：と。 ※2秋（空力）。日：伏：高：秋 |
| 日13 | 7 | 待えても都 <small>奈</small> を旅 <small>乃</small> をなく厂の 声さへ遠き秋 <small>可</small> そかひ <small>奈</small> なき 親                                                                   |
| 日3  |   | みやこ <small>丹</small> にハ見ワたす山 <small>多</small> もはるけきに 越路 <small>能</small> の鷹 <small>可</small> のいく <small>可</small> きぬらん 永宣                                            |
| 日4  |   | 雲分 <small>天</small> ていくたひ <small>多</small> かりの行とくと いく <small>津</small> かおな <small>可</small> し旅 <small>能</small> の中宿 元長                                               |
| 日8  |   | やつれ <small>連</small> こし旅 <small>佐</small> もさそなとくる厂の 雲路 <small>邊</small> へたて、かす <small>加</small> か成声 重治                                                               |
| 日9  |   | 堂 <small>能</small> たひの空 <small>越</small> なを <small>留</small> はるけしとおもふなと 都 <small>能</small> の山 <small>留</small> を越る鷹 <small>可</small> かね 公音 ※日：ほ                      |
| 日10 |   | 浮雲 <small>尔</small> に <small>講</small> まされて行もほ <small>保</small> かなる 聲 <small>志</small> をしるへの厂 <small>能</small> の一つら 伊長 ※日：を                                          |
| 日11 |   | 天津厂雲 <small>能</small> のよそなる音つれも たれ住山 <small>堂</small> のたよりとかまつ 為孝                                                                                                    |
| 日14 |   | を <small>能</small> のかそらへたての雲 <small>尔</small> にねを <small>奈</small> なきて 都 <small>可</small> いそかぬ厂 <small>能</small> の哀さ 和長                                              |
| 日15 |   | むれて <small>連</small> ある田面 <small>留</small> や遠きミ <small>起</small> やこ <small>丹</small> にハ 空 <small>尔</small> にのミ聞天津厂 <small>可</small> かね 季種                            |
| 日16 |   | いつく <small>津</small> にかやとりハ <small>可</small> からんくる厂 <small>能</small> の 都 <small>能</small> を旅 <small>留</small> のそらにまよひて 守光                                            |

廿五日 横峯待月 秋の11 46 8首のみ（御製・実隆・政為・重治・濟維・公條・為孝・雅綱）

|     |                           |                      |               |            |
|-----|---------------------------|----------------------|---------------|------------|
| 日2  | 1                         | うき雲のよこさる峯の秋風に        | 心つくせとなれる月かな   | 條          |
| 日3  | 2                         | 可飛可柵<br>かひかねを今や      | 出らん月影に        | 猶雲うつむさ夜の中山 |
| 日4  | 3                         | 本盤<br>待とはくらきたかねを雲かとも | かけ見ぬ月に先いとふかな  | 為          |
| 日7  | 4                         | 秋風の寒き音羽の滝のうへの        | 嶺やそなたと月を待かな   | 治          |
| 日8  | 5                         | 飛盤<br>待わひて深行空は横雲の    | それかとにほふ峯の月かけ  | 孝          |
| 日10 | 6                         | 尔飛<br>心あてに思ひし峯の雲とをく  | あたりもいまハにほふ月かけ | 繼          |
| 日13 | 7                         | 志<br>しはし猶よこさる雲のおも影と  | 思ひし嶺に月そほのめく   | 綱          |
| 日14 | 8                         | 飛毛<br>待わひぬ麓の雲もかさこしの  | 嶺こす月に立のほりつ、   |            |
| 日1  | 峯高ミよこ                     | 於利布留丹<br>おりふせる麓にも    | 月ハ立待のさ夜の中山    | 永宣         |
| 日2  | みねつ、き高きかたへハこくらくて          | よそより月の影そほのめく         | 元長            |            |
| 日7  | 年堂可古<br>ミねたかみこ、にこそまてまたすとも | 其方の里ハ月やみるらん          | 伊長            |            |
| 日8  | をそくとく出へき月の影ともし            | わかれぬ峯につれなくそ待         | 康親            |            |
| 日11 | 留堂可年<br>待侘るたかねの雲もそれながら    | 松をつくして出る月影           | 守光            |            |
| 日12 | 怒能奈多屋<br>まちわひぬ山のこなたの夕やみに  | 嶺こす月の出やらぬかけ          | 季種            |            |
| 日15 | このまゝにあげやはなれむまち更る          | 月の高ねの横雲の空            | 公音            |            |
| 日16 | 奈<br>あちきなく待出し月もよこ雲の       | ミね一すしに有明の空           | 和長            |            |

廿六日 明日如畫 秋の12 47 8首のみ（御製・実隆・政為・守光・濟維・公條・為孝・康親）

|     |                  |                   |               |   |                |
|-----|------------------|-------------------|---------------|---|----------------|
| 日2  | 1                | よるならぬ都の名をも月影の     | 千里にミする秋かせの空   | 條 | ※雪…すめる         |
| 日3  | 2                | 山鳥も獨やはねんますか、み     | てらす八月の夜るとしもなし | 隆 |                |
| 日4  | 3                | なをさりにみしかけいかにすむ月の  | よるとハ人のそらめなるらん | 為 |                |
| 日7  | 4                | 消やうて光そひ行露にこそ      | 日影を月の空としもしれ   | 親 |                |
| 日8  | 5                | おくるかとかくまなき月におきいて、 | 思ひしよりもなる、影哉   | 孝 |                |
| 日12 | 6                | さやけさをつゆのひるまと思には   | 何をかやとり月の下草    | 繼 | ※日・伏・阿・ふ。高・列・ひ |
| 日14 | 7                | すむま、に梢のくまもなき月に    | よるを忘る、鳥の声して   | 繼 |                |
| 日16 | 8                | 鳥羽玉のよるとは見えし一村の    | 雲もよそなる月のひかりハ  | 光 | ※日…の高…も、伏…ひ    |
| 日1  | くもりなき月をよるとも思ハてや  | ねたる鴉のなきさハくらん      | 元長            |   |                |
| 日5  | 此ころの月の秋にや文まなふ    | 窓にハ暮る夜を忘るらむ       | 重治            |   |                |
| 日6  | よるひるとわきてみるへき色なし  | くまなき月のてらす光ハ       | 伊長            |   |                |
| 日9  | 鐘の音や月ミぬ里をしらすらん   | くまなき空は夜としもなし      | 永宣            |   |                |
| 日10 | 夜を日につきたし人の心まで    | さやかにミする月の半空       | 和長            |   |                |
| 日11 | くまもなき影にむかひてよるとたに | 覚えぬ空に更る月哉         | 雅綱            |   |                |
| 日13 | かはかりの月には誰かふし原の   | よるとはいかて枕さためむ      | 公音            |   |                |
| 日15 | よをへたて露のひるまを面影に   | うつす鏡や月晴る空         | 季種            |   |                |

廿七日 十五夜月 秋の13 48 欠…重治・公音・和長・伊長・季種

|     |    |                        |              |                 |    |
|-----|----|------------------------|--------------|-----------------|----|
| 日1  | 1  | 可<br>かたふかてこのまゝミはやかそふれハ | 古乃<br>可<br>連 | 秋の日かすも中そらの月長    |    |
| 日2  | 2  | 古<br>これも又天の河原の焔の月      | 乃<br>年       | 一年の名にやたつらん      | 條  |
| 日3  | 3  | 古<br>ことしもと秋のなか半を月にみて   | 奈可<br>尔      | いかに身にしむ光とかしる    | 隆  |
| 日4  | 4  | 盤<br>月はたゝなへての秋も明石かた    | 乃<br>可多      | 波の毛中のかけことにして    | 為  |
| 日6  | 5  | 奈支<br>心なき心や空に月もみむ      | 尔<br>毛       | 秋はもなかと名のミめてゝも   | 親  |
| 日7  | 6  | 毛<br>くもらしと月はその名を思ハても   | 盤<br>毛       | てるこそ秋の最中成けれ     | 孝  |
| 日8  | 7  | 可<br>大かたの秋をひかりのはしめにて   | 悲可<br>尔      | 最中の月そさらにてりそふ    | 宣  |
| 日9  | 8  | 一葉より月もる桐の下水も           | 李<br>乃<br>毛  | 最中の影やさらにすむらん    |    |
| 日10 | 9  | 幾<br>わきてミむはつきの月も名にたてる  | 者<br>乃<br>毛  | こよひいかなる影かそふらん   | 綱  |
| 日11 | 10 | めくりきて盈ぬる影の             | 乃<br>盤       | いづはあれと          | 繼  |
| 日12 | 11 | 可<br>かそふるは心のくまか月影の     | 乃<br>万可      | なる夜半もなき焔のなかに    | 光  |
| 日5  |    | 可<br>いかなれば人のくにゝもこよひハと  | 可<br>尔       | ななめそめける秋の月影     | 重治 |
| 日11 |    | 能<br>一とせの穂のうちにこよひハと    | 尔<br>古       | かねて心の月もくもらす     | 公音 |
| 日13 |    | 最中そとおもふひかりハかひもなし       | 可<br>奈       | しらてあこかれん月にやハあらぬ | 和長 |
| 日14 |    | 奈可<br>穂なからことなるものハ名にたかき | 古<br>那留      | 一夜の月の光成けり       | 伊長 |
| 日16 |    | おなしくハ名高き月と聞ハかり         | 起<br>可利      | 身にしらハやなめてむ惜を    | 季種 |

廿八日 雲間稲妻 秋の14 49 8首のみ(御製・実隆・政為・濟繼・公條・為孝・康親・雅綱)

|     |   |                        |             |                     |               |    |
|-----|---|------------------------|-------------|---------------------|---------------|----|
| 日2  | 1 | 消かへりこの世の露のたくひとや        | 可<br>梨古乃    | 能<br>飛              | 空なる雲もいなつまの影   | 條  |
| 日5  | 2 | とめぬへき影をはいなと稲妻の         | 登<br>奈      | 乃                   | 雲のよそめにあまりはかなき | 為  |
| 日7  | 3 | 行多なき露の契よいなつまハ          | 奈<br>徒万     | 本                   | ほのめく雲を面影にして   | 繼  |
| 日11 | 4 | 村雲のてらしもはてぬ稲妻に          | 毛<br>尔      | 夜る行人や道まふらん          |               | 隆  |
| 日12 | 5 | 雲くらき暁月の露のまに            | 支<br>乃<br>尔 | 可<br>かよふともなきいなつまのかけ | 奈<br>徒万       | 孝  |
| 日13 | 6 | 風さハく雲のたえまの影またて         | 多           | をのれもれ出るるの稲妻         | 留             | 親  |
| 日15 | 7 | 古<br>こゝにしも移るとみしや程もなく   | 尔<br>毛      | かへる雲井の稲妻の影          | 可<br>奈        | 綱  |
| 日16 | 8 | 稲妻の光もおなし未たえて           | 乃<br>毛      | いつくともなき雲のかけ橋        | 可<br>希        |    |
| 日1  |   | 者可<br>はかなしとなにおもひけむうき雲を | 那<br>尔      | 跡に残して消る稲妻           | 留             | 元長 |
| 日3  |   | 野辺遠き外山の雲の一むらに          | 起<br>乃<br>尔 | かよひなれたる稲妻の影         | 奈<br>徒多留      | 重治 |
| 日4  |   | いかハかりてらす雲間にいなつまの       | 可<br>利      | 程なきかけにミゆる山のは        | 奈<br>起可尔      | 永宣 |
| 日6  |   | むら雨の空にまきさるゝひかりかな       | 能<br>尔      | 雲のたえゝミゆる稲妻          | 多             | 伊長 |
| 日8  |   | 雲のはに待ぬ光ハいくたひか          | 者<br>尔      | 心かこかすよひのいなつま        | 可<br>奈        | 守光 |
| 日9  |   | 志<br>しハしなをおなし雲間にかよひても  | 奈<br>那      | 有とまたのまぬ宵の稲妻         | 奈<br>開        | 季種 |
| 日10 |   | いなつまのひかりにみれハ村雲の        | 奈<br>津万能悲可利 | 色冷しき夕やミの空           | 速             | 公音 |
| 日14 |   | 雲のはも光ハかりのいなつまハ         | 者<br>可利乃    | なにをすかたに時の間もミむ       | 奈<br>川万       | 和長 |

廿九日 名所擣衣 秋の15 50 欠：季種

|    |                   |                                                                                                          |                |    |
|----|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----|
| 1  | おりしもあれ龍田の嵐夜や寒き    | 徒希 <sup>尔</sup>                                                                                          | 夕つけ鳥に衣うつ声      | 隆  |
| 2  | 秋ふかきいく田の森のしたかせの   | 可 <sup>起</sup><br>乃 <sup>尔</sup>                                                                         | 身にさむしとや衣うつらん   | 治  |
| 3  | うちたゆむきそのあさきぬあさはかに | 阿 <sup>尔</sup><br>佐 <sup>可</sup><br>乃 <sup>尔</sup>                                                       | まどろむ程やよそにしられん  | 為  |
| 4  | 月になる難波のあし火焼すて、    | 尔 <sup>奈</sup><br>留 <sup>留</sup>                                                                         | こやのはしぬに衣うつなり   | 宣  |
| 5  | 秋寒きまきの嶋人たへかねて     | 起 <sup>能</sup><br>多 <sup>可</sup><br>祢 <sup>祢</sup>                                                       | さらさぬ布も月にうつらん   | 長  |
| 6  | 衣うつよしの、おくの秋のかせ    | 乃 <sup>乃</sup><br>可 <sup>可</sup><br>世 <sup>世</sup>                                                       | 身にしむ色や花に吹く     | 條  |
| 7  | 秋風の日を経て寒き夜もすから    | 乃 <sup>乃</sup><br>毛 <sup>毛</sup><br>可 <sup>可</sup>                                                       | おきみの里に衣うつなり    | 長  |
| 8  | 夜を寒き今や音羽の山ひこも     | 飛 <sup>飛</sup><br>毛 <sup>毛</sup><br>古 <sup>古</sup>                                                       | こたふるはかり夜うつらん   | 為  |
| 9  | 須磨の浦や波こゝもとにうちそへて  | 古 <sup>古</sup><br>毛 <sup>毛</sup><br>尔 <sup>尔</sup>                                                       | 礎は音のそれとしみなし    | 親  |
| 10 | 名にも似す里はとをちのさ夜衣    | 尔 <sup>尔</sup><br>毛 <sup>毛</sup><br>寸 <sup>寸</sup><br>盤 <sup>盤</sup>                                     | うつ音ちかく枕にそきく    | 長  |
| 11 | うつ音よたれを忍ふの里遠ミ     | 可 <sup>可</sup><br>乃 <sup>乃</sup><br>毛 <sup>毛</sup><br>古 <sup>古</sup>                                     | それかあらぬか夜半のさころも | 綱  |
| 12 | すみこしはあらぬ物から深草や    | 古 <sup>古</sup><br>盤 <sup>盤</sup><br>可 <sup>可</sup><br>乃 <sup>乃</sup>                                     | 里は野風に衣うつ也      | 音  |
| 13 | をはすてや山風さむき秋のよを    | 者 <sup>者</sup><br>乃 <sup>乃</sup><br>尔 <sup>尔</sup><br>奈 <sup>奈</sup>                                     | なくさめかねて衣うつなり   | 光  |
| 14 | 秋篠やと山の里のをくつゆも     | 乃 <sup>乃</sup><br>能 <sup>能</sup><br>毛 <sup>毛</sup><br>尔 <sup>尔</sup><br>志 <sup>志</sup>                   | よそにしられて衣うつ聲    | 繼  |
| 15 | 衣うつ音は音羽の山こえて      | 盤 <sup>盤</sup><br>古 <sup>古</sup><br>奈 <sup>奈</sup><br>多 <sup>多</sup><br>毛 <sup>毛</sup><br>奈 <sup>奈</sup> | 関のこなたもおなし秋風    | 季種 |
| 16 | 小夜衣うつころよりやまどろまて   | 川 <sup>川</sup><br>利 <sup>利</sup><br>於 <sup>於</sup><br>能 <sup>能</sup><br>多 <sup>多</sup><br>遣 <sup>遣</sup> | おきみの里の夢ハたえけむ   |    |

卅日 霧中求泊 秋の16 51 9首のみ（御製・実隆・政為・相長・濟雅・公條・為孝・康親・雅綱）

|        |                  |                                           |                            |               |    |
|--------|------------------|-------------------------------------------|----------------------------|---------------|----|
| 日3     | 1                | もしほやく浦のとまやと漕いれは                           | 登                          | 霧のまかきにまよふ友船   | 條  |
| 日5     | 2                | とまりそとみえしは霧のうき嶋に                           | 盤                          | よせてやさらにまよふ舟人  | 隆  |
| 日6     | 3                | 霧くらきミつのとまりはミつとしも                          | 起<br>満<br>毛<br>奈<br>満      | なくてそまよふ秋の船人   | 為  |
| 日8     | 4                | から櫓をす声をしるへにゆく舟も                           | 可<br>志<br>累<br>尔<br>毛      | おなしとまりか夕霧の空   | 親  |
| 日9     | 5                | よるもゆく波路なからにく舟の                            | 累<br>奈<br>可<br>尔<br>乃      | 泊いつくと霧まよふそら   | 孝  |
| 伏日1016 | 6                | 霧ふかミたとる夕の浦つたひ                             | 布<br>可<br>多<br>飛<br>尔<br>佐 | いづくに船をさしてと、めん | 長  |
| 伏日1110 | 7                | 霧のうちはこゝそ泊ときゝてたに                           | 盤<br>古<br>多<br>尔           | 猶まよふへき舟のよるへを  | 継  |
| 伏日1413 | 8                | たのミこし泊いつくと漕ゆかむ                            | 古<br>可<br>毛<br>志           | 汀もしらぬ浪のゆふさき   | 綱  |
| 伏日1514 | 9                | 霧のうちにこき入船のそのまゝに                           | 尔<br>能<br>尔<br>可<br>多<br>奈 | こゝを泊とゆくかたやなき  | 永宣 |
| 日1     | 行舟や泊いつくとたとるらん    | 川<br>堂<br>志<br>个<br>起<br>古<br>多<br>可<br>奈 | 霧間にしけき梶こたへかな               |               |    |
| 日2     | 霧の間に梶こたへして行舟も    | 能<br>尔<br>古<br>多<br>川<br>具<br>登           | いづく泊といふよしハなし               | 和長            |    |
| 日4     | 津奈               | 津<br>奈<br>おもひさためぬうす霧の空                    |                            | 元長            |    |
| 日7     | 舟とめてたのむとまりもうしまとや | 免<br>堂<br>満<br>利<br>登<br>秋霧闇き沖つ塩風         |                            | 重治            |    |
| 伏日1211 | 暮にけりミつとさためむ泊さへ   | 个<br>利<br>佐<br>多<br>波路の霧にまよふ舟人            |                            | 季種            |    |
| 伏日1312 | 浦遠く霧立まよひ行舟へ      | 具<br>満<br>古<br>登<br>留<br>多<br>奈           | こゝそ泊とよるかたもなし               | 公音            |    |
| 伏日1615 | 漕舟や霧のうちに唐琴の      | 丹<br>泊ハ波の音にしらるゝ                           |                            | 守光            |    |

※日：中。版：なか

十一月一日 伴菊延齡 秋の17 52 7首のみ(御製・実隆・政為・清継・公條・為孝・雅綱)

|     |                                                                                                          |                                                                                       |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 日2  | 1                                                                                                        | さく菊のした <sup>志多</sup> 行水や千世 <sup>可</sup> かけて 焔をせくへき花のし <sup>志可</sup> からミ 條             |
| 日4  | 2                                                                                                        | あか <sup>可</sup> すミて千世もま <sup>毛満古</sup> ことに露の間と 思ふは <sup>可利</sup> かりの焔の白菊 隆            |
| 日5  | 3                                                                                                        | 末の秋の花に <sup>乃</sup> は <sup>本</sup> る白菊を 千代 <sup>可</sup> のかさしの初とぞミる 為                  |
| 日9  | 4                                                                                                        | あひ <sup>飛</sup> あひていま九重に咲菊や 露も千年の数に <sup>尔</sup> をくらん 孝                               |
| 日11 | 5                                                                                                        | 今 <sup>毛</sup> もその山路の菊の下水や くミてつきせぬ秋をし <sup>徒支世</sup> るらん 継                            |
| 日14 | 6                                                                                                        | 萬代 <sup>乃</sup> の秋もつも <sup>徒毛</sup> らは音に <sup>者尔</sup> のミ 菊のした露 <sup>志</sup> 湖とこそミめ 綱 |
| 日15 | 7                                                                                                        | うつろふとみるもさ <sup>毛佐可</sup> かりの秋の菊 <sup>乃</sup> 老せぬ花に身をや <sup>尔</sup> 忘れん                |
| 日1  | うへ <sup>遍天堂</sup> てたにいく種なれぬ白菊の 花の千とせ <sup>奈連怒</sup> はまたや待ミむ 永宣                                           |                                                                                       |
| 日3  | 仙人の住家にお <sup>能</sup> ふる菊の花 うつす宿にも千世 <sup>尔</sup> はへぬへし 元長                                                |                                                                                       |
| 日6  | 仙人の千とせの秋 <sup>能</sup> をつむ菊の 九かさね <sup>林尔可</sup> にあかす <sup>春</sup> ちきらむ 重治                                |                                                                                       |
| 日7  | うつろふをあた <sup>川</sup> にもな <sup>多尔奈</sup> さて秋の菊 ひとへ <sup>能</sup> に花の千世やちきらむ 康親                             |                                                                                       |
| 日8  | 白菊の花をし <sup>能</sup> みれハ種といひ は <sup>者留</sup> ると、もにもいく世とかし <sup>尔</sup> る 和長                               |                                                                                       |
| 日10 | うへ <sup>遍</sup> そへて君か千とせ <sup>天可</sup> の行来を そふより契 <sup>利留</sup> る庭の白菊 伊長                                 |                                                                                       |
| 日12 | 置露に千とせ <sup>尔</sup> の数のよハひをも な <sup>奈越津</sup> をつミもへむ庭 <sup>能</sup> の白菊 守光                                |                                                                                       |
| 日13 | うち <sup>丹保</sup> はらひ手折 <sup>開</sup> かさしも君か <sup>可堂免</sup> ため 千世 <sup>尔</sup> にや千世と菊 <sup>能</sup> の上の露 季種 |                                                                                       |
| 日16 | に <sup>登</sup> へ菊千とせの焔 <sup>尔</sup> をとし毎に いくたひな <sup>多</sup> れて契置 <sup>連</sup> らん 公音                     |                                                                                       |

二日 霜草虫吟 秋の18 53 9首のみ(御製・実隆・政為・永宣・清継・公條・為孝・康親・雅綱)

|     |                                                                                                                                                    |                                                                                                                  |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日1  | 1                                                                                                                                                  | 枯 <sup>者</sup> はてんかき <sup>可起</sup> りやいづれ鳴虫 <sup>乃</sup> の 声も色 <sup>毛奈</sup> なきしも <sup>志毛</sup> の下草 宣             |
| 日2  | 2                                                                                                                                                  | 花の色ハあへ <sup>寸</sup> すうつろふ初霜 <sup>尔</sup> に そを <sup>越多尔乃</sup> たにのこれ松虫 <sup>乃</sup> の声 條                          |
| 日4  | 3                                                                                                                                                  | 初霜の岡 <sup>乃</sup> の草根よ虫の音よ いづれ <sup>乃</sup> か先ハ <sup>可速満</sup> かれま <sup>満</sup> さるらん 隆 ※んとすイ                     |
| 日5  | 4                                                                                                                                                  | 露をこそ <sup>古</sup> たのむ <sup>可</sup> かけなれ虫 <sup>奈</sup> のねの <sup>乃</sup> かれぬや <sup>可</sup> いかに霜 <sup>尔</sup> の下草 為 |
| 日8  | 5                                                                                                                                                  | 霜 <sup>尔</sup> にあへ <sup>尔</sup> すかるくか色もあさ <sup>乃</sup> ちの を <sup>飛</sup> のれさひしき虫 <sup>乃</sup> の声く 孝              |
| 日9  | 6                                                                                                                                                  | 虫の音も <sup>毛奈飛</sup> なひく浅茅の色 <sup>尔</sup> ことに 霜 <sup>里</sup> をくより <sup>日多</sup> や思ひミ <sup>多</sup> たる、 継           |
| 日12 | 7                                                                                                                                                  | 置霜 <sup>能</sup> の草の底 <sup>尔奈</sup> にもなく虫 <sup>乃</sup> の 猶 <sup>可</sup> かれのこる声も <sup>類</sup> こなあれ 綱               |
| 日13 | 8                                                                                                                                                  | 声 <sup>尔</sup> く <sup>幾</sup> にき、しも <sup>毛</sup> 今や秋虫 <sup>乃</sup> の 独 <sup>徒連奈起</sup> つれなき霜 <sup>起</sup> の下草    |
| 日14 | 9                                                                                                                                                  | あわれ也霜 <sup>可</sup> のかふの草根 <sup>乃</sup> をも た <sup>毛</sup> のむかけとて虫 <sup>能</sup> の鳴よる 親                             |
| 日3  | 朝 <sup>奈</sup> なく霜 <sup>能</sup> のふる葉 <sup>留</sup> の蓬生 <sup>能</sup> に あさ <sup>起可</sup> きかけより <sup>利</sup> はる虫 <sup>留</sup> のね 元長                    |                                                                                                                  |
| 日6  | きり <sup>利</sup> く <sup>春</sup> す聲 <sup>衣</sup> ハきえ行草 <sup>可起乃</sup> かきの 夕日 <sup>尔</sup> に霜 <sup>徒</sup> の色 <sup>奈</sup> そつれなき 重治                   |                                                                                                                  |
| 日7  | 木の葉 <sup>堂</sup> たにつ <sup>徒</sup> いにし <sup>尔志本留</sup> はる、秋の霜 むし <sup>能</sup> のね <sup>林</sup> そへて草 <sup>毛</sup> ものこらし 和長                            |                                                                                                                  |
| 日10 | 霜 <sup>万</sup> まよふ草 <sup>遍</sup> こそあらめ虫 <sup>乃</sup> のねも か <sup>可</sup> れゆく野 <sup>乃</sup> へのゆ <sup>遍</sup> ふへ曙 季種 ※日・版…置                           |                                                                                                                  |
| 日11 | 草 <sup>乃</sup> のはら <sup>者</sup> たのむ <sup>可</sup> かけなく置霜 <sup>尔</sup> に い <sup>以</sup> まいく程 <sup>乃</sup> を恣 <sup>乃</sup> むしの聲 公音                    |                                                                                                                  |
| 日14 | をく霜 <sup>者</sup> ハはら <sup>者</sup> ひもあ <sup>能</sup> ぬ草 <sup>尔</sup> の葉 <sup>徒</sup> につ <sup>可</sup> れてや虫 <sup>可</sup> もかれそ <sup>那</sup> むる聲 守光 ※日…へ |                                                                                                                  |
| 日15 | 虫 <sup>乃</sup> の音も <sup>奈越可連</sup> なをかれ <sup>耳</sup> く <sup>能</sup> にをく霜 <sup>尔</sup> の 色 <sup>遣</sup> にあけゆく草 <sup>能者</sup> のは <sup>可</sup> らかな 伊長 |                                                                                                                  |

※阿……※2阿…まつ

三日 紅葉出牆 秋の19 54 7首のみ(御製・実隆・政為・清継・為孝・康親・雅綱)

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                         |                        |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 日16<br>伏なし | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | たれを又みま <sup>堂</sup> くほしと <sup>本</sup> か <sup>可</sup> 色 <sup>可</sup> に出 <sup>可</sup> て 神 <sup>可</sup> のいかき <sup>可</sup> も <sup>古</sup> ゆる <sup>古</sup> 紅葉 <sup>隆</sup> 、 | ※阿…そ、※2阿…ミ、※3版…楓葉、日…紅葉 |
| 日3         | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 山里は庭 <sup>庭</sup> の草 <sup>可</sup> かきうれ枯 <sup>可</sup> て 枝 <sup>古</sup> こす色 <sup>可</sup> のふかき紅葉 <sup>為</sup> 、                                                            |                        |
| 日6         | 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 呉竹 <sup>者</sup> の根 <sup>者</sup> はふとみえし中垣 <sup>尔</sup> に あらぬ色そふ <sup>孝</sup> の紅葉 <sup>孝</sup> 、                                                                          |                        |
| 日7         | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 思へともおほ <sup>本</sup> ふやせ <sup>本</sup> ハき神 <sup>可</sup> かき <sup>能</sup> の 末 <sup>可</sup> こす紅葉 <sup>繼</sup> 風 <sup>可</sup> ふく也                                             |                        |
| 日8         | 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 露時雨 <sup>徒</sup> そめつくすより紅葉 <sup>里</sup> 、の たえま <sup>尔</sup> にミゆる庭 <sup>可</sup> の秋 <sup>可</sup> かき <sup>可</sup>                                                          | 親                      |
| 日14        | 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 隙 <sup>縫</sup> をあらミ紅葉 <sup>縫</sup> はよそのな <sup>奈</sup> かめ <sup>可</sup> にも あるし <sup>阿</sup> におし <sup>尔</sup> きし <sup>志</sup> つの松 <sup>可</sup> かき <sup>可</sup>             |                        |
| 日15        | 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | へた <sup>遍</sup> でなく中垣 <sup>古</sup> こゆる紅葉 <sup>縫</sup> 、は い <sup>阿</sup> つれ <sup>阿</sup> の方 <sup>可</sup> をあるし <sup>可</sup> と <sup>可</sup> か <sup>可</sup> ミん              | 綱                      |
| 日1         | 中かき <sup>可</sup> の末 <sup>可</sup> こす <sup>可</sup> は <sup>可</sup> かり <sup>可</sup> わか <sup>可</sup> 物 <sup>可</sup> と ミる <sup>縫</sup> は契 <sup>能</sup> りのう <sup>能</sup> すも <sup>春</sup> みち <sup>可</sup> かな <sup>奈</sup>                                                                                    | 元長                                                                                                                                                                      |                        |
| 日2         | 山里 <sup>可</sup> はかき <sup>保</sup> ほに <sup>尔</sup> あまるも <sup>能</sup> ミ <sup>可</sup> ち <sup>可</sup> 葉 <sup>可</sup> の <sup>可</sup> を <sup>可</sup> く <sup>可</sup> 物 <sup>可</sup> ふか <sup>可</sup> き <sup>可</sup> 秋 <sup>可</sup> の冬 <sup>可</sup> かな <sup>奈</sup>                                            | 公條                                                                                                                                                                      | ※日…雪…お                 |
| 日4         | 岡 <sup>乃</sup> へのやとの梢 <sup>能</sup> の色 <sup>徒</sup> つきて まか <sup>可</sup> き <sup>可</sup> や山 <sup>可</sup> とよそ <sup>可</sup> ふ <sup>可</sup> ミ <sup>可</sup> ゆらん                                                                                                                                             | 重治                                                                                                                                                                      |                        |
| 日5         | は <sup>者</sup> ふ <sup>農</sup> 鳶 <sup>春</sup> の古 <sup>乃</sup> す <sup>乃</sup> も山 <sup>乃</sup> の岩 <sup>乃</sup> 垣 <sup>ハ</sup> かき <sup>可</sup> もこ <sup>可</sup> もら <sup>可</sup> ぬ <sup>可</sup> 紅葉 <sup>者</sup> は <sup>者</sup> の色 <sup>和長</sup>                                                            | 和長                                                                                                                                                                      | ※日…あ、※2日…と             |
| 日9         | やま <sup>満</sup> かつ <sup>可</sup> のな <sup>本</sup> かき <sup>者</sup> ほの紅葉 <sup>志</sup> 一 <sup>保</sup> 枝 <sup>利</sup> は <sup>利</sup> しほ <sup>古</sup> り <sup>利</sup> 残 <sup>利</sup> すも <sup>古</sup> こ <sup>路</sup> 、ろ <sup>利</sup> あり <sup>利</sup> けり                                                       | 永宣                                                                                                                                                                      |                        |
| 日10        | くれ <sup>満</sup> 竹 <sup>可</sup> のま <sup>可</sup> かき <sup>乃</sup> のや <sup>乃</sup> ま <sup>乃</sup> のした <sup>多</sup> い <sup>可</sup> かな <sup>可</sup> る露 <sup>能</sup> の色 <sup>尔</sup> に <sup>徒</sup> いつ <sup>舞</sup> らむ                                                                                      | 伊長                                                                                                                                                                      |                        |
| 日11        | しく <sup>傳</sup> れても <sup>多</sup> か <sup>可</sup> た枝 <sup>可</sup> は <sup>可</sup> かり <sup>可</sup> ハ <sup>可</sup> か <sup>可</sup> ひ <sup>那</sup> なし <sup>と</sup> まか <sup>万</sup> き <sup>可</sup> を山 <sup>尔</sup> に <sup>留</sup> 染 <sup>者</sup> る紅葉 <sup>者</sup> は <sup>者</sup>                             | 守光                                                                                                                                                                      |                        |
| 日12        | 庭 <sup>尔</sup> に <sup>留</sup> あるし <sup>与</sup> よ <sup>与</sup> い <sup>与</sup> かに <sup>与</sup> 外面 <sup>古</sup> にも <sup>留</sup> こ <sup>留</sup> ゆる <sup>保</sup> か <sup>保</sup> き <sup>多</sup> ほ <sup>多</sup> のえ <sup>能</sup> た <sup>能</sup> のも <sup>能</sup> み <sup>能</sup> ち <sup>者</sup> は <sup>者</sup> | 季種                                                                                                                                                                      |                        |
| 日13        | 村 <sup>志</sup> しく <sup>可</sup> い <sup>可</sup> かに <sup>多</sup> 道 <sup>多</sup> た <sup>多</sup> て、中垣 <sup>所</sup> の <sup>農</sup> よ <sup>春</sup> そ <sup>衛</sup> の <sup>者</sup> 木 <sup>万</sup> す <sup>佐</sup> え <sup>留</sup> は <sup>留</sup> 染 <sup>留</sup> まさ <sup>留</sup> さ <sup>留</sup> ら <sup>留</sup> む | 公音                                                                                                                                                                      |                        |

四日 山路焔過 秋の20 55 7首のみ(御製・実隆・政為・清継・公條・為孝・雅綱)

|     |   |                  |                 |    |                              |
|-----|---|------------------|-----------------|----|------------------------------|
| 日2  | 1 | 末とをくしくる、雲の山風に    | みえてとまらぬ焔の別路     | 條  | ※雪…は、伏…高…を                   |
| 日3  | 2 | 別路におふるもそれと葛の葉の   | さやまの風に秋やうらミン    | 隆  | ※に(よ)。日雪…よ                   |
| 日4  | 3 | さらに又わたるもかなし山路ゆく  | 焔やかきりの色とりの声     | 為  |                              |
| 日8  | 4 | 花紅葉思ひのこさぬ山路にも    | こゝろをとめす秋やゆくらん   | 孝  | ※阿・政為。高…「縦横吟二ハ政為トアリ 右ノ哥ト作者人違 |
| 日11 | 5 | ゆく秋や有明の月をしるへにて   | 山路の霜に跡を尋ん       | 繼  |                              |
| 日14 | 6 | さをしかの跡に見えぬ山路にも   | しらぬ秋のいつち行らん     |    | ※日・伏・高・列…高…ゆる。※2に(と)。※3の(は)  |
| 日16 | 7 | 染つくす紅葉のぬさも手向山    | 木、の下道焔や行らん      | 綱  |                              |
| 日1  |   | くれはつる秋のこえゆく跡ならし  | 草木しほる、山のしたみち    | 元長 |                              |
| 日5  |   | 堂つた山紅葉分まよひくれて行   | みやこの秋や夜半にこゆらむ   | 重治 |                              |
| 日6  |   | たえはつるミ山路なからこしかたを | をのかしるへと秋ハゆくらむ   | 康親 |                              |
| 日7  |   | 秋もいま露のほそ道わけてゆく   | うつこの山こえあふ人やなき   | 和長 | ※日…鳥                         |
| 日9  |   | なかれては木の葉を残す水もなし  | 山路をいて、あきや行らん    | 永宣 |                              |
| 日10 |   | あはれしる山路のをくもけふのミと | おもふにをしき秋のそらかな   | 伊長 |                              |
| 日12 |   | したへとや山路の末にはふ葛の   | うらみかほにもかへる稚かな   | 守光 |                              |
| 日13 |   | ちるもみちさそふ風の日に     | そへて山路の秋そくる、ほとなき | 季種 |                              |
| 日15 |   | あふ坂やせきもる山のかひもなく  | 秋はいまこそ秋のした道     | 公音 |                              |

五日 初冬落葉 冬の1 56 欠：重治・公音・季種・守光

|     |                                                                                                                                                                |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日1  | 山 <small>可毛</small> かつも山 <small>希古</small> わけころも冬 <small>能幾</small> のきて 落葉 <small>尔</small> に袖 <small>乃</small> の色 <small>可</small> やか <small>無</small> ふらあむ 長 |
| 日2  | 嵐山西 <small>古</small> こそ焔 <small>尔</small> と思ひしに 落葉 <small>越</small> を見れば冬 <small>禮者</small> もきにけり 宣                                                            |
| 日3  | さそハ、と思ふ木葉や神無月 けふ <small>个多</small> たつかせにはやく <small>可尔者</small> ちるらん 長                                                                                          |
| 日4  | 根 <small>尔可</small> にかへる木葉 <small>累</small> みたれて庭 <small>見多</small> の面に いつくを道 <small>越</small> と冬のきぬらん 元長                                                      |
| 日5  | ちり <small>伏なし</small> はつる木葉 <small>尔</small> に冬 <small>能</small> の色をミテ 枝 <small>尔</small> にすむ鳥秋 <small>支</small> や恋しき 條                                        |
| 日6  | 一葉 <small>尔</small> にもおとろき <small>於</small> そめし秋 <small>可</small> のかせ はら <small>能</small> ひつ <small>飛徒</small> くして冬 <small>个利</small> き <small>隆</small> にけり 隆 |
| 日7  | 冬きぬと今朝 <small>尔</small> ふく風や秋 <small>能可世</small> にちる 木葉 <small>尔</small> の庭をまたう <small>毛</small> つむらん 為                                                        |
| 日8  | 秋 <small>能</small> のうち <small>能</small> はたへし木葉 <small>能可世</small> のかせ <small>尔</small> のよに もるき <small>毛</small> を冬 <small>尔</small> の心とやみん 親                   |
| 日9  | 冬きぬとちる <small>累</small> を色 <small>奈</small> なる紅葉 <small>尔</small> 、に 露 <small>者</small> のは <small>奈</small> へなく <small>奈</small> ゆる名 <small>尔</small> はうし 孝    |
| 日11 | 神南備 <small>毛李</small> のもり <small>个</small> ハけふ <small>李</small> より冬 <small>乃</small> の色に かねてう <small>可</small> つろふ一葉 <small>尔</small> たになき                     |
| 日13 | 冬 <small>尔</small> の色におもひ <small>飛</small> もなすか木々 <small>奈可</small> の葉 <small>能</small> の 名残 <small>奈支</small> なきまで今日 <small>奈支</small> ハちりつ、繼                 |
| 日14 | 庭 <small>乃</small> の面の夜 <small>能</small> るの落葉 <small>希</small> をけさ <small>者</small> みれば 霜 <small>能</small> を重ねて冬 <small>者</small> ハきにけり 綱                      |
| 日6  | ふか <small>婦可</small> 、らぬ山 <small>怒</small> の木 <small>多</small> の葉もミたれそふ 嶺 <small>尔</small> のあらしに冬 <small>尔</small> やきぬらむ 重治                                    |
| 日10 | 秋もかくもろき木 <small>奈</small> の葉 <small>多</small> の残なく ちるもや冬 <small>能志留</small> のしる <small>奈留</small> しなるらむ 公音                                                     |
| 日12 | かせ <small>可勢婦遣</small> ふけは露 <small>多留</small> とミたる、もみち葉や 霜 <small>須</small> さむき松 <small>須</small> の冬をミすらん 季種                                                   |
| 日15 | ちる木 <small>流</small> のはま <small>乃者満</small> よはぬ物 <small>者</small> そ冬 <small>个</small> ハきぬ あらしや山 <small>个</small> の道も分けん 守光                                     |

六日 遠郷時雨 冬の2 57 欠：伊長・守光・季種・公音

|     |                                                                                                                                                               |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日1  | 住 <small>乃</small> の江 <small>志</small> の遠里小野 <small>者</small> やし <small>飛</small> くるらん 松 <small>農</small> の梢 <small>株乃</small> のふね <small>毛</small> のうきくも 長   |
| 日2  | 時雨 <small>徒</small> つる袖 <small>者</small> うち <small>飛</small> はら <small>本</small> ひ養 <small>里</small> ほして いたり日 <small>多</small> にくたす宇治 <small>尔</small> の芝舟 宣  |
| 日4  | いく里 <small>志</small> をしくれし雲 <small>能</small> の末 <small>奈</small> ならん ふりミ <small>布梨</small> ふらすミ <small>婦</small> はる、空哉 長                                      |
| 日5  | たか里 <small>可乃</small> の袖 <small>多</small> をたつねて <small>年</small> しくらん 木 <small>能</small> の葉の末 <small>能</small> の遠 <small>能</small> ちのむら雲 條                    |
| 日6  | けふも又 <small>希</small> ふるの山邊 <small>布留乃</small> のいかにそと 袖 <small>本可奈</small> のほかなき夕時雨 <small>可奈</small> かな 隆                                                    |
| 日7  | 三輪 <small>累</small> の山檜 <small>具</small> 原くもれる程 <small>具</small> もなく 遠 <small>奈</small> ちの里 <small>奈</small> やはや時雨 <small>可奈</small> らん 治                     |
| 日8  | 行駒 <small>可</small> のう <small>可</small> かへる雲 <small>古</small> も山 <small>能</small> こえて 木幡 <small>能</small> の里 <small>越楚</small> の時雨 <small>累</small> をぞしる 為    |
| 日9  | 遠 <small>可多乃</small> かたのさと、みるともくもりくる 時雨 <small>能</small> は袖 <small>能</small> に程 <small>累</small> やなからん 親                                                      |
| 日10 | 故郷 <small>毛奈</small> もそなとはかり <small>可利奈可</small> なかめやる 時雨 <small>累</small> や袖 <small>志</small> をまつぬらすらん 孝                                                     |
| 日12 | みるか内 <small>可尔</small> に都 <small>尔</small> のそらハ晴 <small>志</small> そめて 雲 <small>阿里毛</small> ある里 <small>毛</small> や今 <small>志</small> しくらん 綱                    |
| 日13 | 生駒山時雨 <small>可尔</small> の雲をいか <small>尔</small> にみん 思 <small>多利</small> ふあたりハ <small>阿里毛</small> ありもあらずも                                                       |
| 日14 | 12 さ夜時雨 <small>奈</small> ふるさと人も此 <small>志</small> 比や おなし <small>尔</small> しつくに袖 <small>尔</small> ぬらすらん 繼                                                      |
| 日3  | ミやこ <small>丹</small> にハ <small>者</small> はれぬる雲 <small>乃</small> のゆく末 <small>佐</small> の 麓 <small>万</small> のさと <small>志</small> にいまそ <small>流</small> しくる、 伊長 |
| 日11 | 遠かた <small>可多能</small> の里 <small>志</small> ハしくれては <small>者</small> れくもる 月 <small>乃可徒</small> のかつら <small>可能</small> のかけ <small>能</small> のさむけさ 守光             |
| 日15 | をちかた <small>遠可多</small> にし <small>志</small> くる、雲 <small>類</small> ハたかさ <small>可佐</small> との 心 <small>佐多免奈</small> あてさへさ <small>奈</small> ためなきそら 季種            |
| 日16 | たか里 <small>多可尔</small> に袖 <small>本</small> はしあへぬ程 <small>奈</small> ならむ また <small>多志</small> しくれゆく雲 <small>能</small> の遠 <small>可多</small> かた 公音                |

七日 寒草處々 冬の3 58 9首のみ(御製・実隆・政為・重治・濟繼・公條・為孝・康親・雅綱)

|     |    |                                                           |               |      |
|-----|----|-----------------------------------------------------------|---------------|------|
| 日4  | 1  | 露にみし草の袂はほのかにて                                             | をき所なき霜の色かな    | 條    |
| 日5  | 2  | 分わひし <sup>飛</sup> 細 <sup>徒</sup> やいつくのむら薄                 | なかはは霜にくちて残れる  | 隆    |
| 日7  | 3  | あらずなる草の原かなそれかと                                            | とふへき色ハ稀に残りて   | 為    |
| 日8  | 4  | をく霜は草葉をわけて見えぬとも                                           | 村くかるし野への色かな   | 綱    |
| 日9  | 5  | いつ迄の霜をかよそに思ふらん                                            | 谷のかけくさ松の下草    | 繼    |
| 日10 | 6  | 何にかは所をさける初霜の                                              | 村くみえてのこる冬草    | 孝    |
| 日13 | 7  | 冬枯 <sup>尔</sup> にいづれ <sup>可以徒速</sup> かいつれ <sup>能</sup> 忘草 | こは忍ふへきあきの色かは  | ※阿しも |
| 日15 | 8  | かへさまし <sup>満</sup> 秋の花野の面影に                               | いまはたかへる霜の下草   | 親    |
| 日16 | 9  | あけまきのかり残しける蓬生や                                            | 村く霜むすはるらん     | 治    |
| 日1  | 10 | のこさしと馬草かるをも冬かれに                                           | 青葉すくなき霜やおもはむ  | 永宣   |
| 日2  | 11 | をく霜ハへたてぬ草のいかなれハ                                           | むらくのこる野への冬かれ  | 伊長   |
| 日3  | 12 | その名をもいつれ <sup>以徒速可</sup> かいつれ <sup>徒速可多可利</sup> かたはかり     | ましろしのふの霜のした草  | 元長   |
| 日6  | 13 | むらす、きのこるをおもふ色ならて                                          | なを冬かれをまねくのへかハ | 和長   |
| 日11 | 14 | かれて行草はのこらて初霜に                                             | 又むらの花や見すらん    | 守光   |
| 日12 | 15 | かれにける後さへかはるおも影や                                           | 霜をきまよふ野邊のむら萩  | 公條   |
| 日14 | 16 | 冬ふるき霜はわかしを道のへや                                            | ゆく手にのこる草も有けり  | 季種   |

八日 濱邊寒蘆 冬の4 59 欠：重治・守光・伊長・公音・季種

|     |    |                  |                            |                         |
|-----|----|------------------|----------------------------|-------------------------|
| 日1  | 1  | 嶋たつも霜夜をわひて夕浪の    | あしまにさむきつのはま風               | 宣                       |
| 日2  | 2  | 濱風にしほこすあしのかれ葉をハ  | もくつになしてかへる浪かな              | 長                       |
| 日3  | 3  | 夕日影入江のあしのかれしより   | 濱松か枝の色そさひしき                | 條                       |
| 日4  | 4  | 濱ひさし久しく浪にしほれあしの  | 音もかハりて霜さやく也                | 隆                       |
| 日5  | 5  | あらはる、濱松かえの色をミよ   | 霜にやたへぬ浪のむらあし               | 為                       |
| 日7  | 6  | 花も葉もちりしハいつのはま楸   | かれたる <sup>毛</sup> 芦の音はかりして | 長                       |
| 日8  | 7  | 濱河やこぼる汀にたつ蘆の     | 葉風も浪も音ハたえつ、                | 孝                       |
| 日12 | 8  | 蘆の葉に浦風さえて濱ゆふの    | いく重の霜をむすひそふらん              | ※日：さむく、版：寒て、伏・高・阿・列：さえて |
| 日14 | 9  | しほれゆく芦への霜の朝な     | 濱の真砂の末ハはれつ、                | 繼                       |
| 日15 | 10 | 音そよく汀の芦ハ枯ふして     | 濱松かえに残るうらかせ                | 綱                       |
| 日16 | 11 | 吹たゆと松には三津の濱風も    | 枯葉のあしに音そ残れる                | 親                       |
| 日6  | 12 | はま川の行かた見えてむらあしの  | かれ葉にこぼる水のしら浪               | 重治                      |
| 日9  | 13 | 霜まよふあしのかれ葉の一むらに  | なをはま松の色そつれなき               | 守光                      |
| 日10 | 14 | はまかせに行かふ人のそてかけて  | あしのかれ葉をしほるころかな             | 伊長                      |
| 日11 | 15 | はまかせのふく方見えてあしの葉の | なひきしま、にこぼる浪哉               | 公音                      |
| 日13 | 16 | かけさひし楸ハちかし濱かせに   | なミこす芦のかる、ひとむら              | 季種                      |

九日 月照網代 冬の5 60 欠：重治・永宣・守光・伊長・公音

日1 人もねぬあしろの床のかりひさし 今八月のミもりあかしつ、長  
日2 あしろもる瀬々のあたりはすむ月の 影ミし水もこほらさりけり 條  
日3 鵜かひ人いつより冬ハあしろ木に やミをはかなミ月にもるらん 長  
日4 年波を思ふやうちのあしろもり つもれば老の月もすすまし 為  
日5 曇なき月にはありともあいろもり たく火にまさる影とやハミる 継  
日6 袖の上に浪と月とをやとしてや 此里人ハあしろもるらん 親  
日7 よせてのミかへらぬ浪と月影も もるや網代の床のさむけさ 孝  
日8 網代木に月の氷も猶さえて もる袖さそな宇治の川風 綱  
日9 よ川たつ宇治の里人いつのまに いとはぬ月と網代もるらし 種  
日10 波風を忘れて袖にやとすとも さこそあしろの床の月かけ 隆  
日11 河風によるのか、り火影もなし 網代八月にまかせてやもる 隆  
日12 濱はかりよるのあしろをもる月の すさましけなる宇治の河風 重治  
日13 ふりはつる田上河の網代もる 秋より後の月やいかなる 永宣  
日14 もるわさの宇治の網代木さゆる夜ハ 月の氷によるひをやなき 守光  
日15 河風もうちの網代のうきふしを とふになくさむ床の月かけ 伊長  
日16 あしろ木によるの河音ふり行は 空たかくこそ月もすミけれ 公音

十日 連日鷹狩 冬の6 61 9首のみ(御製・実隆・政為・守光・清繼・公條・為孝・康親・雅綱)

日1 明日もこんけふの狩場の名残あれや くる、末野にき、す鳴也 條  
日2 いつまもてかけふはかりとのかり夜 かさなる山のかかぬとたちに 隆  
日3 待人もけふたつ鳥もはかなくや あすをハたのむこ、ろなるらん 為  
日4 犬もなつミせこもつかれぬ鳥のひく 遠の山本あすやからまし 親  
日5 草ふしやつかれの鳥のけふまでに また残りける雪のミかりは 光  
日6 あすもこん山遠からぬ家路にや 暮ぬとみてもかへるかり人 継  
日7 七夕の一夜の宿もいくよねむ あまの河原のあかぬかりはに 綱  
日8 けふも猶とたちハしらすかり人の 昨日の山をかへてこそゆけ 綱  
日9 かりつくす程もしられてけふハはや 昨日はかりの鳥たちたになし 孝  
日10 けふもまたなをとりかかむ手になれぬ あかけのたかの心しるまで 永宣  
日11 はしたかのあかぬかりはのけふいく日 くるすの小野の雪はらふらむ 重治  
日12 鳥もはや日なミのかりはかくれミン かたの、ましはおりつくしつ、 和長  
日13 ふミしたくきのふの野への雪の上に けふはまかはぬとりのおり草 元長  
日14 芹川にはなミかそてはし鷹の つかふるみちやおもふかり人 季種  
日15 けふハまた昨日の野への路かへて 鳥のをち草わけつ、そゆく 公音

十一日 薄暮千鳥 冬の7 62 欠：永宣・和長・元長・伊長・雅綱・守光

|     |    |                                  |                  |
|-----|----|----------------------------------|------------------|
| 日3  | 1  | くる、夜のもしほ火くらき折しもあれ 妻とふ千鳥声しのふらん 為  | 累毛本起毛志           |
| 日5  | 2  | 夕波のよりくる程を鳴たちて 声とをからぬいそちとりかな 親    | 里累多越可利可奈         |
| 日6  | 3  | 今はとて妻とふ波の夕千鳥 さそまつかたもねにハなくらん 孝    | 能佐可多栋尔奈          |
| 日7  | 4  | 身にしむハ焔より後の夕かな あはれ千鳥のたちみなくそら 條    | 尔里可奈者多奈          |
| 日8  | 5  | あさりする真砂をひろミ夕しほの ひかたの千鳥うちとけて鳴 隆   | 里飛志本可多           |
| 日12 | 6  | さしくるやしほもくもりて夕なミの たつ空わかぬ村千鳥哉 繼    | 志本利奈能多可          |
| 日13 | 7  | 夕しほの入江のたつの友千鳥 声をかハしていまか鳴らん       | 志本乃多能満可          |
| 日14 | 8  | 夕しほにたつや千鳥のうちわひて おなし汀にかへる波哉 音     | 本尔多飛奈尔可          |
| 日15 | 9  | いたつらにけふもくらしてあすか風 わか友千鳥川へにそなく 種   | 徒尔个可可尔奈          |
| 日16 | 10 | 橋立や松風さむミ夕千鳥 日も入海のなみになくなり 治       | 橋立毛奈耳那具奈利        |
| 日1  |    | くれわたるそかのかはらの河千鳥 聲き、すて、たれかへるらん 永宣 | 王多流可可者能春堂可漏留     |
| 日2  |    | なきよるやかももの川せの夕千鳥 君にや千世をきこへあけつ、 和長 | 奈留可毛丹古※日…え       |
| 日4  |    | 夕しほのいそへにミつのはま千鳥 ふたりもつれす立わかれつ、 元長 | 志保乃尔川者満婦多毛徒連須可可津 |
| 日9  |    | 夕くれの波路はるけきうら千鳥 聲やしるへに友さそふらん 伊長   | 連者流个起志留丹佐        |
| 日10 |    | 風さむミ夕塩ミてはむら千とり かたもさためすたちさハく聲 雅綱  | 利可多毛佐多多地         |
| 日11 |    | 海はらやゆふへの雲のそれなから なをたちつる、むら千とり哉 守光 | 者福奈可奈遠堂徒留        |

十二日 氷留水聲 冬の8 63 9首のみ(御製・実隆・政為・元長・濟継・公條・為孝・康親・雅綱)

|     |                  |                 |               |                |   |               |
|-----|------------------|-----------------|---------------|----------------|---|---------------|
| 日1  | 1                | たゆるとはみえぬ物から岩波の  | 可             | こほりての名や音なしの滝   | 能 | 長             |
| 日2  | 2                | 人目のミ思ひし物を山ミすの   | 飛             | かれぬたよりも水はてつ、   | 徒 | 親             |
| 日4  | 3                | 音たゆる谷の水のしからみや   | 志             | せくにまさらぬ水かさならん  | 可 | 孝             |
| 日5  | 4                | 山河も冬ハ水に音絶て      | 可             | 松かせはかりうきものハなし  | 奈 | 條             |
| 日7  | 5                | 音せぬそ氷の音よ山水の     | 世             | むせふをとへハしたにむせひて | 世 | 隆             |
| 日8  | 6                | 音するも音せぬ時もさひしとハ  | 毛             | わか山水のこほりにそしる   | 志 | 為             |
| 日11 | 7                | こほりてハ音せぬ水よ物ことに  | 本             | 絶ぬなかれのありとさくにも  | 里 | 繼             |
| 日14 | 8                | いとひしを思ひしれとや山水の  | 飛             | 音を絶ても今朝こほらん    | 本 | 綱             |
| 日15 | 9                | 今日いくか氷はて、やおつとみる | 可             | 滝のしら波音はたゆらむ    | 無 | 永宣            |
| 日3  | あさき瀬もをくにハひ、く瀧波の  | 佐               | いかにこほりて音はたえけむ | 堂              |   | ※日：日(ひ)。伏・高：か |
| 日6  | 氷りても月はなかる、岩こえて   | 盤               | ゆく瀬の水の行音はなし   | 奈              |   | ※日・版：せ        |
| 日9  | あら磯の波ハしつかにこほりて   | 志               | 空にはけしきやまかせの聲  | 能              |   |               |
| 日10 | よる浪ハ姿にのこりて山水の    | 留               | 水のうへを吹あらしかな   | 可              |   |               |
| 日12 | やまかわの音たえにけりこす波も  | 可               | こほる岩間をしからミにして | 丹              |   |               |
| 日13 | 山水のかずかにかよふ聲もなし   | 婦               | いはねの苔をとつる水に   | 丹              |   |               |
| 日14 | さ夜かせもけさ見るはかり浅きせに | 可               | ミたる、水ハこほりとちけり | 利              |   | 季種            |

十三日 寒閑聞 冬の9 64

8首のみ（御製・実隆・政為・元長・濟繼・公條・為孝・康親）

- 日1 板間よりもらぬ霰も閑の中の ふすまの下にさえとをりつ、 長
- 日2 夜をさむミ閑の枕にいく度か 霰も夢もミたれはつらむ 親
- 日3 袖になをらはひそかぬる玉あられ たまらぬやハさえあかしつ、 孝
- 日4 あられふる夜半の枕よ草の庵の 雨には残る夢もありけん 條
- 日5 霰ふる音につけても竹ちかき 夜床はさらにねんかたもなし 隆
- 日6 みる夢ハあられ霰と音たて、 夜深くさゆるねやのうち哉 為
- 日7 衣うつ秋の風にもたえざりし ねやは霰のちるにまかせて
- 日8 閑の上にたえく散て玉あられ かそふはかりの声のさやけさ 繼
- 日9 ねやのうへにちりくる音のさむけさハ 身にとをりてもふるあられかな 永宣
- 日10 降つもれ篠ふくねやの玉霰 これをや玉のいらかにもミン 和長
- 日11 あはらなるいたましられて閑中に ちりくるあられ音のすくなき 雅綱
- 日12 もる月はねやのいた間に影きえて 音のミのこる玉あられかな 伊長
- 日13 あれまさる板間しられて閑のうちに 音きくよるもちる霰かな 守光
- 日14 風さむミあられくたくる閑のうちハ おとろくほとどの夢をたにミす 重治
- 日15 閨のうへにあられ乱て霜こほる まくらの夢ハ結ふまもなし 公音
- 日16 さし向ふかけもしめりてをとにきく あられにささく閑のとし火 季種

十四日 水鳥馴船 冬の10 65

8首のみ（御製・実隆・政為・濟繼・公條・為孝・康親）

- 日1 舟人のおなし心に馴きてハ 夢もいく夜そなみのをしかも 親
- 日2 水鳥も外を行舟に 心へたてぬ声のさむけさ 條
- 日3 名残ありとたつ空やなき舟を 知人にして鳥のうかふ也 為
- 日4 あま小舟つれても行やよそにまた たつそら見えぬ浪のうきける 孝
- 日5 うかへるををの友とや水鳥の はかなく舟に馴てきつらん 隆
- 日6 わたし舟しけきゆき、も馴ぬれば 水の村鳥たつとしもなき 繼
- 日7 水鳥の釣する舟になれくるも 綱にもれたる身をやらん 永宣
- 日8 釣の海士の心かたよるいとまなみ なれしもしらぬ浦の水鳥 和長
- 日9 行舟のさぼさす袖にまかふまで まちかき浪にあそふをしかも 雅綱
- 日10 たえずみるつりの小舟はをとろにて 行来にする、水のうきとり 伊長
- 日11 行かよふ入江の舟のミなれ棹 ミなる、鳥のたつ空そなき 元長
- 日12 すて小舟おなし江の波の上に つかはぬをしの影なららん 守光
- 日13 舟わたすゆき、になれて川浪の たちもさはかぬ水とりのこゑ 公音
- 日14 江の水にちかくなれ来てつなきをく 舟にともねのをしかもこゑ 重治
- 日15 鴨といふ名をなつかしみ水とりや なたてともなふうらのととも舟 季種

十五日 雪中残鴈 冬の11 66

8首のみ(御製・実隆・政為・和長・濟継・公條・為孝・雅綱)

|     |                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                       |   |                                 |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------|
| 日1  | 雪の中 <sup>ル</sup> に <sup>ル</sup> を <sup>ル</sup> く <sup>ル</sup> て <sup>ル</sup> くる <sup>ル</sup> 鴈 <sup>ル</sup> や                                                                                                                      | 花 <sup>ル</sup> の <sup>ル</sup> 春 <sup>ル</sup> に <sup>ル</sup> も <sup>ル</sup> し <sup>ル</sup> ゐ <sup>ル</sup> て <sup>ル</sup> と <sup>ル</sup> 、め <sup>ル</sup> ん                              | 條 | ※日・雪…ひ。伏…高…み                    |
| 日2  | 花 <sup>者</sup> と <sup>者</sup> ミ <sup>者</sup> は <sup>者</sup> 今 <sup>者</sup> も <sup>者</sup> か <sup>者</sup> へ <sup>者</sup> ら <sup>者</sup> ん <sup>者</sup> 心 <sup>者</sup> か <sup>者</sup> も                                              | ま <sup>満</sup> こ <sup>可</sup> の <sup>可</sup> 雲 <sup>ル</sup> に <sup>ル</sup> 残 <sup>ル</sup> る <sup>ル</sup> か <sup>ル</sup> り <sup>ル</sup> か <sup>ル</sup> ね                               | 長 | ※雲(雪)                           |
| 日3  | こ <sup>古</sup> し <sup>里</sup> ち <sup>奈</sup> より <sup>奈</sup> め <sup>奈</sup> な <sup>奈</sup> て <sup>奈</sup> や <sup>奈</sup> こ <sup>古</sup> し <sup>古</sup> 都 <sup>古</sup> に <sup>古</sup> は                                             | け <sup>个</sup> ふ <sup>古</sup> こ <sup>古</sup> そ <sup>古</sup> 雪 <sup>能</sup> の <sup>能</sup> 初 <sup>可</sup> か <sup>可</sup> り <sup>可</sup> の <sup>可</sup> 色 <sup>可</sup>                  | 隆 | ※阿…きり                           |
| 日5  | 4 天津 <sup>飛</sup> 風 <sup>飛</sup> 都 <sup>飛</sup> の <sup>飛</sup> 今 <sup>飛</sup> を <sup>飛</sup> 思 <sup>飛</sup> ひ <sup>飛</sup> 出 <sup>飛</sup> よ                                                                                        | こ <sup>乃</sup> し <sup>乃</sup> ち <sup>乃</sup> の <sup>乃</sup> 春 <sup>乃</sup> の <sup>乃</sup> 雪 <sup>乃</sup> に <sup>乃</sup> か <sup>乃</sup> へ <sup>乃</sup> ら <sup>乃</sup> ハ                | 為 | ※風(鴈歌)。高…鴈。※2目・版…こ。高…かへらは(くへへて) |
| 日10 | 5 を <sup>古</sup> く <sup>可</sup> れ <sup>可</sup> こ <sup>可</sup> し <sup>可</sup> 心 <sup>可</sup> よ <sup>可</sup> い <sup>可</sup> か <sup>可</sup> に <sup>可</sup> あ <sup>可</sup> ま <sup>可</sup> つ <sup>可</sup> かり                            | 迷 <sup>能</sup> ふ <sup>能</sup> ハ <sup>能</sup> 雪 <sup>能</sup> の <sup>能</sup> 道 <sup>能</sup> な <sup>能</sup> ら <sup>能</sup> す <sup>能</sup> と <sup>能</sup> も                               | 孝 |                                 |
| 日11 | 6 は <sup>飛</sup> ら <sup>飛</sup> ひ <sup>飛</sup> わ <sup>飛</sup> ひ <sup>飛</sup> 雪 <sup>飛</sup> を <sup>飛</sup> や <sup>飛</sup> 鴈 <sup>飛</sup> の <sup>飛</sup> う <sup>飛</sup> ら <sup>飛</sup> む <sup>飛</sup> ら <sup>飛</sup> ん              | を <sup>奈</sup> く <sup>奈</sup> れ <sup>奈</sup> て <sup>奈</sup> こ <sup>奈</sup> し <sup>奈</sup> ハ <sup>奈</sup> 心 <sup>奈</sup> な <sup>奈</sup> ら <sup>奈</sup> は <sup>奈</sup> ハ                | 繼 | ※阿…な。※2て(し)。伏…阿…に。高…は(に)        |
| 日13 | 7 鴈 <sup>志</sup> や <sup>志</sup> し <sup>志</sup> る <sup>志</sup> 越 <sup>志</sup> 路 <sup>志</sup> に <sup>志</sup> の <sup>志</sup> こ <sup>志</sup> る <sup>志</sup> 春 <sup>志</sup> よ <sup>志</sup> り <sup>志</sup> ハ                             | 都 <sup>能</sup> は <sup>能</sup> 雪 <sup>能</sup> の <sup>能</sup> 今 <sup>能</sup> も <sup>能</sup> あ <sup>能</sup> さ <sup>能</sup> し <sup>能</sup> と                                              | 綱 | ※阿…列…も                          |
| 日16 | 8 人 <sup>累</sup> 帰 <sup>累</sup> る <sup>累</sup> 田 <sup>累</sup> つ <sup>累</sup> ら <sup>累</sup> の <sup>累</sup> 里 <sup>累</sup> の <sup>累</sup> 雪 <sup>累</sup> の <sup>累</sup> う <sup>累</sup> ち <sup>累</sup> に                             | 跡 <sup>徒</sup> を <sup>徒</sup> た <sup>徒</sup> つ <sup>徒</sup> ね <sup>徒</sup> て <sup>徒</sup> 鴈 <sup>徒</sup> ぞ <sup>徒</sup> あ <sup>徒</sup> ち <sup>徒</sup> くる                              | 親 |                                 |
| 日4  | わ <sup>者</sup> れ <sup>者</sup> も <sup>者</sup> 又 <sup>者</sup> は <sup>者</sup> ら <sup>者</sup> ひ <sup>者</sup> か <sup>者</sup> ね <sup>者</sup> て <sup>者</sup> ハ <sup>者</sup> 降 <sup>者</sup> 雪 <sup>者</sup> に                               | あ <sup>万</sup> ま <sup>万</sup> と <sup>万</sup> ふ <sup>万</sup> 鴈 <sup>乃</sup> の <sup>乃</sup> 心 <sup>乃</sup> を <sup>乃</sup> そ <sup>乃</sup> し <sup>乃</sup> る                               | 康 |                                 |
| 日6  | 都 <sup>丹</sup> に <sup>丹</sup> も <sup>丹</sup> 日 <sup>丹</sup> を <sup>丹</sup> ふ <sup>丹</sup> る <sup>丹</sup> 雪 <sup>丹</sup> を <sup>丹</sup> い <sup>丹</sup> と <sup>丹</sup> ひ <sup>丹</sup> て <sup>丹</sup> ハ                               | な <sup>奈</sup> を <sup>奈</sup> 南 <sup>奈</sup> に <sup>奈</sup> と <sup>奈</sup> かり <sup>奈</sup> や <sup>奈</sup> ゆ <sup>奈</sup> か <sup>奈</sup> ま <sup>奈</sup> し                              | 伊 |                                 |
| 日7  | こ <sup>古</sup> し <sup>利</sup> 路 <sup>利</sup> よ <sup>利</sup> り <sup>利</sup> 旅 <sup>奈</sup> なる <sup>奈</sup> 空 <sup>奈</sup> に <sup>奈</sup> う <sup>奈</sup> か <sup>奈</sup> れ <sup>奈</sup> き <sup>奈</sup> て                              | ミ <sup>能</sup> や <sup>能</sup> こ <sup>能</sup> の <sup>能</sup> 雪 <sup>能</sup> に <sup>能</sup> ま <sup>能</sup> よ <sup>能</sup> ふ <sup>能</sup> か <sup>能</sup> り <sup>能</sup> 金 <sup>可</sup>   | 元 |                                 |
| 日8  | な <sup>奈</sup> く <sup>奈</sup> 鴈 <sup>能</sup> の <sup>能</sup> つ <sup>能</sup> は <sup>能</sup> さ <sup>能</sup> ぞ <sup>能</sup> 白 <sup>幾</sup> き <sup>幾</sup> ふ <sup>幾</sup> る <sup>幾</sup> 雪 <sup>留</sup> に                               | た <sup>堂</sup> か <sup>堂</sup> 玉 <sup>可</sup> つ <sup>可</sup> さ <sup>可</sup> の <sup>可</sup> も <sup>能</sup> し <sup>能</sup> ハ <sup>能</sup> き <sup>能</sup> へ <sup>能</sup> けん               | 永 |                                 |
| 日9  | 穂 <sup>乃</sup> の <sup>乃</sup> そ <sup>乃</sup> ら <sup>乃</sup> に <sup>乃</sup> を <sup>乃</sup> く <sup>乃</sup> れ <sup>乃</sup> し <sup>乃</sup> 聲 <sup>志</sup> か <sup>志</sup> 曇 <sup>可</sup> な <sup>奈</sup> き                               | た <sup>乃</sup> の <sup>乃</sup> 面 <sup>乃</sup> の <sup>乃</sup> 雪 <sup>乃</sup> に <sup>乃</sup> お <sup>乃</sup> つ <sup>乃</sup> る <sup>乃</sup> か <sup>乃</sup> り <sup>乃</sup> か <sup>乃</sup> ね | 守 |                                 |
| 日12 | し <sup>志</sup> ほ <sup>保</sup> れ <sup>連</sup> こ <sup>古</sup> し <sup>古</sup> 露 <sup>可</sup> 霜 <sup>可</sup> の <sup>可</sup> ミ <sup>可</sup> か <sup>可</sup> は <sup>可</sup> ら <sup>可</sup> ひ <sup>可</sup> え <sup>可</sup> ぬ                | 雪 <sup>婦</sup> ふ <sup>婦</sup> り <sup>婦</sup> は <sup>婦</sup> へ <sup>婦</sup> て <sup>婦</sup> 鴈 <sup>能</sup> の <sup>能</sup> な <sup>奈</sup> く <sup>奈</sup> 聲 <sup>奈</sup>                  | 季 |                                 |
| 日14 | ふ <sup>布</sup> る <sup>留</sup> 雪 <sup>留</sup> の <sup>留</sup> ふ <sup>留</sup> か <sup>留</sup> き <sup>留</sup> あ <sup>留</sup> わ <sup>留</sup> れ <sup>留</sup> を <sup>留</sup> し <sup>留</sup> れ <sup>留</sup> と <sup>留</sup> て <sup>留</sup> や | 秋 <sup>耳</sup> に <sup>耳</sup> を <sup>耳</sup> く <sup>耳</sup> れ <sup>耳</sup> て <sup>耳</sup> 鴈 <sup>傳</sup> の <sup>傳</sup> く <sup>傳</sup> る <sup>傳</sup> 空 <sup>具</sup>                  | 公 |                                 |
| 日15 | ミ <sup>古</sup> こ <sup>地</sup> し <sup>地</sup> ち <sup>地</sup> を <sup>地</sup> い <sup>地</sup> く <sup>地</sup> 過 <sup>布</sup> さ <sup>留</sup> て <sup>留</sup> ふ <sup>留</sup> る <sup>留</sup> 雪 <sup>留</sup> の                               | ミ <sup>能</sup> の <sup>能</sup> し <sup>能</sup> ろ <sup>能</sup> こ <sup>能</sup> ろ <sup>能</sup> も <sup>能</sup> 鴈 <sup>無</sup> の <sup>無</sup> な <sup>無</sup> く <sup>無</sup> ら <sup>無</sup> む | 重 |                                 |

十六日 眺望山雪 冬の12 67

9首のみ(御製・実隆・政為・重治・濟継・公條・為孝・康親・雅綱)

|     |                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                     |   |                       |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------------|
| 日1  | 1 い <sup>可</sup> つ <sup>可</sup> る <sup>可</sup> 日 <sup>乃</sup> の <sup>乃</sup> 紅 <sup>乃</sup> ふ <sup>乃</sup> か <sup>乃</sup> き <sup>乃</sup> 雲 <sup>乃</sup> の <sup>乃</sup> 色 <sup>乃</sup> に                                            | 花 <sup>古</sup> こ <sup>古</sup> そ <sup>古</sup> に <sup>古</sup> お <sup>古</sup> へ <sup>古</sup> 雪 <sup>乃</sup> の <sup>乃</sup> 山 <sup>乃</sup> の <sup>乃</sup> は <sup>乃</sup>                                | 條 |                       |
| 日3  | 2 今 <sup>乃</sup> 朝 <sup>希</sup> の <sup>希</sup> 朝 <sup>希</sup> け <sup>希</sup> 嶺 <sup>希</sup> 白 <sup>希</sup> 妙 <sup>希</sup> に <sup>希</sup> 降 <sup>希</sup> し <sup>希</sup> き <sup>希</sup> て                                            | 雪 <sup>毛</sup> も <sup>毛</sup> あ <sup>毛</sup> な <sup>毛</sup> し <sup>毛</sup> の <sup>毛</sup> 山 <sup>能</sup> か <sup>能</sup> つ <sup>能</sup> ら <sup>能</sup> せ <sup>能</sup> り <sup>利</sup>                 | 隆 |                       |
| 日4  | 3 一 <sup>能</sup> す <sup>能</sup> ち <sup>能</sup> の <sup>能</sup> 峯 <sup>能</sup> の <sup>能</sup> あ <sup>能</sup> け <sup>能</sup> 橋 <sup>能</sup> 猶 <sup>能</sup> 見 <sup>能</sup> え <sup>能</sup> て                                            | ふ <sup>里</sup> り <sup>里</sup> わ <sup>里</sup> く <sup>里</sup> る <sup>里</sup> 雪 <sup>里</sup> に <sup>里</sup> 山 <sup>里</sup> 風 <sup>婦</sup> そ <sup>婦</sup> ふ <sup>婦</sup> く                              | 為 |                       |
| 日8  | 4 な <sup>奈</sup> か <sup>可</sup> め <sup>免</sup> こ <sup>免</sup> し <sup>免</sup> 霞 <sup>毛</sup> も <sup>毛</sup> 霧 <sup>毛</sup> も <sup>毛</sup> な <sup>毛</sup> に <sup>毛</sup> な <sup>毛</sup> ら <sup>毛</sup> て                             | 雪 <sup>尔</sup> に <sup>尔</sup> お <sup>尔</sup> し <sup>尔</sup> ま <sup>尔</sup> ぬ <sup>尔</sup> と <sup>尔</sup> 今 <sup>尔</sup> 朝 <sup>尔</sup> の <sup>尔</sup> 山 <sup>尔</sup> の <sup>尔</sup> 端 <sup>光</sup>  | 光 | ※日…為孝                 |
| 日9  | 5 面 <sup>毛</sup> 影 <sup>毛</sup> も <sup>毛</sup> み <sup>毛</sup> さ <sup>毛</sup> り <sup>毛</sup> し <sup>毛</sup> 山 <sup>里</sup> の <sup>里</sup> 今 <sup>者</sup> 朝 <sup>者</sup> は <sup>者</sup> は <sup>者</sup> れ <sup>者</sup> て              | し <sup>志</sup> ら <sup>志</sup> ぬ <sup>志</sup> 日 <sup>乃</sup> 比 <sup>乃</sup> の <sup>乃</sup> 雪 <sup>毛</sup> も <sup>毛</sup> め <sup>毛</sup> つ <sup>毛</sup> ら <sup>毛</sup> し                              | 繼 |                       |
| 日11 | 6 空 <sup>尔</sup> に <sup>尔</sup> の <sup>尔</sup> ミ <sup>尔</sup> 雲 <sup>尔</sup> を <sup>尔</sup> つ <sup>尔</sup> く <sup>尔</sup> せ <sup>尔</sup> る <sup>尔</sup> 月 <sup>毛</sup> も <sup>毛</sup> い <sup>毛</sup> さ                             | 雪 <sup>尔</sup> に <sup>尔</sup> 晴 <sup>尔</sup> て <sup>尔</sup> そ <sup>尔</sup> 山 <sup>者</sup> の <sup>者</sup> は <sup>者</sup> も <sup>者</sup> な <sup>者</sup> き <sup>者</sup>                                | 綱 | ※阿…ま。※2も(は)。列…は       |
| 日12 | 7 ふ <sup>布</sup> し <sup>布</sup> の <sup>布</sup> ね <sup>布</sup> の <sup>布</sup> 煙 <sup>毛</sup> も <sup>毛</sup> そ <sup>毛</sup> れ <sup>毛</sup> と <sup>毛</sup> 面 <sup>尔</sup> 影 <sup>尔</sup> に                                            | た <sup>多</sup> つ <sup>多</sup> や <sup>多</sup> を <sup>多</sup> ひ <sup>多</sup> え <sup>多</sup> の <sup>多</sup> 雪 <sup>志</sup> の <sup>志</sup> し <sup>志</sup> ら <sup>志</sup> く <sup>志</sup> も               | 治 |                       |
| 日15 | 8 は <sup>者</sup> る <sup>者</sup> く <sup>者</sup> と <sup>者</sup> ハ <sup>者</sup> て <sup>者</sup> も <sup>者</sup> な <sup>者</sup> か <sup>者</sup> ら <sup>者</sup> の <sup>者</sup> 山 <sup>毛</sup> み <sup>毛</sup> え <sup>毛</sup> て              | 雲 <sup>志</sup> の <sup>志</sup> 花 <sup>志</sup> な <sup>志</sup> る <sup>志</sup> し <sup>志</sup> か <sup>志</sup> の <sup>志</sup> か <sup>志</sup> ら <sup>志</sup> さ <sup>志</sup> き <sup>起</sup>                 | 綱 | ※雲(雪)。※2な(ち歌)。日…伏…高…ち |
| 日16 | 9 朝 <sup>希</sup> 戸 <sup>希</sup> あ <sup>希</sup> け <sup>希</sup> て <sup>希</sup> む <sup>希</sup> か <sup>希</sup> ふ <sup>希</sup> よ <sup>希</sup> そ <sup>希</sup> め <sup>希</sup> は <sup>希</sup> 春 <sup>能</sup> 秋 <sup>能</sup> も              | を <sup>能</sup> よ <sup>能</sup> ハ <sup>能</sup> ぬ <sup>能</sup> 色 <sup>能</sup> や <sup>能</sup> 雪 <sup>能</sup> の <sup>能</sup> と <sup>能</sup> を <sup>能</sup> 山 <sup>能</sup>                                | 親 |                       |
| 日2  | し <sup>志</sup> る <sup>志</sup> や <sup>志</sup> い <sup>志</sup> か <sup>志</sup> に <sup>志</sup> 深 <sup>志</sup> 山 <sup>志</sup> の <sup>志</sup> 雪 <sup>志</sup> に <sup>志</sup> 都 <sup>志</sup> お <sup>志</sup> も <sup>志</sup> ふ                | 人 <sup>毛</sup> も <sup>毛</sup> あ <sup>毛</sup> り <sup>毛</sup> や <sup>毛</sup> と <sup>毛</sup> か <sup>毛</sup> は <sup>毛</sup> す <sup>毛</sup> 心 <sup>利</sup> は <sup>利</sup>                                | 和 |                       |
| 日5  | 姿 <sup>者</sup> は <sup>者</sup> ら <sup>者</sup> も <sup>者</sup> う <sup>者</sup> つ <sup>者</sup> も <sup>者</sup> れ <sup>者</sup> は <sup>者</sup> つ <sup>者</sup> る <sup>者</sup> 今 <sup>能</sup> 朝 <sup>能</sup> の <sup>能</sup> 雪 <sup>能</sup> に | つ <sup>徒</sup> く <sup>徒</sup> り <sup>徒</sup> い <sup>徒</sup> た <sup>徒</sup> せ <sup>徒</sup> る <sup>徒</sup> や <sup>多</sup> ま <sup>多</sup> そ <sup>多</sup> か <sup>多</sup> さ <sup>多</sup> なる <sup>奈</sup> | 元 |                       |
| 日6  | う <sup>川</sup> つ <sup>毛</sup> も <sup>毛</sup> れ <sup>毛</sup> て <sup>毛</sup> さ <sup>佐</sup> と <sup>佐</sup> こ <sup>衣</sup> そ <sup>衣</sup> 見 <sup>衣</sup> え <sup>衣</sup> ね <sup>衣</sup> 行 <sup>乃</sup> 人 <sup>乃</sup> の <sup>乃</sup>   | は <sup>者</sup> し <sup>者</sup> う <sup>者</sup> ち <sup>者</sup> わ <sup>者</sup> た <sup>者</sup> す <sup>多</sup> ず <sup>多</sup> き <sup>多</sup> の <sup>多</sup> 山 <sup>志</sup> し <sup>志</sup> と               | 永 | ※日…した                 |
| 日7  | お <sup>屋</sup> も <sup>屋</sup> ひ <sup>屋</sup> や <sup>屋</sup> る <sup>屋</sup> 心 <sup>尔</sup> の <sup>尔</sup> い <sup>尔</sup> ろ <sup>尔</sup> に <sup>尔</sup> 降 <sup>徒</sup> つ <sup>徒</sup> み <sup>徒</sup> て                               | い <sup>通</sup> く <sup>通</sup> へ <sup>通</sup> か <sup>通</sup> 高 <sup>通</sup> き <sup>通</sup> 雪 <sup>能</sup> の <sup>能</sup> 山 <sup>者</sup> の <sup>者</sup> は <sup>者</sup>                                | 守 |                       |
| 日10 | と <sup>万</sup> き <sup>丹</sup> の <sup>丹</sup> ま <sup>利</sup> に <sup>利</sup> ふ <sup>利</sup> り <sup>利</sup> しく <sup>利</sup> 雪 <sup>者</sup> や <sup>者</sup> は <sup>者</sup> れ <sup>者</sup> そ <sup>者</sup> め <sup>者</sup> て               | 此 <sup>可</sup> さ <sup>可</sup> と <sup>可</sup> ち <sup>可</sup> か <sup>可</sup> き <sup>可</sup> や <sup>可</sup> ま <sup>可</sup> を <sup>可</sup> ミ <sup>万</sup> す <sup>春</sup> ら <sup>春</sup> ん               | 季 |                       |
| 日13 | し <sup>志</sup> ろ <sup>多</sup> た <sup>尔</sup> へ <sup>尔</sup> な <sup>尔</sup> へ <sup>尔</sup> て <sup>尔</sup> つ <sup>尔</sup> も <sup>尔</sup> れ <sup>尔</sup> る <sup>尔</sup> 雪 <sup>連</sup> に <sup>流</sup> し <sup>丹</sup> も                | 山 <sup>春</sup> の <sup>春</sup> す <sup>可</sup> か <sup>可</sup> た <sup>可</sup> は <sup>可</sup> さ <sup>満</sup> ま <sup>丹</sup> く <sup>丹</sup> に <sup>丹</sup> し <sup>丹</sup> て                              | 公 |                       |
| 日14 | と <sup>起</sup> き <sup>者</sup> は <sup>者</sup> な <sup>奈</sup> る <sup>奈</sup> 色 <sup>奈</sup> こ <sup>奈</sup> そ <sup>奈</sup> な <sup>奈</sup> け <sup>奈</sup> れ <sup>奈</sup> 白 <sup>耳</sup> 妙 <sup>耳</sup> に                               | 千 <sup>越</sup> 里 <sup>満</sup> く <sup>満</sup> も <sup>満</sup> ら <sup>満</sup> ぬ <sup>満</sup> 雪 <sup>満</sup> の <sup>満</sup> と <sup>満</sup> を <sup>満</sup> や <sup>満</sup> ま                              | 伊 |                       |

十七日 雪埋苔径 冬の13 68

9首のみ(御製実隆・政為・重治・済継・公條・為孝・康親・雅綱)

|     |                                                                            |                                                                      |    |
|-----|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|----|
| 日1  | 苔 <sup>奈利</sup> なりし道 <sup>毛</sup> もおのへにうつもれて                               | 徒 <sup>毛</sup> もれる雪 <sup>能</sup> のたかまとの宮                             | 長  |
| 日2  | ふす苔 <sup>布寸能</sup> のまほには誰 <sup>本尔</sup> も待 <sup>毛</sup> もミン                | さしも日 <sup>毛</sup> 比 <sup>乃</sup> の雪 <sup>可</sup> の木 <sup>可</sup> かくれ | 隆  |
| 日3  | たえく <sup>に</sup> 苔 <sup>奈多尔</sup> の細道 <sup>奈多尔</sup> そなたにも                 | 雪 <sup>李</sup> より後 <sup>盤</sup> は行人 <sup>奈</sup> もなし                 | 為  |
| 日4  | ふみ <sup>布</sup> わけて今朝 <sup>希</sup> や中く跡 <sup>希</sup> もミン                   | 苔 <sup>能</sup> ちのよる雪 <sup>能</sup> のふるさと                              | 光  |
| 日5  | 岩 <sup>可年</sup> かねやあしもたまらぬ苔 <sup>毛</sup> の上に                               | やすくも雪 <sup>毛</sup> のつもりぬるかな                                          | 孝  |
| 日6  | たえ <sup>飛</sup> はて、思 <sup>飛</sup> ひし物を苔 <sup>尔</sup> の上の                   | 雪 <sup>毛</sup> にハ稀 <sup>毛</sup> の跡 <sup>毛</sup> も見えけり                | 継  |
| 日7  | ふり <sup>里</sup> ゆけは苔 <sup>盤尔</sup> にもみえし道 <sup>奈可</sup> ながら                | 又今更 <sup>奈可</sup> の雪 <sup>尔</sup> のやまさと                              |    |
| 日8  | 今朝 <sup>盤奈</sup> はなを山路 <sup>阿毛奈</sup> の苔 <sup>屋尔布</sup> のあともなし             | 雪 <sup>尔</sup> や世 <sup>布</sup> にふる人 <sup>尔</sup> いとふらん               | 音  |
| 日9  | 雪 <sup>盤可連</sup> のうちはかれの、ほかにたのミこし                                          | いはねの苔 <sup>者株</sup> の道 <sup>希</sup> も絶 <sup>希</sup> けり               | 條  |
| 日10 | 吹 <sup>者</sup> はらふ嵐 <sup>乃</sup> のまつ梢 <sup>乃堂</sup> に                      | 雪 <sup>能</sup> のしたなる苔 <sup>奈留</sup> のかよひ路                            | 永宣 |
| 日11 | ふり <sup>利川</sup> うつむ雪 <sup>多可</sup> をかこたむわ <sup>可</sup> か身 <sup>可</sup> かハ | 苔 <sup>丹</sup> にもたえしやとの通路                                            | 康親 |
| 日12 | ふり <sup>婦利徒毛流</sup> つもる雪 <sup>以可</sup> にいく重 <sup>可</sup> かうつむらん            | たとりなれたる苔 <sup>多利奈速多留</sup> のかよひ路                                     | 伊長 |
| 日13 | 人 <sup>者</sup> とはて苔 <sup>春</sup> むす庭 <sup>王</sup> ハふミ <sup>流</sup> わくる     | 雪 <sup>能</sup> のしたにも道 <sup>丹</sup> たとるなり                             | 元長 |
| 日14 | 日 <sup>伏日</sup> ころふる雪 <sup>留丹</sup> にむもる、やまかけは                             | いつかみ <sup>徒</sup> とりの苔 <sup>利</sup> のかよひち                            | 季種 |
| 日15 | 岩 <sup>可株</sup> かねの苔 <sup>濃</sup> のみとりやはらひ <sup>者</sup> ゆく                 | やまの雪 <sup>能</sup> のしるへなるらむ                                           | 重治 |
| 日16 | 苔 <sup>能</sup> のうへハなをあとみえて山人 <sup>奈越</sup> の                               | かよひし道 <sup>可</sup> も雪 <sup>耳堂衣徒</sup> にたえつ、                          | 雅綱 |

十八日 爐火似春 冬の14 69 欠…公音・元長・済継・重治・季種

|     |                                                                                        |                                                                       |    |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|----|
| 日1  | たきもの <sup>毛</sup> 名 <sup>尔多</sup> にたつ梅 <sup>乃</sup> の花 <sup>尔</sup> の香 <sup>毛</sup> に  | 時 <sup>毛</sup> も春 <sup>奈</sup> なる埋 <sup>毛</sup> 火 <sup>登</sup> のもと    | 宣  |
| 日2  | かり <sup>可李</sup> そめも春 <sup>乃</sup> のこ、ろのありかはは                                          | 何 <sup>可</sup> にかミ <sup>本盤</sup> せん埋 <sup>尔可</sup> 火 <sup>毛</sup> のもと | 長  |
| 日3  | さやる夜 <sup>留毛</sup> もさなから春 <sup>奈可</sup> とむかひ <sup>可</sup> るて                           | おりを忘 <sup>利</sup> る、埋 <sup>毛</sup> 火 <sup>毛</sup> のもと                 | 綱  |
| 日4  | むかひ <sup>可</sup> るて心 <sup>可</sup> のとけき埋 <sup>満多</sup> 火 <sup>多</sup> に                 | またる、春 <sup>可</sup> やまつかよ <sup>可</sup> らん                              | 長  |
| 日5  | 鶯 <sup>毛</sup> な <sup>奈可</sup> かぬかき <sup>可</sup> りの春 <sup>能</sup> の色 <sup>毛</sup> も    | まつし <sup>志</sup> りをむる埋 <sup>乃毛</sup> 火 <sup>毛</sup> のもと               | 條  |
| 日6  | 埋 <sup>乃可寸可奈尔</sup> 火 <sup>能</sup> のかすかなるにも春 <sup>能盤</sup> の色 <sup>能</sup> は           | まつかよ <sup>可</sup> ひくる夢 <sup>飛類能</sup> の手枕 <sup>能</sup>                | 孝  |
| 日7  | あくる夜 <sup>類乃</sup> の霞 <sup>毛</sup> の色 <sup>徒</sup> もうつミ火 <sup>能</sup> の                | 光 <sup>能</sup> よりみるね <sup>株</sup> やののとけさ                              |    |
| 日8  | むす <sup>婦尔</sup> ふ手に夏 <sup>奈</sup> なき水 <sup>毛</sup> もとハ <sup>可</sup> かりや               | むかへ <sup>可</sup> ハ春 <sup>乃</sup> の埋 <sup>毛</sup> 火 <sup>毛</sup> のもと   | 隆  |
| 日9  | 花 <sup>尔佐</sup> にさく灯 <sup>奈</sup> ならぬ埋 <sup>尔</sup> 火 <sup>希</sup> の                   | 光 <sup>毛</sup> を春 <sup>乃</sup> とみるものとけし                               | 為  |
| 日10 | 消 <sup>多</sup> やらぬ光 <sup>尔</sup> をたのむ埋 <sup>尔</sup> 火 <sup>希</sup> に                   | す、むね <sup>株</sup> ふりや春 <sup>希</sup> のとき                               | 親  |
| 日11 | 折 <sup>毛</sup> しもあれかつ咲 <sup>可</sup> 梅 <sup>尔</sup> の色 <sup>毛</sup> 香 <sup>尔</sup> にも   | 春 <sup>可</sup> いそかれぬ埋 <sup>可</sup> 火 <sup>希</sup> のもと                 | 光  |
| 日12 | う <sup>地</sup> ちとくるはるの水 <sup>留者流能</sup> かうつミ火 <sup>可</sup> に                           | 向 <sup>可</sup> てかたる人 <sup>能古路</sup> のこ、ろも                             | 公音 |
| 日13 | 夢 <sup>川佐</sup> とまつさき <sup>留毛</sup> ちる花 <sup>衣奈</sup> も見え <sup>奈</sup> なん              | 春 <sup>津速可</sup> をもつゆかうつミ火 <sup>能</sup> のもと                           | 元長 |
| 日14 | むかひ <sup>可</sup> 見る心 <sup>留</sup> を春 <sup>奈速</sup> の雪 <sup>奈</sup> なれや                 | とけてのとき <sup>氣</sup> 埋 <sup>可</sup> 火 <sup>能</sup> のもと                 | 済継 |
| 日15 | 空 <sup>多起</sup> たき <sup>可</sup> のたもとハ春 <sup>乃</sup> のむめ <sup>可</sup> か香 <sup>可</sup> の | それかとく <sup>可</sup> ゆる閑 <sup>留</sup> のうつミ火 <sup>能</sup>                | 重治 |
| 日16 | さえ <sup>佐</sup> かへる風 <sup>流乃</sup> のを <sup>乃</sup> して春 <sup>可</sup> とのミ                | おもひ <sup>者</sup> はてぬるう <sup>留</sup> つみ火 <sup>川見能</sup> のもと            | 季種 |

十九日 老人惜歳 冬の15 70

- 1 春をまつ心はかりの暮たにも 者可里 多尔 おしかりし身 可李 尔 能 毛 に年のつもれる ※雪…にたに。 ※2日・伏・雪…を。 高・阿…お
- 2 世中の名残はたえず思ふ身 尔 又年くる、老そかなしき 累 可奈 支 為
- 3 身につもるかしらの雪の翁川 尔 徒 毛 累 可 行年なミをうきせとそみる 奈 宣
- 4 老らくをよそに歎かは年波の 尔 可者 身にこゆるをはしらすとやいはん 者 志 寸 者 親
- 日6 5 わきて猶おしむもさそな老のなミ 毛 奈 奈 帰らぬ年の暮て行そら 能 伊長
- 日7 6 老の身に過こしはとををくるとも 尔 古 本 おしかるましき年のくれかハ 可 満 能 能 元長
- 日9 7 ミな人の老をかへさん葉もか 奈 可 可 毛 可 暮行年はかきりあるにも 可 阿 累 尔 條
- 日11 8 かそふれはまどふへきにもあらぬ身の 可 者 満 尔 年をいつくに暮るとか思ふ 尔 可 継
- 日5 9 さらに何ををしむらん老らくの 佐 奈 越 遠 羅 身のミこえてつもる年哉 丹 衣 徒 留 雅綱
- 日8 10 この暮に又たちこへん年なミも 古 尔 多 地 古 遍 奈 老のたもとハ先を 乃 多 遠 しむらん 守 光 日…お
- 日10 11 年ハいまた、我のミのかきりと 伊 満 多 能 可 起 利 可 か い 丹 乃 ふにも老のあ 王 遠 志 流 われを 志 流 する 為 孝 日…は
- 12 徒連那 毛 留 つれなくも残るとミゆる老のうへに 尔 おもふともやはとしハおしまん 者 和長
- 13 遠 丹 可 奈 毛 半 乃 奈 をしむにもかひなきものは老のなミ 古 可 可 能 可 奈 こえてかへらぬ年の暮かな 重 治 日…お
- 14 保可多 毛 奈 毛 利 おほかたハを 遠 しミなれても有しより 連 屋 春 起 遠 志 留 哉 季 種 日…お
- 15 老 や 可 可 毛 徒 毛 うきかしらの雪も行としも 毛 毛 つもれるとしの上につもれば 尔 毛 者 公音 ※日…そ
- 16 つもりてはわか身ひとりそ年のくれ 年ハ春とてたちかへれとも ※れ…る。 日・伏・阿…列…る。 高…れ

春の部補足（前回の翻刻で脱落していた九月二十四日分）  
廿四日 山寒花道 春16

- 1 山ふかミ谷の水もはるしらて 福 可 毛 者 留 志 満 多 またうちとけぬ花のひもかな 可 奈
- 2 山ふかみ春またさむしよしさらハ 可 見 満 多 佐 花とミる迄雪もふらなん 毛 奈
- 3 咲やらぬ枝ふきしほ 布 起 本 利 山さむき あ ら し そ 花 の 散 より も う き ※阿…る。 ※2き（ミ）日・伏・高…を。 雪…み
- 4 吹やらぬ木陰におつる山水の 屋 羅 尔 乃 音のミさえて花のかもし 可 毛 奈 可
- 5 山ふかくとひこし花はつれなくて 可 飛 徒 奈 こその嵐にかへるさむけさ 古 尔 可 个
- 6 消あへぬと山の松の雪の色に 尔 能 尔 花をこと 留 能 能 入る春のさむけさ 个 公條 ※雪…わ
- 7 尋てもまた春さむをやまさくら 毛 満 多 屋 かつ咲色もいかてミるへき 可 可 伊長
- 8 外のちる後にと花を山風の 尔 毛 おもふにさゆるこゝろなりせん 尔 奈 為孝
- 9 さかぬまの花にたとらん面かけも 可 万 乃 尔 可 毛 また雲さむき山風ぞ吹 満 多 康親
- 10 山守はをのかさむさやこたへまし 盤 可 多 花のうへこそ人ハとふなれ 古 奈 和長
- 11 さきいてん後ハかせなき花ならハ 起 可 可 世 奈 支 奈 しは 志 者 ミ山の春さむくとも ※日…太山 注…みやま 深山・太山。 反意語は、とやま 外山・端山
- 12 佐 可 尔 古 累 乃 さえかへる山路にのこる雪の色を 多 多 毛 えたの花ともいつかまじ見む 可 満 無 重種 ※季の誤り
- 13 よそにして花にうらみしつれなさを 尔 徒 連 奈 あらしにかこつ春の山かけ 可 可 希 済継
- 14 佐起 支 徒 連 奈 乃 さきぬへき花もつれなしふく風の 満 多 尔 また身にさむき春の山ふミ 能 能 公音
- 15 待人に心のとめてさえかへる 尔 佐 可 可 太山ははなのあらましもなし 盤 者 奈 阿 万 毛 那 永宣
- 16 さきいてん花を 起 志 寸 乃 しらす雲のゐる 軒はの山の風のさむけさ 者 能 乃 守光 ※日・伏・高…を



## 賀茂別雷神社の氏人の官名と実名

―「永正七年・天文六年御籍写」

（國學院大学圖書館収蔵座田家旧蔵書五七二）の考察―

辰 田 芳 雄

※東京大学史料編纂所研究成果報告書二〇二〇―三

『賀茂別雷神社の所領と氏人』からの転載

はじめに

賀茂別雷神社文書を対象に研究を進める際、無年号の文書の場合、登場する神主（社司）や社家の氏人により年号の判定を行うことがしばしばある。しかし、賀茂別雷神社文書には氏人の実名と官名が同時に記されることはほとんどない。そこで、官名から実名を知る際には、『神道大系 神社編八 賀茂』（一九八四年）所載の「賀茂社家系図」（以後、神道大系本と略す）や賀茂県主同族会所蔵「賀茂称宜神主系図」（以後「系図」と略す）を利用するなどの方法を探る。ところが、官名は「上賀茂社家十六流」の氏人のなかで世襲的に継承されることもあり、時期の判定が難しく、なかなか適当な実名を得にくい。

そこで、國學院大学圖書館所蔵座田家旧蔵書五七一「永正七年・天文六年御籍写」<sup>1</sup>を分析して、永正七年（一五二〇）や天文六年（一五三七）時点での実名と官名の対照表を作成し、賀茂別雷神社文書研究の便宜を図ることにした。賀茂別雷神社文書には氏人中置文と称される文書

が数多く残っており、末尾に多くの氏人の官名が記され、花押もある<sup>2</sup>。特に、永正七年に三通、永正八年には八通あり、多くの官名と実名を対応させることが可能である<sup>3</sup>。また、天文六年には一二通の職中算用状があり<sup>4</sup>、同様な成果が期待できる。

### 一 御籍（みふだ）

御籍（御札）とは、神主以下二一社司が番頭となり、氏人はその二一組に編成されたが、その氏人を明示するために作成された名札の称である。上賀茂社に御籍屋（みふだのや）と称する舎があり、二一番ごとに官名と実名を記した名札（小短籍<sup>5</sup>）が掛けられていた。二一番とは、神主・正称宜・正祝・権称宜・権祝・片岡称宜・片岡祝・貴布称称宜・貴布称祝・新宮称宜・新宮祝・太田称宜・太田祝・若宮称宜・若宮祝・奈良称宜・奈良祝・沢田称宜・沢田祝・氏神称宜・氏神祝である。一般に氏人は三手、十手に編成されていたが、一方で常時このような二一番

に編成されていたのである。三手は氏人の居住地域である東手・中手・西手に区分した組織であり、十手は往来田を持つ氏人一四〇人を単に一人ずつ均等に割り振った組織であるが、御籍の組織は二一番編成で神主から氏神までの社格に差がある社司に率いられたのである。しかし、室町時代末期以後、諸国の社領からの年貢収納が途絶えたため、神事を勤仕できなくなり末社の社司が務められなくなり、闕職の社司もあつた。

## 二 永正七年御籍写

永正七年（一五一〇）に御籍改が実施された。「系図」中の氏人の注釈を参照すると、御籍の筆者は五番権祝観平（みつひら）であつたことがわかる<sup>10</sup>。御籍写では、例えばこの観平の部分は、「五々 権祝」の後、「元平弟 正五位 堯平父 宮内少甫 観平」となっている。通常の御籍の表記は、「宮内少輔 観平」あるいは「正五位 観平」<sup>11</sup>であつたようである。この時の御籍は前者のように官名と実名のみが記されていて、親族の関係などの情報は後に付加されたものと思われる。永正七年分の後書きによれば、この御籍写は、寛文二年（一六六二）六月二十三日に氏増<sup>12</sup>の家にあつた「本紙」と観平の自筆本とを校合したもので、保可<sup>13</sup>の家にあつたものとも校合して「相違之文字」を付け

加えたことが記されている。寛文二年には氏増・保可とも存命であるから、この記事に矛盾はない。天文六年御籍写には「相違」の文字はないが、永正七年には一か所ある。

氏増の家にあつたという親族の関係などの注書は、いつ書かれたものであるうか。六番片岡祢宜の二番目「有松大夫・保氏」の注書に注目しよう。頭注には「保森父」とあり中の注には「保祐非祖父」（非祖父は曾祖父のこと。非祖父は非祖と略されることもある）とある。保氏は保森の父にあたり、保祐の曾祖父である。「系図」で確認すると（神道大系本では五四五頁）、保氏―保森―保総―保祐の親子関係が見て取れ、確かに保氏は保祐の曾祖父である。「系図」での保祐の注書には「寛文四年三七死年六十一」とあるので、保祐の生年は慶長十年（一六〇五）であるから、御籍写の注書は、一七世紀の初期以降であろう。なお、注書は頭注・中注・下注の三カ所にあり、それぞれ別人・別時期に注されているのかもしれない。

これらの親族関係の注書は、「系図」の後代の人物との対照を可能にし、その結果多くの氏人を特定に成功したので、かなり正確な記述であると言える。さらに、永正七年時点での氏人の官名（あるいは逆に実名）が特定できた。「系図」には記されていない官名情報も入手できた。例えば、二番正祢宜の八番目株直の官名は、「系図」では（神道大系本では四四一頁）「因幡」とあるが、御籍写では「福千代大夫」とあるので、

株直の官名は当時福千代大夫で、おそらくのち因幡守成をしたことがわかる。また、六番片岡祢宜の五番目「福若大夫・保真」は、「系図」では（神道大系本では五三一頁）「左近」とのみ書かれているが、御籍写の中注では「保金父・右近将監成」とあり、官名が福若大夫から右近将監となり、さらに左近将監となったことがわかる。なお、天文六年御籍写の一番神主の三番目に「左近将監・保真」があり、中注に「左近将監金之父」（「金」は保金）とある。保金は「系図」では菊寿・保金とあるから（神道大系本では五三二頁）、保金の官名も菊寿大夫から左近将監に転じたのであろう。

御籍の氏人が「系図」にない場合、後掲する御籍写官名・実名対応一覧表（表一）の神道大系本のページ欄には「不明」と記している。御籍には合計二〇七人の氏人が記載されているが、そのうち三一人は注書を参照して見ても「系図」にその存在を見いだせない。つまり、「系図」に記載のない氏人も相当数存在し、御籍にはその記載があるということである。御籍写の注書には「見系図」などの「系図」を相対化した表現が見られるので、「系図」には見られないものもあることを示唆している。

以上のように御籍写により「系図」の注には見られない情報が多く得られる。後掲する表一には、「不明」以外にも「系図」に記されていない官名情報には便宜のため官名の末に「\*」印を付けて置く。

### 三 天文六年御籍写

天文六年（一五三七）にも御籍改めが行われた（表二）。その写が永正七年分の後に続くものである。残念なことに天文六年分は、一番神主は八人分のみでその後は欠落し、二番正祢宜・三番正祝のすべて、四番権祢宜の前半分が欠落している（用紙二枚分に相当する）。さらに、一九番沢田祝以後のすべてが欠落している。この天文六年御籍の筆者は観平の息である堯平である<sup>14</sup>。

永正七年御籍写と同様に注書は頭注・中注・下注の三カ所にある。頭注とまったく同じものが中注にあるものがあるので<sup>15</sup>、頭注と中注とは別に時期に記された可能性がある。八番貴布祢祢宜の九番目命若大夫・氏友の頭注には「氏道非祖」がある。氏道の曾祖父が氏友であるという注書である。「系図」での氏道の注書（神道大系本では三七一頁）には、宝永二年（一七〇六）三月二十五日に八十五歳で没したとあるので、生年は元和八年（一六二二）である。従って、この頭注は一七世紀の中頃に書かれたものであろう。

永正七年御籍写の注書とは異なり、故人の記載がある。例えば五番権祝の八番目鶴千代大夫・信直の中注に「故命若子」とある。「系図」では信直の父は、貞直であるからこの注書の時には没していたことがわか

る。そうした例が他に八例ある。また、「見前」「見前了」の注記がある。これらは、悉く永正七年御籍に登場した氏人であるから、天文六年御籍写は永正七年御籍写を参照していたことがわかる。

「系図」に御籍の情報が参照されている場合もある。一七番奈良祝の二番目乙大夫・清正は、「系図」では清連に該当するようである（神道大系本では四〇六頁）、清連の注に「御籍二清正二作」とある。但し、「系図」の官名は乙千代で微妙に異なっている。

下注の多くは氏人の実名に関する注であるが、「メ」と記されたものが一人ある。永正七年御籍写にも一番の三番目経平の「メ歟」を含め三人ある。天文六年御籍写の四番の最後菊寿大夫・兼充の下注は「女」である。一六番の二番目千松大夫・保秀の下注には「女子」とある。「メ」が「女（め）」の略字である可能性が高い。

御籍写の注書には特有な表現があるので、ここにまとめておく。①「」（縦棒）を含む氏人の実名は、一六流の通字が省略されたものである。②昆は兄。③祖は祖父。④非祖あるいは非祖父は曾祖父。⑤「山々々」は通常は「出」の異体字であるが、ここでは「歳」の略字である。⑥「座記」は「目録」五五七賀茂社氏人座次第事（鳥居大路堯平筆）<sup>16</sup>を指すと思われるが、調査ができていない。

四 國學院大学図書館所蔵座田家旧蔵書五七一「永正七年・天文六年

## 御籍写」の翻刻

翻刻にあたり、文字の墨抹や訂正についてはそれを記さず、訂正後の字のみを翻刻した。墨線で文字位置が変更されているものもそれを記さず、変更の結果を記した。読めない文字は□とした。翻刻者の注は、※以下に記した。

賀茂別雷神社座田家文書 リール一八 五七一  
永正七年・天文六年御籍写

永正七年  
天文六年  
御籍写

一番ヨリ四番之間欠、又  
十九番以下欠、追可補

△定結番之事 永正七年四月 日

一番 △数久ハ松下神主棟久三男初氏後神主也

馬場ノ神主ノ繁久男

神主 賀茂縣主

茂久

神主  
種久男 民部少輔

太倉崎見子  
森下家也

数久

慶光大夫

経平 メ歟

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 阿波守     | 久治              |
| 登祖      | 保連              |
| 右馬助     | 保説父             |
| 定祖      | 保出              |
| 淨菊大夫    | 保子父             |
| 豊後守     | 成頭              |
| 修理允     | 成盛              |
| 座記ニ不審セリ | 成信              |
| 成高祖歟    | 氏幸              |
| 千世鶴大夫   | 兼親              |
| 氏頼男     | 預大夫             |
| 下野守     | 別當大夫            |
| 周防守     | 兼誠父             |
| 二番正祢宜   |                 |
| 肥前守     | 保武・保益父          |
| 大膳亮     | 清賢・清意・清善・清宗之先祖也 |
| 龜壽大夫    | 保晃祖父            |
| 尚顯父     | 六郎大夫            |
| 掃部助慶顯祖父 | 内藏助             |
| 氏直祖     | 初壽大夫            |
| 祐幸弟     | 鶴若大夫            |
| 異本ニ鶴彦大夫 | 賢直父             |
| 福千世大夫   | 金十郎祖父           |
| 老松大夫    |                 |

|       |      |               |
|-------|------|---------------|
| 三番    | 正祝   | 重弘            |
| 親祢宜   | 治部少輔 | 奈下家見系図        |
| 繁久男   | 雅楽頭  | 同系図見了         |
| 顯平孫   | 藏人頭  | 弟・元弟・觀平昆・龜平舅也 |
| 清親祖   | 福石大夫 | 增鶴大夫          |
| 清孝父   | 三河守  | 志广守           |
| 讚岐守   | 氏秀祖父 | 初壽大夫          |
| 房幸之祖父 | 乙石大夫 | 氏定父尾張也        |
| 四々    | 權祢宜  | 正祝家見系図了       |
| 正祝    | 筑後守  | 景久父           |
| 重勝男   | 春若大夫 | 杜笛之師也         |
| 能勝男   | 上総守  | 光石大夫          |
| 戲鷲之父  | 岩壽大夫 | 右京亮           |
| 重勝    | 安久   | 能宗            |
| 清延    | 本頭   | 氏保            |

|       |      |           |       |      |    |     |      |
|-------|------|-----------|-------|------|----|-----|------|
| 保森父   | 六々   | 吉頭祖       | 保寬昆   | 元平弟  | 五々 | 氏觀祖 | 孫光大  |
| 有松大夫  | 片岡弥宜 | 初壽大夫      | 龜夜叉大夫 | 宮内少甫 | 權祝 | 縫殿頭 | 鶴壽大夫 |
| 保祐非祖父 | 福菊大夫 | 音頭父政俊歟    | 宮壽大夫  | 遠江守  |    | 兵部丞 | 氏昌父  |
|       |      | 藤右京進子廣幸祖父 |       |      |    |     |      |
|       |      | 和泉守       |       |      |    |     |      |
|       |      | 若狹守       |       |      |    |     |      |

|    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|-------------|----|----|----|----|----|----|
| 保氏 | 能延 | 宗富 | 諸氏 | 季幸 | 出頭          | 重正 | 保隆 | 保武 | 清職 | 觀平 | 幸直 |
|    |    |    |    |    | ※歲頭。「系図」は俊頭 |    |    |    |    |    | 弘直 |
|    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    | 氏隆 |
|    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    | 氏富 |

|          |                      |      |        |     |     |     |      |           |       |         |       |                              |     |      |          |        |      |
|----------|----------------------|------|--------|-----|-----|-----|------|-----------|-------|---------|-------|------------------------------|-----|------|----------|--------|------|
| 鶴泰大夫     | 彦有大夫                 | 八郎大夫 | 命藤大夫   | 淡路守 | 摂津守 | 伊賀守 | 有福大夫 | 孫福大夫      | 慶若大夫  | 片岡祝     | 千代鶴大夫 | 奈良大夫                         | 加賀守 | 豐鶴大夫 | 福若大夫     | 河内守    | 鶴乙大夫 |
| 氏豐父、氏泰祖父 | 氏母之儀、歌音母父也<br>後名左衛門佐 | 氏美祖父 | 信乃實直祖父 | 氏茂父 |     |     |      | 昌久・一芸・三久父 | 社司見系図 | 賀久春一父 森 | 宗富男   | 氏山・氏慶・氏朝・住氏之<br>父 氏繼・氏榮・氏盛祖父 |     |      | 保金父右近將監成 | 清秋・清廣父 |      |
| 氏兼       | 氏誠                   | 盛氏   | 盛直     | 氏治  | 保貞  | 重直  | 能貞   | 久親        | 師久    | 泰久      | 宗慶    | 助氏                           | 實直  | 成国   | 保真       | 清主     | 清活   |

八々

キフ子祢宜

慶千代大夫

与頭大夫 今ハ伊予守

下総守 元久昆

宮藤大夫 清承家筋

豊光大夫 孝顕・充顕祖父

藤光大夫 兼陽之非祖

初石大夫

帯刀頭 頼直近直祖父

伯耆守 但益氏歟也

九々

貴布祢祝

千代光大夫

尾張守

豊前守 保見祖父  
相違也

駿河守

福泰大夫

七郎大夫 元顕ノ父

備中守

忠平

保勝

季久

保則

豊顕

兼継

季富

家直

康氏

宣平

保元

保富

永久

保光

次顕

季知

└

十々

孫泰大夫 氏右之父

命有大夫

敏直

氏茂

新宮祢宜

越前守

左馬助

出雲守

乙千代大夫

尾張守

福増大夫 清佐之父

福泰大夫 保望之伯父斬跡

遠江守 貞顕高顕父也

龜大夫

三郎大夫

源部頭子  
尾張守季賢歟  
實基實ノ子歟 但國記誤歟

十一々

新宮祝

千光大夫

大炊頭 久有二男歟

隼人正 清忠之祖父

左京進 保望之祖父

└元父

豐良 顯平係也  
出羽守顯平彦

元平

保兼

保能

諸久

保充

清永

保敏

季顕

清顕

※「系図」は季資

※「系図」は保兄

龜一大夫

保憲

左衛門大夫

光頭

五郎大夫

善頭

相違也

掃部助

氏每祖父歟

惟氏

茂―昆

龜千代大夫

長俊祖父之昆

泰俊

十二々

太田祢宜

美作守

能家

富久父

宮鶴大夫

上岸季久弟

元久

善哉大夫

保明

名射

千代石大夫

保孝父

保友

乙大夫

保常

相違也

―貞後弟

福鶴大夫

荒丹後ト云ト人リ

重俊

兵庫頭

成重

一ト大夫

秋頭

―徳父

犬大夫

季健祖父

季重

命壽大夫

吉直

十三々

太田祝

神主  
世久弟

右近將監

衾下家歟

見図了

伊予守

久種

左近將監

定勝

清佐父

土佐守

虎石祖父

保家

民部丞

清富

龜福大夫

重秋

有壽大夫

保滿

方―祖

隣大夫

孝顯父

常顯

長俊祖

福壽大夫

定俊父

茂俊

十四々

若宮祢宜

隆久

式部少輔

久種

相違也

幸福大夫

久種彦

種久

安藝守

保幸

佐渡守

保理

福泰大夫

福光大夫

勝重  
茂力

千代福大夫

能明

福鶴大夫

氏長祖父

氏延

亀千代大夫 成能父  
成兼  
亀千代大夫 氏勝

十五々

若宮祝 相違也  
筑後守 式部隆久子 盛久  
安房守子 久勝

千鶴大夫 久清親 久良

千夜又大夫 保望父 保成

亀大夫 保為

掃部頭 堯顯祖父 治顯

相違

座記不審スル 相違  
治部大輔 加賀重与同  
石見守 時人也 非同名 重倫  
重正子也

但馬守 成盛子成俊 盛俊  
相違也

丹波守 季孝男 季勝  
實者季慶祖父

十六々

奈良称宜 明久

幸若大夫 杜司子 保延  
伊豆守 保房父

老岐守 成朝・成定祖 成隆  
一也  
飛騨守 座記不審 成實  
相違也

千代菊大夫 成高・成知父 成粒  
鶴壽大夫 修理進成傳父 成種

豐彦大夫 視後分 氏在

幸夜又大夫 兼行父 兼明

長松大夫 季慶父 季延

福乙大夫 氏親父 氏昌

十七々

奈良祝 好平

慶乙大夫 成家

加賀守 成貞

修理亮 氏繼

鶴夜又大夫 氏相祖父 兼藤

鶴夜又大夫 兵部大夫太刀人 季親

七郎大夫 季守

次郎大夫 季位・季佳祖父 常直

虎寿大夫 因幡守重貞父 新者連子歟リ

十八々 沢田祢宜

実□ハ治部少甫ト云也、長壽人トアリ

出羽守 准定平顯平代

龜壽大夫 租久・高久清兄弟歟

猶有大夫

―貞伯父 福若大夫 後号左近大夫

信濃守

彈正少弼

長門守

兼明父 対馬守 上野守兼行祖父

福壽大夫 主水正季數父絶

十九々 沢田祝

鶴徳大夫 保省祖父

清全父 初鶴大夫 戲鶯之父

越中守

―継父 隠岐守 季虎祖父

豊乙大夫

信直父 命若大夫 敦直非祖父

氏敏祖父 備前守 氏増非祖父

清平

久利

保忠

重忠 ヌ

為顯 ※「系図」は遠顯

成政

光幸

兼家

季盛

保親 ―方父歟

清延 弥出歟

宗幸

季永

重幸

貞直 敦直祖

氏主

兼増祖 藤寿大夫 兼在・兼賢父

季兼父 左京亮 季政非祖父

季敏 ―持祖

廿々 氏神祢宜

慶福大夫

大和守

保名父 龜若大夫 藤四郎保孝祖

季實父 甲斐守 季理季郡ノ祖父

季泰父 長福大夫 季匡祖父

株直父 越後守 金十郎非祖父

氏倫父 小蔵大夫 氏堯祖父氏秀

相違 季増父 幸受大夫 季親

季兼

廿一々 氏神祝

雅楽助

有千代大夫 男ヤイ千代 用平ト有之

備後守

保説伯父 出鶴大夫 保連弟絶跡

大炊助

季隆

保永

保昌

季廣

季武

諸直

氏秀

季親

季兼

勝隆

用久

保達

保宗 ヌ

氏永

氏以・氏員類父修理進 氏説・氏頼父 国氏  
茂直父 紀伊守 秀直祖父 安直  
氏相父 亀鶴大夫 氏直  
氏敏父 備前守 氏主男 氏廣

右所定如件

永正七年四月日

時所司豊後守成顕

彼代大藏少輔正五位下観平

本昏在于氏増之家也

寛文二年六月廿三日以観平之自筆

之本而令校合了、則保可家有之

相違之文字附其傍者也

△定決番事 天文六年五月一日 六月日イニ

△後奈良院御宗入寛文三年迄八百七十七年也

一番

天文六五廿九從三位

神主

正四位下

出羽守 散位準光平代

左近將監 左近將監金之父

明久 経平 保真

豊後守 阿波守元顕父 次顕  
修理亮 成貞  
鶴寿 民部少輔 備前・成堯顕父 秀顕  
増寿 右兵衛大夫 宗顕  
万千代大夫 大夫將監成次顕父 成根

(※一番の続き、二番・三番、四番の前半は欠)

(※四番の前半は欠)

慶一伯父 智大夫 筑後ノ子・賢顕父 安顕 典一昆

双子半 千代鶴大夫 成数子・成秀父 成高 成数男 但口

常陸守 左近將監子 左馬頭成

氏観祖 肥後守 氏昌父 氏隆

上野守

兼親孫 菊寿大夫 兼誠子・兼綱弟 氏富 兼充 女

五々権祝 一

神主種久孫 尊若大夫 治部大・成 從五位上

春久父 鶴寿大夫 志戸子・雅楽助成 景久

清棟伯父 大膳亮 河内成 從五位上 清秋

重祐父 駿河守 重達伯父 重吉

違字歟 初寿大夫 音顯父歟

彈正少弼

信濃守

親直昆 鶴千代大夫 故命若子

兼光昆 竹寿大夫 同初兼誠子

長寿大夫 刑部少成也  
季逸父

六々片岡祢宜

シマノカミノ子

志广守子 彈正忠成

隱岐守

清廣父 河内守 正五位下道白父

藤左馬子

淨菊大夫

七郎大夫 次親子  
右兵衛大夫成

成晴父 石見守 成相非祖父

氏孝流 左馬允 氏山父

季健昆歟  
基伯父也 幸夜又大夫 犬大夫子

氏家昆 菊千代大夫 尾張氏明子  
氏定弟

太郎大夫 宗賢非祖父

出顯 ※歲顯

成政

季富

信直

兼綱 メ

季治

――

才ヒサ

□久

清春

清主

保善

氏顯

是顯

成兼

助氏

季昌

氏村 メ

宗相

七々片岡祝

兵部卿成  
從五位下 金壽大夫 イニ知平  
兵部卿從五位下

昌久父 修理進 昌久父

宮内少輔

高顯弟歟 幸寿大夫

龜千代大夫 成信親

美作守 山直非祖父

氏每父 右京亮 氏美祖父

季健父 松千代大夫 犬大夫子

氏賢父 鶴夜又大夫 助氏子

氏之祖父 菊夜又大夫 民部丞□子

宗勝祖父 太郎大夫 左馬允成

八々貴布祢宜

左馬大夫 出羽成  
光亨體字同代

光久父 下總守 上岸元久昆

保周祖父 千代石大夫 保有非祖父

清承家流 右馬助 和泉成見前

龜増大夫

――

堯平 親平男

久親 綱久男

重直

茂顯

成知 成高弟

盛直

盛氏

季德

氏山

氏則

宗相 春誤

――

信平

季久

保国

保則

保正

有千代大夫

常顯弟  
五郎大夫 豊前二成  
因顯父

刑部少  
頼直祖父

氏道非祖  
命藤大夫 出羽守二成

光直男  
隣大夫 氏父・氏利祖  
美作子

彦有大夫

九々キフネ祝

相平非  
藏人頭 美作守成 民少  
將平父

久清昆  
千吉大夫 千寿大夫イ

久誠父・良久子

幸鶴大夫  
彈正忠成

伊賀守子  
豊福大夫 異徳藏大夫・保友子

藤徳大夫  
藏人頭又肥前成

口顯弟  
福寿大夫 左衛門尉二成鎮顯祖

氏活男  
民部丞 氏右父

雅樂助

氏時弟  
梅衾大夫 故讃岐氏皇子男  
龜夜又トアリ

安直父  
命乙大夫 故美作子・治直祖

命光大夫 形少家直子  
頼昌直父

成賢

佐顯

家直

氏友

富直

氏正

教平

久高

出久 ※歳久 名尉  
伊賀

保孝

保賢 一若  
出羽成

兼顯

氏茂

氏種

氏秋 メ

繼直

光直

十々新宮祢宜

久種弟子  
三郎大夫 泰平親系國  
神主教久長男

久糺父  
千代福大夫 久良子

保美伯父  
岩福大夫 保在昆

龜福大夫 中務大成季久子

時久父  
千代衾大夫 下総守元久子男

髭役  
遠江守 富顯・高顯父 トミ

丹波守 見前季孝父

季若祖  
次郎大夫 季佐季匡父

石千代大夫 近直父家直子

氏定弟  
福石大夫 尾張氏明子

千代鶴大夫

十一々新宮祝

慶光大夫 出羽経平子

保総父  
龜大夫 石見保氏子

千代大夫 土佐元久嫡男

清秋弟  
甲福大夫 河内清主子

家久 口任  
神主

久清

保栄 メ

光久 メ

政久

季顯

季資

季泰 ※「系図」は季恭

久直

氏家 メ

弘延

在平

保森 イ里

富久

清廣

|         |        |        |              |          |
|---------|--------|--------|--------------|----------|
| 但馬守     | 昌直昆    | 五郎大夫   | 美作子          | 頼直       |
| 富顯弟     | 孫七大夫   | 遠江季顯子  | 高顯           | 遠顯       |
| 兼顯昆     | 宮寿大夫   | 備後三成   | 遠顯           | メ        |
| 宗幸父     | 若狹守    | 房幸祖父   | 盛幸           | 見前了      |
| 季勝子     | 左京亮    | 季慶父    | 季延           | 方久父      |
| 季孝昆     | 福松大夫   | 季資子    | 季永           | 清省男      |
| 菊松大夫    | 季盛子    | 季知     | メ            | 保道祖      |
| 才千代大夫   | 弘国子弘延子 | 弘高     | メ            | 龜福大夫     |
| 十二々太田祢宜 | 上岸     | 元久     | 元久           | 宣顯父      |
| 季久弟     | 土佐守    | 伊賀守    | 名射保孝父        | 幸福大夫     |
| 名射父     | 伊賀守    | 名射保孝父  | 故佐渡子<br>隼人正成 | 掃部助      |
| 鶴夜又大夫   | 太田前    | 保俊     | ○メ           | 見前了      |
| 鶴夜又大夫   | 太田前    | 保昏     | ※「系図」は保春     | 季久祖      |
| 清富父     | 增鶴大夫   | 清貞     | 重俊           | 次郎大夫     |
| 重行父     | 丹後守    | 荒丹後有二子 | 重政           | 治少成季興父   |
| 氏豊父     | 内蔵助    | 見前了    | 氏兼           | 光久之祖     |
| 季政非祖    | 治部少輔   | 見前了    | 季敏           | 三河守      |
| 乙福大夫    | 乙福大夫   | 季宗     | ※「系図」は季孝     | 同久種彦也    |
|         |        |        |              | 安藝守      |
|         |        |        |              | 佐渡守      |
|         |        |        |              | 茂勝       |
|         |        |        |              | 隆久       |
|         |        |        |              | 種久       |
|         |        |        |              | 保幸       |
|         |        |        |              | 傳直       |
|         |        |        |              | 季直       |
|         |        |        |              | 長顯       |
|         |        |        |              | 兼弟       |
|         |        |        |              | 常顯       |
|         |        |        |              | 定俊       |
|         |        |        |              | 重行       |
|         |        |        |              | メ        |
|         |        |        |              | 保方       |
|         |        |        |              | 高イ       |
|         |        |        |              | 清知       |
|         |        |        |              | 村久       |
|         |        |        |              | 久種       |
|         |        |        |              | 宗久<br>生祖 |

|                                          |                                               |                |                      |                                     |                                       |                                                 |              |        |                 |                      |                    |                     |                |                     |                                             |       |              |              |              |                    |
|------------------------------------------|-----------------------------------------------|----------------|----------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------------------|--------------|--------|-----------------|----------------------|--------------------|---------------------|----------------|---------------------|---------------------------------------------|-------|--------------|--------------|--------------|--------------------|
| 梅若大夫<br><small>故大膳亮子石馬允成<br/>清資父</small> | 龜鶴大夫<br><small>故龜鶴大夫子式大威<br/>保古保述非祖父也</small> | 龜千代大夫<br>丹後重俊子 | カユタチ<br>有寿大夫<br>故掃頭子 | 氏根弟<br><small>但馬守子<br/>氏和祖父</small> | 大炊助<br><small>記伊守成<br/>氏長父</small>    | 氏房祖<br>龜十大夫<br><small>助氏子氏山弟<br/>氏朝佳氏昆也</small> | 猿若大夫         | 十五々若宮祝 |                 | 宗久祖<br>筑後守<br>隆久男種久父 | 久清父<br>式部大輔<br>見前了 | 保定昆歟<br>龜寿大夫<br>保慶子 | 乙寿大夫<br>上野守成   | 保子父<br>越中守<br>保平非祖父 | 福増大夫<br><small>満足大夫成也<br/>兵衛頭成</small>      | 幸夜叉大夫 | 千代大夫<br>下野二成 | 光若大夫<br>因幡守成 | 命若大夫<br>故美作子 | 氏榮父<br>龜松大夫<br>助氏子 |
| 清藤                                       | 保衆<br>※「系図」は保泉                                | 重満<br>メ        | 良頭<br>メ              | 氏信                                  | 氏勝                                    | 氏慶                                              |              | ——     | 盛久              | 久良                   | 保豊                 | 保棟                  | 保出<br>※保歳      | 清種                  | 保石<br>※「系図」は保右                              | 成治    | 兼隆<br>兼全父    | 政直           | 氏朝           |                    |
| 十六々奈良祢宜                                  |                                               |                |                      |                                     |                                       |                                                 |              |        |                 |                      |                    |                     |                |                     |                                             |       |              |              |              |                    |
| 幸光大夫<br><small>兵部少金久父<br/>山城守成</small>   | 千松大夫<br>堀内氏太子                                 | 乙千代大夫<br>辻大膳亮子 | 龜菊大夫<br>故下野子保建祖      | 千菊大夫<br>越中守子圖書頭成                    | 千大夫<br><small>阿波守成子<br/>清金兄弟歟</small> | 和泉守<br>見前了                                      | 右衛門大夫<br>見前了 | 飛驒守    | 福乙大夫<br>監物丞成氏規父 | 藤福大夫<br>兼村子          | 十七々奈良祝             |                     | 記伊守<br>光平目代    | 乙大夫<br>辻大膳亮子        | 縫衣助<br>従五位下<br><small>大和守成<br/>保見祖父</small> | 兵庫助   | 小菊大夫<br>左馬助子 |              |              |                    |
| 宗久                                       | 保秀<br><small>藤也<br/>女子</small>                | 清□<br>※清連力     | 保亮                   | 保子                                  | 清吉                                    | 成数<br>※「系図」は成信                                  | 成種           | 在氏     | 氏昌              | 兼賢                   | ——                 | 美平                  | 清正<br>※「系図」は清連 | 保房                  | 保富                                          | 保男    |              |              |              |                    |

初乙大夫 季幸弟 内蔵亮成

氏門父 熊千代大夫 大炊助成

大刀人 宮内少輔 見前了

備後守 見前了

筑後守

不評 龜寿大夫 飛驒守子

藤千代大夫

為幸 メ

氏頼

兼藤 一

季親 二

季守

氏□ ※「系図」は氏親

兼治

十九々沢田祝

(※以後記事なし)

(※挟み込まれたと思われる別紙有り)

明久、元基久

位傳ニ大永三十朔正五位下 新名了此時三十七才也

享祿元九二神主還補

天文甲六六朔正四位下 同日

神主還補 三ケ度 天文十六

三廿三從三位、此時六十才ト趣

□久勘進也

(裏)

神主傳ニヨレハ長祿元年ノ生 永正七ニ廿四才

大永三ニ卅七才

天文十六年ニ六十二才

(※以下に墨抹された三行程の文章有り)

昭和38年5月17日受入 20 | 154

十八々沢田祢宜

左近大夫 見前斷跡

清忠父 鶴夜又大夫 故隼人正子

保香昆 鶴寿大夫 縫衣助子

氏数昆 彦若大夫 甲斐守成

龜寿大夫 常顯子

季数父

季好祖

兵部丞

赤大夫 内蔵頭成

藤寿大夫 大膳亮成隱岐守成

龜大夫 大炊頭成季親子

龜福大夫 太乗寺

氏敏 | 増父

季増 | 佳父

季清

季繼 | 虎父

季盛 | 数父

孝顯

氏説

保良

清元

重忠

<sup>1</sup> 國學院大学図書館調査室編輯『國學院大学図書館収蔵 神道書籍解説目録 第三輯 座田家旧蔵書』（一九八四年）（以後、「目録」と略す）のうち、第七類社家／諸役五七一に解説がある。

<sup>2</sup> 賀茂別雷神社史料編纂委員会編『賀茂別雷神社史料 1 氏人置文』（賀茂別雷神社、二〇一九年）。ここには、II（土蔵）―B（社司）―I（氏人）の文書が翻刻されている。

<sup>3</sup> 官名と実名の対応の研究は多くない。A 勘定使起請文に記された勘定使である氏人の実名と、B 近江国船木荘年貢算用状に記された勘定使である氏人の官名とを、花押の比較により対応された事例が知られる（須磨千穎「中世における賀茂別雷神社氏人の惣について（10）」、『南山経済研究』第一巻第三号、一九九七年）。なお、

Aは、II―I―四―四、長享三年四月六日、船木荘下司方米勘定目録（長享二年分）。Bは、II―I―四―二、長享三年四月六日、船木荘本家方米算用状（長享二年分）とII―I―四―五、長享三年四月、船木荘年貢米算用状（長享二年分）。

<sup>4</sup> II（土蔵）―I（算用状）―I（職中）の五五天文六年正月二十四日職中方算用状（天文六年分）から六七天文六年十二月十九日一段別算用状（天文六年十二月）。

<sup>5</sup> 例えば「右衛門尉 従四下 季枝」「主計頭 保貴」の如し（五七二「寛文三年御籍改記」（國學院大学図書館収蔵座田家旧蔵書）、以下「寛文改記」と略す）。

<sup>6</sup> 早い例に「嘉吉元年御札」が知られる（「寛文改記」）。御籍は以下の

ように作成されたようである（「目録」五七三賀茂社結番御籍写／御籍秘抄）。嘉吉元年、永正七年四月日（觀平筆）、天文六年五月一日

（異本に六月一日）（堯平筆）、弘治二年六月二十八日（堯平筆）、永祿七年四月五日（堯平筆）、天正十三年六月五日（保望筆）、慶長六年六月二十六日（氏孝筆）、寛永元年六月二十七日（氏孝筆）、寛文三年四月十七日（季通筆）、延宝五年四月十五日（右衛門尉保業筆）、延宝七年八月二十五日（木工権助季通筆）、元祿十五年四月五日（土佐守詮俊筆）、正徳元年十二月十八日（右京亮旨顯筆）、正徳六年五月二十五日（治部権大輔保言）、享保八年五月十五日（志摩守保堅筆）、享保十七年閏五月二十三日（修理権亮清云筆）、元文三年四月十九日（修理権亮清云筆）、元文五年六月二十五日（玄蕃頭兼元筆）、寛保三年四月二十二日（玄蕃頭兼元筆）、寛延三年九月二十一日（隱岐守修顯筆）、寛延四年三月二十八日（隱岐守修顯筆）。

<sup>7</sup> 須磨千穎「中世における賀茂別雷神社氏人の惣について（1）」、『南山経済研究』第六巻第三号、一九九二年）。

<sup>8</sup> 須磨千穎「中世における賀茂別雷神社氏人の惣について（9）」、『南山経済研究』第一巻第二号、一九九六年）の代官の項。

<sup>9</sup> 「社司十七人（但貴布祢祝・新宮称宜并祝・大田祝四職闕職也、内、従四位下一人、正五位下三人、従五位上六人、従五位下六人、無位一人）」（「寛文改記」）。

<sup>10</sup> 「系図」の観平の注書に「当社有職自兼親相承後伝于長男堯平。永正七年神前御籍筆者」とある。

<sup>11</sup> 例え、正徳六年五月二十五日の御籍（「目録」五七三賀茂社結番御籍写）や享和二年二月の御籍（「目録」五七四享和二年御籍下組）。

<sup>12</sup> 「系図」によれば、氏増は氏主（永正七年御籍では一九番の七）の曾孫、氏敏（天文六年御籍では一八番の一〇）の息である（神道大系本では三七三頁）。慶長六年に従五位下、慶長十六年に従五位上となり、慶長十七年には朝廷での官職として出雲守に任官した。寛永八年九月十日に八四歳で没している。

<sup>13</sup> 「系図」によれば、保可は岡本保望の曾孫である（神道大系本では五一四頁）。その岡本保望は、保茂（永正七年御籍では一一番の四）の孫、保成（天文六年御籍では一五番の四）の息である。保可は、延宝四年に従四位下となった直後から、神主を八年半務めている。延宝八年には従四位上に昇り、天和三年七月二十一日に五十九歳で没している。

<sup>14</sup> 「系図」の堯平の注書に「当社有職中興之師、門弟有數十人、就中、長資六人所謂保長・季直・孝顕・保省・保望・保親等也、此六流至今行于当社、天文六年・弘治二年等神前御籍筆者」とある。

<sup>15</sup> 例え、七番片岡祝の一番目「金寿大夫・堯平」や二番「修理進・久親」＋。

<sup>16</sup> （内容）堯平座席記と呼ばれ後に典拠とされたもの。氏人の官と名を人別に列記。

表一 永正七年御籍写の官名・実名対応一覧表

永正7年（1510）御籍写・神道大系本の系図ページ

|    | 官名       | 実名 | 頁   |    | 官名       | 実名 | 頁   |
|----|----------|----|-----|----|----------|----|-----|
| 1番 | 神主       |    |     | 4番 | 権祢宜      |    |     |
| 1  | 1 賀茂縣主   | 茂久 | 412 | 4  | 1 筑後守*   | 重勝 | 448 |
| 1  | 2 民部少輔   | 数久 | 410 | 4  | 2 春若大夫*  | 安久 | 412 |
| 1  | 3 慶光大夫*  | 経平 | 620 | 4  | 3 上総守*   | 能宗 | 623 |
| 1  | 4 阿波守    | 久治 | 不明  | 4  | 4 光石大夫*  | 清延 | 382 |
| 1  | 5 右馬助    | 保連 | 535 | 4  | 5 岩寿大夫   | 本頭 | 571 |
| 1  | 6 浄菊大夫*  | 保歳 | 542 | 4  | 6 右京亮    | 氏保 | 371 |
| 1  | 7 豊後守    | 成頭 | 580 | 4  | 7 孫光大夫*  | 幸直 | 432 |
| 1  | 8 修理允    | 成盛 | 629 | 4  | 8 鶴寿大夫*  | 弘直 | 441 |
| 1  | 9 千世鶴大夫* | 成信 | 629 | 4  | 9 縫殿頭    | 氏隆 | 370 |
| 1  | 10 預大夫   | 氏幸 | 378 | 4  | 10 兵部丞*  | 氏富 | 377 |
| 1  | 11 別當大夫  | 兼親 | 596 | 5番 | 権祝       |    |     |
| 2番 | 正祢宜      |    |     | 5  | 1 宮内少輔   | 観平 | 621 |
| 2  | 1 肥前守    | 保広 | 495 | 5  | 2 遠江守    | 清職 | 381 |
| 2  | 2 大膳亮    | 清尚 | 396 | 5  | 3 亀夜又大夫* | 保武 | 495 |
| 2  | 3 亀寿大夫*  | 保房 | 495 | 5  | 4 宮寿大夫   | 保隆 | 不明  |
| 2  | 4 六郎大夫   | 友頭 | 593 | 5  | 5 治部大輔   | 重正 | 625 |
| 2  | 5 内蔵助    | 氏頭 | 不明  | 5  | 6 初寿大夫   | 歳頭 | 571 |
| 2  | 6 初寿大夫*  | 元幸 | 634 | 5  | 7 藤右京進子  | 季幸 | 633 |
| 2  | 7 鶴若大夫   | 氏胤 | 378 | 5  | 8 和泉守    | 諸氏 | 370 |
| 2  | 8 福千世大夫* | 株直 | 441 | 5  | 9 若狭守*   | 宗富 | 449 |
| 2  | 9 老松大夫   | 季弘 | 不明  | 6番 | 片岡祢宜     |    |     |
| 3番 | 正祝       |    |     | 6  | 1 福菊大夫   | 能延 | 不明  |
| 3  | 1        | 重弘 | 448 | 6  | 2 有松大夫*  | 保氏 | 545 |
| 3  | 2 治部少輔   | 嘉久 | 411 | 6  | 3 鶴乙大夫   | 清活 | 不明  |
| 3  | 3 雅楽頭*   | 幸久 | 412 | 6  | 4 河内守    | 清主 | 382 |
| 3  | 4 蔵入頭    | 国平 | 621 | 6  | 5 福若大夫*  | 保真 | 531 |
| 3  | 5 福石大夫   | 保持 | 不明  | 6  | 6 豊鶴大夫   | 成国 | 626 |
| 3  | 6 増鶴大夫*  | 清貞 | 396 | 6  | 7 加賀守    | 実直 | 432 |
| 3  | 7 三河守*   | 重治 | 449 | 6  | 8 松若大夫   | 助氏 | 360 |
| 3  | 8 志摩守    | 成富 | 627 | 6  | 9 千代鶴大夫* | 宗慶 | 637 |
| 3  | 9 讃岐守    | 理氏 | 不明  |    |          |    |     |
| 3  | 10 初寿大夫  | 成幸 | 不明  |    |          |    |     |
| 3  | 11 乙石大夫* | 氏明 | 370 |    |          |    |     |

|  | 官名 | 実名 | 頁 |
|--|----|----|---|
|--|----|----|---|

7番 片岡祝

|   |    |       |    |     |
|---|----|-------|----|-----|
| 7 | 1  |       | 泰久 | 414 |
| 7 | 2  | 慶若大夫* | 師久 | 411 |
| 7 | 3  | 孫福大夫  | 久親 | 409 |
| 7 | 4  | 有福大夫  | 能貞 | 623 |
| 7 | 5  | 伊賀守*  | 重直 | 447 |
| 7 | 6  | 摂津守*  | 保貞 | 504 |
| 7 | 7  | 淡路守   | 氏治 | 370 |
| 7 | 8  | 命藤大夫  | 盛直 | 432 |
| 7 | 9  | 八郎大夫  | 盛氏 | 371 |
| 7 | 10 | 彦有大夫  | 氏誠 | 371 |
| 7 | 11 | 鶴松大夫  | 氏兼 | 376 |

8番 貴布祢宜

|   |   |       |    |     |
|---|---|-------|----|-----|
| 8 | 1 | 慶千代大夫 | 忠平 | 不明  |
| 8 | 2 | 与頭大夫* | 保勝 | 502 |
| 8 | 3 | 下総守   | 季久 | 421 |
| 8 | 4 | 宮藤大夫* | 保則 | 542 |
| 8 | 5 | 豊光大夫  | 豊頭 | 580 |
| 8 | 6 | 藤光大夫  | 兼継 | 613 |
| 8 | 7 | 初石大夫  | 季富 | 466 |
| 8 | 8 | 帯刀頭   | 家直 | 438 |
| 8 | 9 | 伯耆守*  | 康氏 | 377 |

9番 貴布祢祝

|   |   |        |    |     |
|---|---|--------|----|-----|
| 9 | 1 | 千代光大夫* | 宣平 | 622 |
| 9 | 2 | 尾張守    | 保元 | 519 |
| 9 | 3 | 豊前守    | 保富 | 542 |
| 9 | 4 | 駿河守    | 永久 | 421 |
| 9 | 5 | 福松大夫   | 保光 | 522 |
| 9 | 6 | 七郎大夫   | 次頭 | 593 |
| 9 | 7 | 備中守*   | 季知 | 463 |
| 9 | 8 | 孫松大夫   | 氏茂 | 370 |
| 9 | 9 | 命有大夫*  | 敏直 | 431 |

|  | 官名 | 実名 | 頁 |
|--|----|----|---|
|--|----|----|---|

10番 新宮祢宜

|    |    |       |    |     |
|----|----|-------|----|-----|
| 10 | 1  | 越前守   | 元平 | 620 |
| 10 | 2  | 左馬助   | 保兼 | 522 |
| 10 | 3  | 出雲守   | 保能 | 531 |
| 10 | 4  | 乙千代大夫 | 諸久 | 424 |
| 10 | 5  | 尾張守*  | 保充 | 545 |
| 10 | 6  | 福増大夫* | 清永 | 404 |
| 10 | 7  | 福松大夫* | 保敏 | 515 |
| 10 | 8  | 遠江守   | 季頭 | 558 |
| 10 | 9  | 亀大夫*  | 清頭 | 549 |
| 10 | 10 | 三郎大夫  | 季資 | 492 |

11番 新宮祝

|    |   |        |    |     |
|----|---|--------|----|-----|
| 11 | 1 | 千光大夫*  | 隆平 | 620 |
| 11 | 2 | 大炊頭    | 直久 | 421 |
| 11 | 3 | 隼人正    | 清憲 | 382 |
| 11 | 4 | 左京進*   | 保茂 | 503 |
| 11 | 5 | 亀一大夫   | 保憲 | 不明  |
| 11 | 6 | 左衛門大夫  | 光頭 | 563 |
| 11 | 7 | 五郎大夫   | 善頭 | 594 |
| 11 | 8 | 掃部助    | 惟氏 | 371 |
| 11 | 9 | 亀千代大夫* | 泰俊 | 427 |

12番 太田祢宜

|    |    |        |    |     |
|----|----|--------|----|-----|
| 12 | 1  | 美作守    | 能家 | 623 |
| 12 | 2  | 宮鶴大夫*  | 元久 | 421 |
| 12 | 3  | 善哉大夫*  | 保明 | 519 |
| 12 | 4  | 千代石大夫* | 保友 | 522 |
| 12 | 5  | 乙大夫    | 保常 | 不明  |
| 12 | 6  | 福鶴大夫*  | 重俊 | 456 |
| 12 | 7  | 兵庫頭    | 成重 | 不明  |
| 12 | 8  | 一卜大夫   | 秋頭 | 不明  |
| 12 | 9  | 犬大夫*   | 季重 | 466 |
| 12 | 10 | 命寿大夫   | 吉直 | 438 |

|  | 官名 | 実名 | 頁 |
|--|----|----|---|
|--|----|----|---|

13番 太田祝

|    |   |       |    |     |
|----|---|-------|----|-----|
| 13 | 1 | 右近将監* | 久種 | 410 |
| 13 | 2 | 伊予守   | 定勝 | 623 |
| 13 | 3 | 左近将監  | 保家 | 541 |
| 13 | 4 | 土佐守   | 清富 | 382 |
| 13 | 5 | 民部丞*  | 重秋 | 448 |
| 13 | 6 | 亀福大夫* | 保満 | 502 |
| 13 | 7 | 有寿大夫* | 胤頭 | 558 |
| 13 | 8 | 隣大夫*  | 常頭 | 580 |
| 13 | 9 | 福寿大夫* | 茂俊 | 427 |

14番 若宮祢宜

|    |   |        |    |     |
|----|---|--------|----|-----|
| 14 | 1 | 式部少輔   | 隆久 | 410 |
| 14 | 2 | 幸福大夫*  | 種久 | 413 |
| 14 | 3 | 安芸守    | 保幸 | 501 |
| 14 | 4 | 佐渡守    | 保理 | 542 |
| 14 | 5 | 福松大夫   | 勝重 | 不明  |
| 14 | 6 | 千代福大夫  | 能明 | 不明  |
| 14 | 7 | 福鶴大夫   | 氏延 | 377 |
| 14 | 8 | 亀千代大夫* | 成兼 | 625 |
| 14 | 9 | 亀千代大夫  | 氏勝 | 不明  |

15番 若宮祝

|    |   |        |    |     |
|----|---|--------|----|-----|
| 15 | 1 | 筑後守    | 盛久 | 413 |
| 15 | 2 | 安房守子   | 久勝 | 不明  |
| 15 | 3 | 千鶴大夫   | 久良 | 406 |
| 15 | 4 | 千夜又大夫* | 保成 | 503 |
| 15 | 5 | 亀大夫*   | 保為 | 519 |
| 15 | 6 | 掃部頭    | 治頭 | 550 |
| 15 | 7 | 石見守    | 重倫 | 625 |
| 15 | 8 | 但馬守    | 盛俊 | 427 |
| 15 | 9 | 丹波守    | 季勝 | 466 |

|  | 官名 | 実名 | 頁 |
|--|----|----|---|
|--|----|----|---|

16番 奈良祢宜

|    |    |        |    |         |
|----|----|--------|----|---------|
| 16 | 1  | 幸若大夫*  | 明久 | 411・620 |
| 16 | 2  | 伊豆守    | 保延 | 502     |
| 16 | 3  | 壱岐守*   | 成隆 | 629     |
| 16 | 4  | 飛騨守    | 成實 | 626     |
| 16 | 5  | 千代菊大夫  | 成粒 | 不明      |
| 16 | 6  | 鶴寿大夫*  | 成種 | 629     |
| 16 | 7  | 豊彦大夫   | 氏在 | 不明      |
| 16 | 8  | 幸夜又大夫* | 兼明 | 598     |
| 16 | 9  | 長松大夫   | 季延 | 466     |
| 16 | 10 | 福乙大夫   | 氏昌 | 370     |

17番 奈良祝

|    |   |        |    |     |
|----|---|--------|----|-----|
| 17 | 1 | 慶乙大夫   | 好平 | 不明  |
| 17 | 2 | 加賀守    | 成家 | 627 |
| 17 | 3 | 修理亮    | 成貞 | 629 |
| 17 | 4 | 鶴夜又大夫  | 氏繼 | 不明  |
| 17 | 5 | 鶴夜又大夫* | 兼藤 | 596 |
| 17 | 6 | 七郎大夫   | 季親 | 465 |
| 17 | 7 | 次郎大夫   | 季守 | 465 |
| 17 | 8 | 虎寿大夫*  | 常直 | 431 |

18番 沢田祢宜

|    |   |       |    |     |
|----|---|-------|----|-----|
| 18 | 1 | 出羽守   | 清平 | 620 |
| 18 | 2 | 亀寿大夫  | 久利 | 不明  |
| 18 | 3 | 猶有大夫* | 保忠 | 545 |
| 18 | 4 | 福若大夫  | 重忠 | 不明  |
| 18 | 5 | 信濃守   | 為頭 | 563 |
| 18 | 6 | 弾正少弼  | 成政 | 626 |
| 18 | 7 | 長門守   | 光幸 | 不明  |
| 18 | 8 | 対馬守   | 兼家 | 597 |
| 18 | 9 | 福寿大夫  | 季盛 | 463 |

|  | 官名 | 実名 | 頁 |
|--|----|----|---|
|--|----|----|---|

19番 沢田祝

|    |   |       |    |       |
|----|---|-------|----|-------|
| 19 | 1 | 鶴徳大夫  | 保親 | 537   |
| 19 | 2 | 初鶴大夫  | 清延 | 不明    |
| 19 | 3 | 越中守   | 宗幸 | 不明    |
| 19 | 4 | 隠岐守   | 季永 | 483   |
| 19 | 5 | 豊乙大夫* | 重幸 | 633 ? |
| 19 | 6 | 命若大夫  | 貞直 | 445   |
| 19 | 7 | 備前守   | 氏主 | 373   |
| 19 | 8 | 藤寿大夫  | 兼村 | 597   |
| 19 | 9 | 左京亮*  | 季敏 | 460   |

20番 氏神祢宜

|    |   |       |    |     |
|----|---|-------|----|-----|
| 20 | 1 | 慶福大夫  | 季隆 | 不明  |
| 20 | 2 | 大和守   | 保永 | 545 |
| 20 | 3 | 亀若大夫* | 保昌 | 541 |
| 20 | 4 | 甲斐守   | 季広 | 476 |
| 20 | 5 | 長福大夫  | 季武 | 491 |
| 20 | 6 | 越後守   | 諸直 | 441 |
| 20 | 7 | 小蔵大夫  | 氏秀 | 359 |
| 20 | 8 | 幸受大夫* | 季兼 | 460 |

21番 氏神祝

|    |   |        |    |     |
|----|---|--------|----|-----|
| 21 | 1 | 雅楽助    | 勝隆 | 不明  |
| 21 | 2 | 有千代大夫* | 用久 | 410 |
| 21 | 3 | 備後守    | 保達 | 542 |
| 21 | 4 | 歳鶴大夫   | 保宗 | 535 |
| 21 | 5 | 大炊助    | 氏永 | 371 |
| 21 | 6 | 修理進*   | 国氏 | 371 |
| 21 | 7 | 紀伊守    | 安直 | 443 |
| 21 | 8 | 亀鶴大夫*  | 氏直 | 380 |
| 21 | 9 | 備前守*   | 氏広 | 373 |

官名末\*は、「系図」・神道大系本にないもの、異なるもの

表二 天文六年御籍写の官名・実名対応一覧表

天文6年（1537）御籍写・神道体系の系図頁・永正7年（1510）御籍写

| 番  | 順  | 官名     | 実名 | 頁   | 永正7年 | 番  | 順  | 官名     | 実名 | 頁   | 永正7年 |
|----|----|--------|----|-----|------|----|----|--------|----|-----|------|
| 一番 |    | 神主     |    |     |      | 六番 |    | 片岡祢宜   |    |     |      |
| 1  | 1  | 神主     | 明久 | 620 | ⑩-1  | 6  | 1  |        | □久 | 不明  |      |
| 1  | 2  | 出羽守    | 経平 | 620 | ①-3  | 6  | 2  | 隠岐守*   | 清春 | 382 | ⑥-2  |
| 1  | 3  | 左近将監   | 保真 | 531 | ⑥-6  | 6  | 3  | 河内守    | 清主 | 382 | ⑥-4  |
| 1  | 4  | 豊後守    | 次頭 | 593 | ⑨-6  | 6  | 4  | 藤左馬子   | 保善 | 不明  |      |
| 1  | 5  | 修理亮    | 成貞 | 629 | ⑪-3  | 6  | 5  | 浄菊大夫*  | 氏頭 | 571 | ②-5  |
| 1  | 6  | 民部少輔   | 秀頭 | 550 |      | 6  | 6  | 七郎大夫*  | 是頭 | 593 |      |
| 1  | 7  | 右兵衛大夫* | 宗頭 | 558 |      | 6  | 7  | 石見守    | 成兼 | 625 | ⑭-8  |
| 1  | 8  | 万千代大夫* | 成根 | 628 |      | 6  | 8  | 左馬允    | 助氏 | 360 | ⑥-8  |
|    |    | (以後欠)  |    |     |      | 6  | 9  | 幸夜又大夫  | 季昌 | 466 |      |
| 四番 |    |        |    |     |      | 6  | 10 | 菊千代大夫* | 氏村 | 370 |      |
|    |    | (以前欠)  |    |     |      | 6  | 11 | 太郎大夫   | 宗相 | 637 | ⑦-11 |
| 4  | α1 | 聶大夫    | 安頭 | 594 |      | 七番 |    | 片岡祝    |    |     |      |
| 4  | α2 | 千代鶴大夫* | 成高 | 629 |      | 7  | 1  | 金壽大夫   | 堯平 | 621 |      |
| 4  | α3 | 常陸守    | 幸直 | 432 | ④-7  | 7  | 2  | 修理進    | 久親 | 409 | ⑦-2  |
| 4  | α4 | 肥後守    | 氏隆 | 370 | ④-9  | 7  | 3  | 宮内少輔*  | 重直 | 447 | ⑦-3  |
| 4  | α5 | 上野守    | 氏富 | 377 | ④-10 | 7  | 4  | 幸寿大夫   | 茂頭 | 563 |      |
| 4  | α6 | 菊寿大夫   | 兼充 | 596 |      | 7  | 5  | 亀千代大夫* | 成知 | 629 |      |
| 五番 |    | 権祝     |    |     |      | 7  | 6  | 美作守    | 盛直 | 432 | ⑦-8  |
| 5  | 1  | 尊若大夫*  | 知久 | 411 |      | 7  | 7  | 右京亮    | 盛氏 | 371 | ⑦-9  |
| 5  | 2  | 鶴寿大夫   | 景久 | 412 |      | 7  | 8  | 松千代大夫  | 季徳 | 466 |      |
| 5  | 3  | 大膳亮    | 清秋 | 382 |      | 7  | 9  | 鶴夜又大夫* | 氏山 | 360 |      |
| 5  | 4  | 駿河守    | 重吉 | 不明  |      | 7  | 10 | 菊夜又大夫  | 氏則 | 378 |      |
| 5  | 5  | 初寿大夫   | 歳頭 | 571 | ⑤-7  | 7  | 11 | 太郎大夫   | 宗相 | 637 | ⑦-11 |
| 5  | 6  | 弾正少弼   | 成政 | 626 | ⑩-6  | 八番 |    | 貴布祢宜   |    |     |      |
| 5  | 7  | 信濃守    | 季富 | 466 | ⑤-7  | 8  | 1  | 左馬大夫   | 信平 | 620 |      |
| 5  | 8  | 鶴千代大夫  | 信直 | 445 |      | 8  | 2  | 下総守    | 季久 | 421 | ⑧-3  |
| 5  | 9  | 竹寿大夫   | 兼綱 | 596 |      | 8  | 3  | 千代石大夫* | 保国 | 501 |      |
| 5  | 10 | 長寿大夫   | 季治 | 482 |      | 8  | 4  | 右馬助*   | 保則 | 542 | ⑧-4  |
|    |    |        |    |     |      | 8  | 5  | 亀増大夫*  | 保正 | 503 |      |
|    |    |        |    |     |      | 8  | 6  | 有千代大夫  | 成賢 | 不明  |      |
|    |    |        |    |     |      | 8  | 7  | 五郎大夫   | 佐頭 | 584 |      |
|    |    |        |    |     |      | 8  | 8  | 頼直祖父   | 家直 | 438 | ⑧-8  |
|    |    |        |    |     |      | 8  | 9  | 命藤大夫   | 氏友 | 371 |      |
|    |    |        |    |     |      | 8  | 10 | 隣大夫*   | 富直 | 438 |      |
|    |    |        |    |     |      | 8  | 11 | 彦有大夫   | 氏正 | 371 |      |

| 番   | 順  | 官名    | 実名                  | 頁   | 永正7年 |
|-----|----|-------|---------------------|-----|------|
| 九番  |    | キフネ祝  |                     |     |      |
| 9   | 1  | 蔵人頭*  | 教平                  | 621 |      |
| 9   | 2  | 千吉大夫* | 久高                  | 408 |      |
| 9   | 3  | 幸鶴大夫* | 歳久                  | 421 |      |
| 9   | 4  | 豊福大夫  | 保孝                  | 522 |      |
| 9   | 5  | 藤徳大夫* | 保賢                  | 542 |      |
| 9   | 6  | 福寿大夫  | 兼頭                  | 564 |      |
| 9   | 7  | 民部丞   | 氏茂                  | 370 | ⑨-8  |
| 9   | 8  | 雅楽助   | 氏種                  | 377 |      |
| 9   | 9  | 梅松大夫  | 氏秋                  | 377 |      |
| 9   | 10 | 命乙大夫  | 継直                  | 433 |      |
| 9   | 11 | 命光大夫  | 光直                  | 438 |      |
| 十番  |    | 新宮祢宜  |                     |     |      |
| 10  | 1  | 三郎大夫  | 家久                  | 410 |      |
| 10  | 2  | 千代福大夫 | 久清                  | 408 |      |
| 10  | 3  | 岩福大夫  | 保栄                  | 546 |      |
| 10  | 4  | 亀福大夫  | 光久                  | 421 |      |
| 10  | 5  | 千代衾大夫 | 政久                  | 423 |      |
| 10  | 6  | 遠江守   | 季頭                  | 558 |      |
| 10  | 7  | 丹波守   | 季資                  | 492 |      |
| 10  | 8  | 次郎大夫  | 季泰                  | 491 |      |
| 10  | 9  | 石千代大夫 | 久直                  | 439 |      |
| 10  | 10 | 福石大夫  | 氏家                  | 370 |      |
| 10  | 11 | 千代鶴大夫 | 弘延                  | 641 |      |
| 十一番 |    | 新宮祝   |                     |     |      |
| 11  | 1  | 慶光大夫  | 在平                  | 620 |      |
| 11  | 2  | 亀大夫*  | 保森 <small>イ</small> | 545 |      |
| 11  | 3  | 千代大夫* | 富久                  | 421 |      |
| 11  | 4  | 甲福大夫  | 清広                  | 383 |      |
| 11  | 5  | 但馬守   | 善頭                  | 594 |      |
| 11  | 6  | 孫七大夫  | 高頭                  | 558 |      |
| 11  | 7  | 宮寿大夫  | 遠頭                  | 563 |      |
| 11  | 8  | 若狭守   | 盛幸                  | 632 |      |
| 11  | 9  | 左京亮   | 季延                  | 466 | ⑩-9  |
| 11  | 10 | 福松大夫  | 季永                  | 492 |      |
| 11  | 11 | 菊松大夫  | 季知                  | 463 | ⑨-7  |
| 11  | 12 | 才千代大夫 | 弘高                  | 641 |      |

| 番   | 順  | 官名     | 実名 | 頁   | 永正7年 |
|-----|----|--------|----|-----|------|
| 十二番 |    | 太田祢宜   |    |     |      |
| 12  | 1  | 土佐守    | 元久 | 421 | ⑫-2  |
| 12  | 2  | 伊賀守    | 保友 | 522 | ⑫-4  |
| 12  | 3  | 鶴夜叉大夫* | 保俊 | 542 |      |
| 12  | 4  | 鶴夜叉大夫  | 保昏 | 546 |      |
| 12  | 5  | 増鶴大夫*  | 清貞 | 396 | ⑬-6  |
| 12  | 6  | 丹後守*   | 重俊 | 447 | ⑫-6  |
| 12  | 7  | 徳松大夫   | 重政 | 不明  |      |
| 12  | 8  | 内蔵助    | 氏兼 | 376 | ⑦-11 |
| 12  | 9  | 治部少輔   | 季敏 | 460 | ⑪-9  |
| 12  | 10 | 乙福大夫   | 季宗 | 492 |      |
| 12  | 11 | 五郎大夫*  | 頼直 | 438 |      |
| 十三番 |    | 太田祝    |    |     |      |
| 13  | 1  | 山城前司   | 久種 | 410 |      |
| 13  | 2  | 猿千代大夫  | 村久 | 423 |      |
| 13  | 3  | 摂津守    | 清知 | 393 |      |
| 13  | 4  | 鶴光大夫   | 保方 | 537 |      |
| 13  | 5  | 亀福大夫*  | 重行 | 447 |      |
| 13  | 6  | 掃部頭    | 種頭 | 566 |      |
| 13  | 7  | 幸福大夫   | 長頭 | 565 |      |
| 13  | 8  | 掃部助    | 常頭 | 580 | ⑬-8  |
| 13  | 9  | 赤若大夫*  | 定俊 | 427 |      |
| 13  | 10 | 千大夫    | 傳直 | 446 |      |
| 13  | 11 | 次郎大夫   | 季直 | 462 |      |
| 十四番 |    | 若宮祢宜   |    |     |      |
| 14  | 1  | 式部少輔   | 隆久 | 410 | ⑭-1  |
| 14  | 2  | 三河守    | 種久 | 413 | ⑭-2  |
| 14  | 3  | 安藝守    | 保幸 | 501 | ⑭-3  |
| 14  | 4  | 佐渡守    | 茂勝 | 623 |      |
| 14  | 5  | 梅若大夫   | 清藤 | 401 |      |
| 14  | 6  | 亀鶴大夫   | 保衆 | 540 |      |
| 14  | 7  | 亀千代大夫  | 重満 | 不明  |      |
| 14  | 8  | 有寿大夫   | 良頭 | 566 |      |
| 14  | 9  | 大炊助*   | 氏信 | 371 |      |
| 14  | 10 | 亀十大夫*  | 氏勝 | 377 |      |
| 14  | 11 | 猿若大夫   | 氏慶 | 360 |      |

| 番   | 順  | 官名    | 実名 | 頁    | 永正7年 |
|-----|----|-------|----|------|------|
| 十五番 |    | 若宮祝   |    |      |      |
| 15  | 1  | 筑後守   | 盛久 | 413  |      |
| 15  | 2  | 式部大輔  | 久良 | 408  | ⑮－3  |
| 15  | 3  | 龜寿大夫  | 保□ | 不明   |      |
| 15  | 4  | 乙寿大夫* | 保棟 | 541  |      |
| 15  | 5  | 越中守   | 保藏 | 542  |      |
| 15  | 6  | 福増大夫  | 清種 | 404  |      |
| 15  | 7  | 幸夜又大夫 | 保石 | 541  |      |
| 15  | 8  | 千代大夫* | 成治 | 626  |      |
| 15  | 9  | 光若大夫  | 兼隆 | 613  |      |
| 15  | 10 | 命若大夫  | 政直 | 432  |      |
| 15  | 11 | 龜松大夫  | 氏朝 | 363  |      |
| 十六番 |    | 奈良祢宜  |    |      |      |
| 16  | 1  | 幸光大夫* | 宗久 | 414  |      |
| 16  | 2  | 千松大夫* | 保秀 | 501  |      |
| 16  | 3  | 乙千代大夫 | 清□ | 406? |      |
| 16  | 4  | 龜菊大夫  | 保亮 | 495  |      |
| 16  | 5  | 千菊大夫* | 保子 | 542  |      |
| 16  | 6  | 千大夫   | 清吉 | 381  |      |
| 16  | 7  | 和泉守*  | 成数 | 629  | ①－9  |
| 16  | 8  | 右衛門大夫 | 成種 | 629  | ⑯－6  |
| 16  | 9  | 飛騨守   | 在氏 | 370  |      |
| 16  | 10 | 福乙大夫  | 氏昌 | 370  |      |
| 16  | 11 | 藤福大夫* | 兼賢 | 598  |      |
| 十七番 |    | 奈良祝   |    |      |      |
| 1   | 1  | 記伊守   | 美平 | 620  |      |
| 1   | 2  | 乙大夫*  | 清正 | 406  |      |
| 1   | 3  | 縫衣助   | 保房 | 502  |      |
| 1   | 4  | 兵庫助*  | 保富 | 519  |      |
| 1   | 5  | 小菊大夫* | 保男 | 522  |      |
| 1   | 6  | 初乙大夫  | 為幸 | 633  |      |
| 1   | 7  | 熊千代大夫 | 氏頼 | 373  |      |
| 1   | 8  | 宮内少輔  | 兼藤 | 597  | ⑰－5  |
| 1   | 9  | 備後守   | 季親 | 465  | ⑰－6  |
| 1   | 10 | 筑後守*  | 季守 | 465  |      |
| 1   | 11 | 龜寿大夫* | 氏□ | 370? |      |
| 1   | 12 | 藤千代大夫 | 兼治 | 597  |      |

官名末\*は、「系図」・神道大系本にないもの、異なるもの

| 番   | 順  | 官名    | 実名 | 頁   | 永正7年 |
|-----|----|-------|----|-----|------|
| 十八番 |    | 沢田祢宜  |    |     |      |
| 18  | 1  | 左近大夫  | 重忠 | 不明  |      |
| 18  | 2  | 鶴夜叉大夫 | 清元 | 382 |      |
| 18  | 3  | 鶴寿大夫  | 保良 | 502 |      |
| 18  | 4  | 彦若大夫  | 氏説 | 371 |      |
| 18  | 5  | 龜寿大夫* | 孝顕 | 580 |      |
| 18  | 6  | 兵部丞   | 季盛 | 460 | ⑱－9  |
| 18  | 7  | 赤大夫   | 季継 | 485 |      |
| 18  | 8  | 藤寿大夫  | 季清 | 597 |      |
| 18  | 9  | 龜大夫   | 季増 | 465 |      |
| 18  | 10 | 龜福大夫  | 氏敏 | 373 |      |

(以後欠)

表三 永正7年4月27日氏人中置文（B1-77）の氏人120人の官名比  
定一覧表

|    | 官名    | 花押   | 番  | 順  |       | 実名 | 頁   |
|----|-------|------|----|----|-------|----|-----|
| 1  | 民部大丞* |      | 13 | 5  | 民部丞*  | 重秋 | 448 |
| 2  | 福鶴大夫  |      | 12 | 6  | 福鶴大夫* | 重俊 | 456 |
|    |       |      | 14 | 7  | 福鶴大夫  | 氏延 | 377 |
| 3  | 預り大夫  |      |    |    |       |    |     |
| 4  | 淡路守   |      | 7  | 7  | 淡路守   | 氏治 | 370 |
| 5  | 修理進*  |      | 1  | 8  | 修理允   | 成盛 | 629 |
|    |       |      | 21 | 6  | 修理進*  | 国氏 | 371 |
| 6  | 孫松大夫  | 花押 1 | 9  | 8  | 孫松大夫  | 氏茂 | 370 |
| 7  | 民部少輔  |      | 1  | 2  | 民部少輔  | 数久 | 410 |
| 8  | 讃岐守   |      | 3  | 9  | 讃岐守   | 理氏 | 不明  |
| 9  | 若松大夫  |      |    |    |       |    |     |
| 10 | 藤寿大夫  |      | 19 | 8  | 藤寿大夫  | 兼村 | 597 |
| 11 | 掃部助   |      |    |    |       |    |     |
| 12 | 三郎大夫  | 花押 2 | 10 | 10 | 三郎大夫  |    | 不明  |
| 13 | 左京亮*  | 花押 3 | 19 | 9  | 左京亮*  | 季敏 | 460 |
| 14 | 七郎大夫  |      | 9  | 6  | 七郎大夫  | 次頭 | 593 |
|    |       |      | 17 | 6  | 七郎大夫  | 季親 | 465 |
| 15 | 岩寿大夫  |      | 4  | 5  | 岩寿大夫  | 本頭 | 571 |
| 16 | 備前守   |      | 19 | 7  | 備前守   | 氏主 | 373 |
|    |       |      | 21 | 9  | 備前守*  | 氏広 | 373 |
| 17 | 縫衣助   | 花押4  |    |    |       |    |     |
| 18 | 有寿大夫* | 花押5  | 13 | 7  | 有寿大夫* | 胤頭 | 558 |
| 19 | 遠江守   |      | 5  | 2  | 遠江守   | 清職 | 381 |
|    |       |      | 10 | 8  | 遠江守   | 季頭 | 558 |
| 20 | 掃部頭   |      | 15 | 6  | 掃部頭   | 治頭 | 550 |
| 21 | 次郎大夫  |      | 17 | 7  | 次郎大夫  | 季守 | 465 |
| 22 | 備中守*  |      | 9  | 7  | 備中守*  | 季知 | 463 |
| 23 | 尊若大夫  |      |    |    |       |    |     |
| 24 | 甲斐守   |      | 20 | 4  | 甲斐守   | 季広 | 476 |
| 25 | 周防守   |      | 1  | 11 | 別當大夫  | 兼親 | 596 |
| 26 | 虎寿大夫* |      | 17 | 8  | 虎寿大夫* | 常直 | 431 |
| 27 | 千鶴大夫  |      | 15 | 3  | 千鶴大夫  | 久良 | 406 |
| 28 | 亀寿大夫  | 花押6  | 2  | 3  | 亀寿大夫* | 保房 | 495 |
|    |       |      | 18 | 2  | 亀寿大夫  | 久利 | 不明  |
| 29 | 孫福大夫  |      | 7  | 3  | 孫福大夫  | 久親 | 409 |

|    |        |      |    |    |        |                     |
|----|--------|------|----|----|--------|---------------------|
| 30 | 光寿大夫   | 花押7  |    |    |        |                     |
| 31 | 筑後守    |      | 4  | 1  | 筑後守*   | 重勝 448              |
|    |        |      | 15 | 1  | 筑後守    | 盛久 413              |
| 32 | 初石大夫   |      | 8  | 7  | 初石大夫   | 季富 466              |
| 33 | 帯刀頭    |      | 8  | 8  | 帯刀頭    | 家直 438              |
| 34 | 隼人正    |      | 11 | 3  | 隼人正    | 清憲 382              |
| 35 | 上総守    |      | 4  | 3  | 上総守    | 能宗 623              |
| 36 | 福松大夫   |      | 9  | 5  | 福松大夫   | 保光 522              |
|    |        |      | 10 | 7  | 福松大夫*  | 保敏 515              |
|    |        |      | 14 | 5  | 福松大夫   | 勝重 <sub>茂力</sub> 不明 |
| 37 | 雅楽助    |      | 21 | 1  | 雅楽助    | 勝隆 不明               |
| 38 | 慶福大夫   |      | 20 | 1  | 慶福大夫   | 季隆 不明               |
| 39 | 伊豆守    |      | 16 | 2  | 伊豆守    | 保延 502              |
| 40 | 右馬助    |      | 1  | 5  | 右馬助    | 保連 535              |
| 41 | 河内守    | 花押8  | 6  | 4  | 河内守    | 清主 382              |
| 42 | 伯耆守*   |      | 8  | 9  | 伯耆守*   | 康氏 377              |
| 43 | 八郎大夫   |      | 7  | 9  | 八郎大夫   | 盛氏 371              |
| 44 | 大膳助    |      | 2  | 2  | 大膳亮    | 清尚 396              |
| 45 | 千代鶴大夫* |      | 6  | 9  | 千代鶴大夫* | 宗慶 637              |
| 46 | 摂津守*   | 花押9  | 7  | 6  | 摂津守*   | 保貞 504              |
| 47 | 左馬助    |      | 10 | 2  | 左馬助    | 保兼 522              |
| 48 | 与次大夫   |      |    |    |        |                     |
| 49 | 歳鶴大夫   |      | 21 | 4  | 歳鶴大夫   | 保宗 535              |
| 50 | 肥前守    |      | 2  | 1  | 肥前守    | 保広 495              |
| 51 | 丹波守    | 花押10 | 15 | 9  | 丹波守    | 季勝 466              |
|    |        |      | 10 | 10 | 三郎大夫   | 不明                  |
| 52 | 治部大輔   |      | 5  | 5  | 治部大輔   | 重正 625              |
| 53 | 左京進*   |      | 11 | 4  | 左京進*   | 保茂 503              |
| 54 | 岡 八郎大夫 | 花押11 | 7  | 9  | 八郎大夫   | 盛氏 371              |
| 55 | ひかし遠江守 |      | 5  | 2  | 遠江守    | 清職 381              |
|    |        |      | 10 | 8  | 遠江守    | 季顕 558              |
| 56 | 安芸守    |      | 14 | 3  | 安芸守    | 保幸 501              |
| 57 | 豊鶴大夫   |      | 6  | 6  | 豊鶴大夫   | 成国 626              |
| 58 | 大和守    |      | 20 | 2  | 大和守    | 保永 545              |
| 59 | 越中守    |      | 19 | 3  | 越中守    | 宗幸 不明               |
| 60 | 加賀守    |      | 6  | 7  | 加賀守    | 實直 432              |
|    |        |      | 17 | 2  | 加賀守    | 成家 627              |
| 61 | 亀千代大夫  | 花押12 | 11 | 9  | 亀千代大夫* | 泰俊 427              |
|    |        |      | 14 | 8  | 亀千代大夫* | 成兼 625              |

|    |       |      |    |    |        |    |     |
|----|-------|------|----|----|--------|----|-----|
|    |       |      | 14 | 9  | 亀千代大夫  | 氏勝 | 不明  |
| 62 | 鶴徳大夫  | 花押13 | 19 | 1  | 鶴徳大夫   | 保親 | 537 |
| 63 | 福寿大夫  | 花押14 | 13 | 9  | 福寿大夫*  | 茂俊 | 427 |
|    |       |      | 18 | 9  | 福寿大夫   | 季盛 | 463 |
| 64 | 愛有大夫  | 花押15 |    |    |        |    |     |
| 65 | 兵庫頭   | 花押16 | 12 | 7  | 兵庫頭    | 成重 | 不明  |
| 66 | 初寿大夫  | 花押17 | 2  | 6  | 初寿大夫*  | 元幸 | 634 |
|    |       |      | 3  | 10 | 初寿大夫   | 成幸 | 不明  |
|    |       |      | 5  | 6  | 初寿大夫   | 歳頭 | 571 |
| 67 | 善哉大夫* | 花押18 | 12 | 3  | 善哉大夫*  | 保明 | 519 |
| 68 | 隠岐守   | 花押19 | 19 | 4  | 隠岐守    | 季永 | 483 |
| 69 | 内蔵助   | 花押20 | 2  | 5  | 内蔵助    | 氏頭 | 不明  |
| 70 | 越前守   | 花押21 | 10 | 1  | 越前守    | 元平 | 620 |
| 71 | 備後守   | 花押22 | 21 | 3  | 備後守    | 保達 | 542 |
| 72 | 壱岐守*  | 花押23 | 16 | 3  | 壱岐守*   | 成隆 | 629 |
| 73 | 佐渡守   | 花押24 | 14 | 4  | 佐渡守    | 保理 | 542 |
| 74 | 尾張守   | 花押25 | 9  | 2  | 尾張守    | 保元 | 519 |
|    |       |      | 10 | 5  | 尾張守*   | 保充 | 545 |
| 75 | 右京亮   | 花押26 | 4  | 6  | 右京亮    | 氏保 | 371 |
| 76 | 駿河守   | 花押27 | 9  | 4  | 駿河守    | 永久 | 421 |
| 77 | 大炊頭   |      | 11 | 2  | 大炊頭    | 直久 | 421 |
| 78 | 宮嶋大夫  | 花押28 |    |    |        |    |     |
| 79 | 松嶋大夫  |      |    |    |        |    |     |
| 80 | 但馬守   | 花押29 | 15 | 8  | 但馬守    | 盛俊 | 427 |
| 81 | 蔵人頭   |      | 3  | 4  | 蔵人頭    | 国平 | 621 |
| 82 | 雅楽頭*  |      | 3  | 3  | 雅楽頭*   | 幸久 | 412 |
| 83 | 春若大夫* | 花押30 | 4  | 2  | 春若大夫*  | 安久 | 412 |
| 84 | 越前守   | 花押31 | 10 | 1  | 越前守    | 元平 | 620 |
| 85 | 式部大夫  |      |    |    |        |    |     |
| 86 | 式部少輔  | 花押32 | 14 | 1  | 式部少輔   | 隆久 | 410 |
| 87 | 右近将監* |      | 13 | 1  | 右近将監*  | 久種 | 410 |
| 88 | 三河守   |      | 3  | 7  | 三河守    | 重治 | 449 |
| 89 | 藤光大夫  |      | 8  | 6  | 藤光大夫   | 兼継 | 613 |
| 90 | 対馬守   |      | 18 | 8  | 対馬守    | 兼家 | 597 |
| 91 | 鶴夜叉大夫 | 花押33 | 17 | 4  | 鶴夜叉大夫  | 氏継 | 不明  |
|    |       |      | 17 | 5  | 鶴夜叉大夫* | 兼藤 | 596 |
| 92 | 出雲守   |      | 10 | 3  | 出雲守    | 保能 | 531 |
| 93 | 福若大夫  | 花押34 | 6  | 5  | 福若大夫*  | 保真 | 531 |
|    |       |      | 18 | 4  | 福若大夫   | 重忠 | 不明  |

|     |        |      |    |   |        |    |     |
|-----|--------|------|----|---|--------|----|-----|
| 94  | 千代石大夫* | 花押35 | 12 | 4 | 千代石大夫* | 保友 | 522 |
| 95  | 伊予守    |      | 13 | 2 | 伊予守    | 定勝 | 623 |
| 96  | 愛一大夫   |      |    |   |        |    |     |
| 97  | 信濃守    |      | 18 | 5 | 信濃守    | 為頭 | 563 |
| 98  | 筑前守    |      |    |   |        |    |     |
| 99  | 和泉守    |      | 5  | 8 | 和泉守    | 諸氏 | 370 |
| 100 | 伊賀守*   |      | 7  | 5 | 伊賀守*   | 重直 | 447 |
| 101 | 福若大夫   |      | 6  | 5 | 福若大夫*  | 保真 | 531 |
|     |        |      | 18 | 4 | 福若大夫   | 重忠 | 不明  |
| 102 | 十郎大夫   |      |    |   |        |    |     |
| 103 | 志摩守    |      | 3  | 8 | 志摩守    | 成富 | 627 |
| 104 | 豊後守    | 花押36 | 1  | 7 | 豊後守    | 成頭 | 580 |
| 105 | 豊光大夫   | 花押37 | 8  | 5 | 豊光大夫   | 豊頭 | 580 |
| 106 | 七郎大夫   |      | 9  | 6 | 七郎大夫   | 次頭 | 593 |
|     |        |      | 17 | 6 | 七郎大夫   | 季親 | 465 |
| 107 | 五郎大夫   | 花押38 | 11 | 7 | 五郎大夫   | 善頭 | 594 |
| 108 | 六郎大夫   | 花押39 | 2  | 4 | 六郎大夫   | 友頭 | 593 |
| 109 | 加賀守    |      | 6  | 7 | 加賀守    | 實直 | 432 |
|     |        |      | 17 | 2 | 加賀守    | 成家 | 627 |
| 110 | 石見守    |      | 15 | 7 | 石見守    | 重倫 | 625 |
| 111 | 修理亮    |      | 17 | 3 | 修理亮    | 成貞 | 629 |
| 112 | 出羽守    |      | 18 | 1 | 出羽守    | 清平 | 620 |
| 113 | 若狹守*   | 花押40 | 5  | 9 | 若狹守*   | 宗富 | 449 |
| 114 | 豊前守    | 花押41 | 9  | 3 | 豊前守    | 保富 | 542 |
| 115 | 左近将監   | 花押42 | 13 | 3 | 左近将監   | 保家 | 541 |
| 116 | 右京進    | 花押43 |    |   |        |    |     |
| 117 | 縫殿頭    |      | 4  | 9 | 縫殿頭    | 氏隆 | 370 |
| 118 | 美作守    |      | 12 | 1 | 美作守    | 能家 | 623 |
| 119 | 有福大夫   |      | 7  | 4 | 有福大夫   | 能貞 | 623 |
| 120 | 命藤大夫   |      | 7  | 8 | 命藤大夫   | 盛直 | 432 |

官名末\*は、「系図」・神道大系本にないもの、異なるもの

※東京大学史料編纂所共同利用・共同拠点 特定共同研究（中世）  
「賀茂別雷神社文書の調査・研究」研究成果報告書『賀茂別雷神  
社の所領と氏人』東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二〇―三  
からの転載。末尾に表三を新たに加えた。

## 編集後記

まだコロナ禍が収まりません。しかし、こんな時だからこそ普段以上にしっかりと学ばなければなりません。そして生徒に学ばせるためには、まずは我々教員がしっかりと学ばなければなりません。今年度も寄稿してくださった先生方、本当にありがとうございました。

昨年度まで3年にわたり編集に携わってくださったN先生に代わり、今年度からはMが担当いたします。どうぞよろしくお願いいたします。(M)

## 岡山朝日研究紀要

第43号

The Asahi Bulletin 43,2022

令和4年(2022年)3月30日発行

編集者 図書課 出版・広報係  
発行者 岡山県立岡山朝日高等学校  
校長 竹田 義宣  
〒703-8278 岡山市中区古京町2-2-21  
電話 086-272-1271

印刷者 株式会社 印刷工房フジワラ  
岡山市北区丸の内2-11-18